

令和 2 年度
滋賀県レイカディア大学
卒業生生活動状況等調査報告書

令和 3 年 3 月
社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会

目 次

(ページ)

I. 調査目的・方法	1
1. 調査目的	2
2. 調査方法	2
3. 調査の主な内容	2
4. 回答結果	3
5. 分析にあたって	3
II. 調査結果	5
[1] レイカディア大学卒業生からの回答結果	6
1. 回答者の属性	6
2. 地域活動の状況	12
3. レイカディア大学から受けた影響	30
4. 地域課題の把握・取り組み	42
5. コロナ禍による影響	62
[2] 市町社会福祉協議会からの回答結果	71
III. まとめ・考察	85
[1] 卒業生の回答から見てきたこと	86
1. 地域活動の状況	86
2. レイカディア大学から受けた影響	88
3. 地域課題の把握・取り組み	90
4. コロナ禍による影響	91
[2] 市町社会福祉協議会の回答から見てきたこと	92
要 約	93
資 料	95
[1] 地域活動の具体的内容（居住地別一覧）	96
[2] 調査票（卒業生、市町社会福祉協議会）	116

I . 調査目的・方法

1. 調査目的

本調査は、地域で活躍しているレイカディア大学の卒業生を対象として、ボランティア活動や地域活動の状況、ならびにそれらの活動に対する意識等について調査するとともに、市町社会福祉協議会における卒業生の活用状況および求められる活動ニーズについて調査したものです。併せて、コロナ禍による影響についても調査しました。

調査結果は、卒業生の地域での活動をさらに推進するための支援策の検討や、今後のレイカディア大学のあり方や方向性についての議論に役立てるための基礎資料とするとともに、本報告書を広く県内に配布し、多くの高齢者に有効活用されることを目的としています。

2. 調査方法

(1) 調査対象：

① レイカディア大学卒業生を対象とする調査

第 38 期卒業生〔平成 27 年 10 月入学、平成 29 年 9 月卒業〕

第 39 期卒業生〔平成 28 年 10 月入学、平成 30 年 9 月卒業〕

第 40 期卒業生〔平成 29 年 10 月入学、令和 元年 9 月卒業〕 計 485 名

② 市町社会福祉協議会を対象とする調査

県内 19 市町の社会福祉協議会

(2) 調査票の配付・回収： 郵送配付、郵送回収

(3) 調査期間： 令和 2 年 12 月 1 日～12 月 18 日

3. 調査の主な内容

(1) レイカディア大学卒業生を対象とする調査

- 地域活動の状況、活動内容
- 地域活動を行う充実感
- レイカディア大学から受けた影響
- 地域課題の把握とそれに対する取り組み
- コロナ禍による影響 等

(2) 市町社会福祉協議会を対象とする調査

- 卒業生の活用状況と今後の活用ニーズ
- 卒業生に求める地域活動
- 卒業生が活躍するためにレイカディア大学に求めること 等

4. 回答結果

区 分		調査対象者数	回収数	回収率(%)	有効回答数	有効回答率(%)
レイカディア 大学卒業生	第38期生	166	113	68.1%	113	74.8%
	第39期生	154	121	78.6%	121	
	第40期生	165	122	73.9%	122	
	(無記名)	0	7	—	7	
	計	485	363	74.8%	363	
市町社会福祉協議会		19	17	89.5%	17	89.5%

5. 分析にあたって

- ① 各設問におけるそれぞれの選択肢の回答割合（％）は、その設問の全ての有効回答数（n）を分母として算出しました。（単一回答、複数回答を問わず、回答割合の合計は100％になります。）
- ② 回答割合（％）は、小数点第2位以下を四捨五入しています。
- ③ 複数回答の設問では、項目名および図表タイトルに「複数回答」を明記しています。それ以外の設問（自由記述等を除く）は、単一回答です。
- ④ 単一回答の設問において、複数回答している場合は、「その他」または「複数回答」として集計しました。
- ⑤ 自由記述の回答内容については、文意を損なわない範囲で整理や修正を加えている場合があります。

Ⅱ．調 査 結 果

〔１〕 レイカディア大学卒業生からの回答結果

〔２〕 市町社会福祉協議会からの回答結果

[1] レイカディア大学卒業生からの回答結果

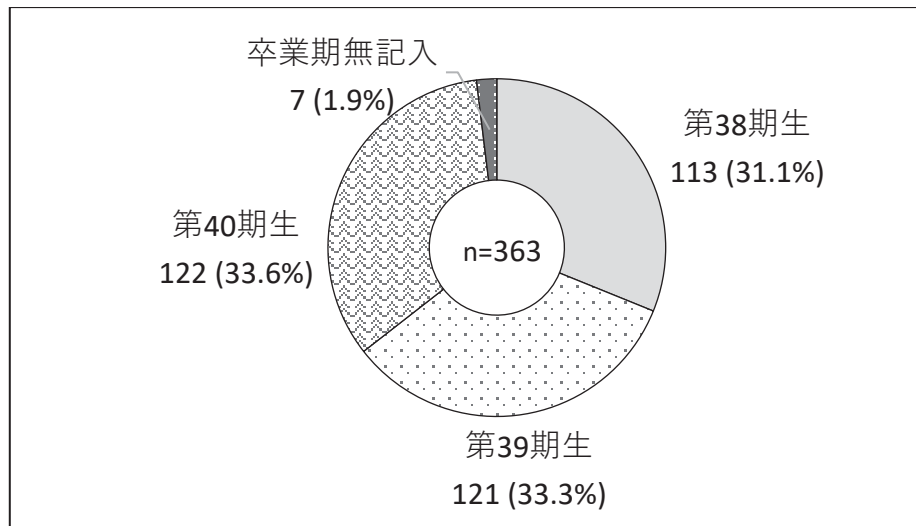
1. 回答者の属性

(1) 大学卒業期 (図 1)

〔問 1-(1) 「レイカディア大学第何期生ですか」〕

回答者 363 人のうち「第 40 期生 (令和元年 9 月卒業)」が 33.6%と最も高く、次いで「第 39 期生 (平成 30 年 9 月卒業)」33.3%、「第 38 期生 (平成 29 年 9 月卒業)」31.1%の順になっています。

図 1 大学卒業期



(2) 学 科 (図 2)

〔問 1-(2) 「選択講座は次のどの学科ですか」〕

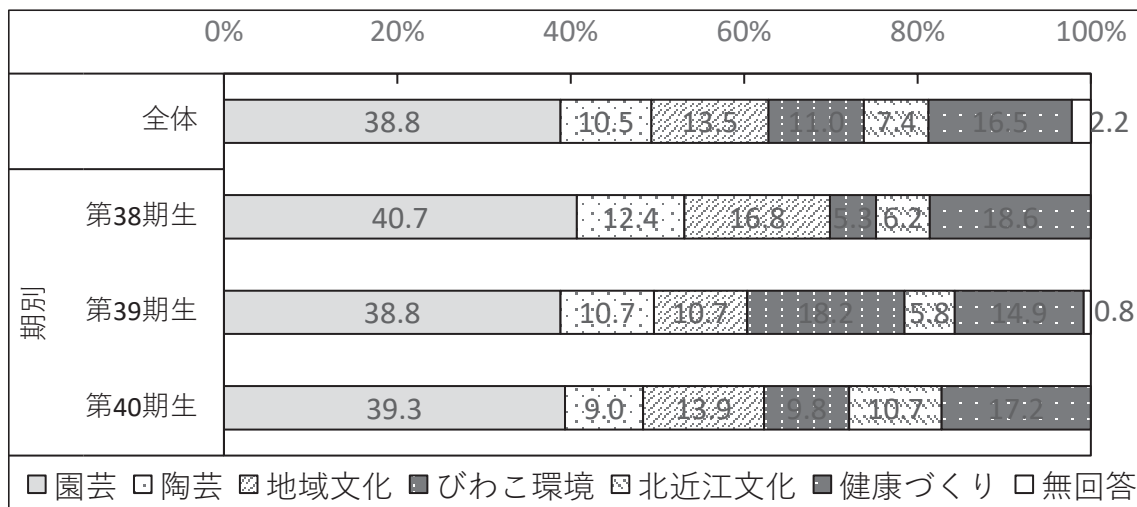
「園芸学科」が、38.8%を占めています。次いで「健康づくり学科」16.5%「地域文化学科」13.5%、陶芸学科 11.0%の順でした。

園芸学科が占めるが割合が突出して高くなった理由は、平成 22 年度 (第 33 期入学年度) から園芸学科の定員が増加 (草津校、米原校を合わせ 55 名から 80 名に増加) したことによるものです。

なお、平成 24 年度 (第 35 期入学年度) より生活科学学科、健康・レクリエーション学科 (いずれも草津校・米原校) を廃し、びわこ環境学科 (草津校)、健康づくり学科 (草津校・米原校)、北近江文化学科 (米原校) を新設しました。

図2 学科

n=363



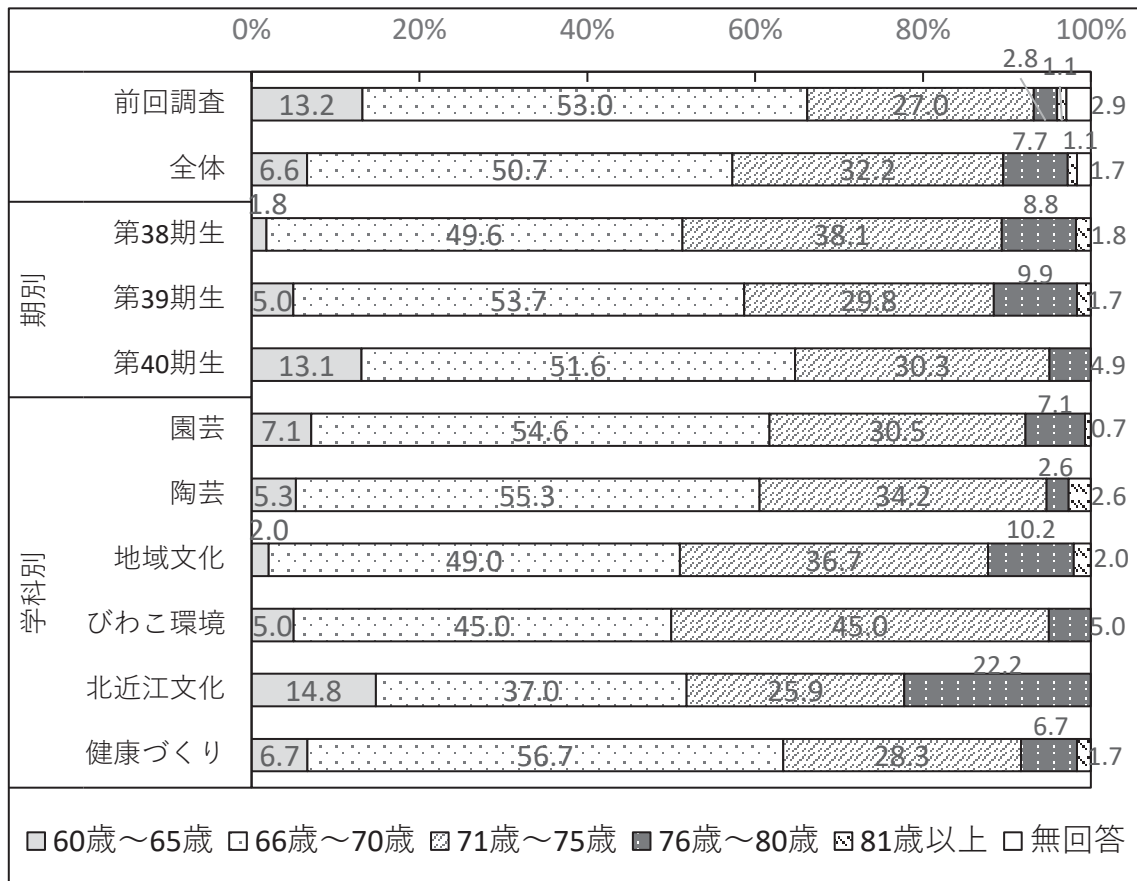
(3) 年 齢 (図3)

〔問1-(3)「年齢をお聞かせください。」〕

卒業生の年齢は、「66歳～70歳」が50.7%で5割を超えています。次いで「71歳～75歳」32.2%、76歳以上は8.8% (32人)、「60歳～65歳」6.6%となっています。

図3 年齢

n=363



(4) 性 別 (図 4)

〔問 1-(4) 「性別をお聞かせください」〕

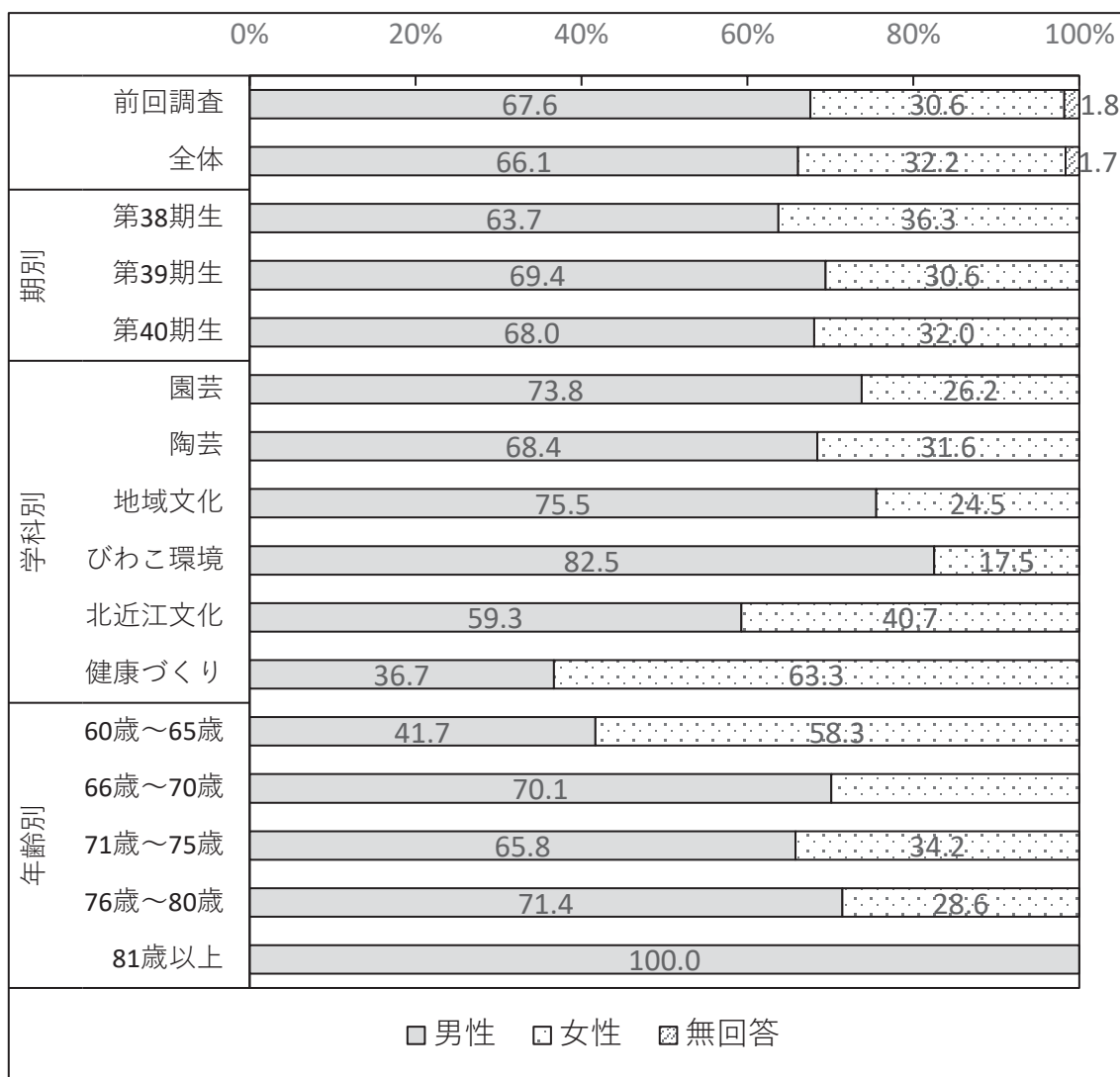
卒業生の性別は、「男性」が 66.1%で全体の 3 分の 2 を占めています。「女性」は 32.2%でした。(無回答 1.7%)

学科別にみると、「男性」の割合が高いのはびわこ環境学科 (82.5%) で、他に地域文化学科(75.5%)、園芸学科 (73.8%)、陶芸学科(68.4%)と、続きます。

逆に「女性」の割合が高いのは、健康づくり学科 (63.3%)、北近江文化学科 (40.7%) でした。

図 4 性別

n=363



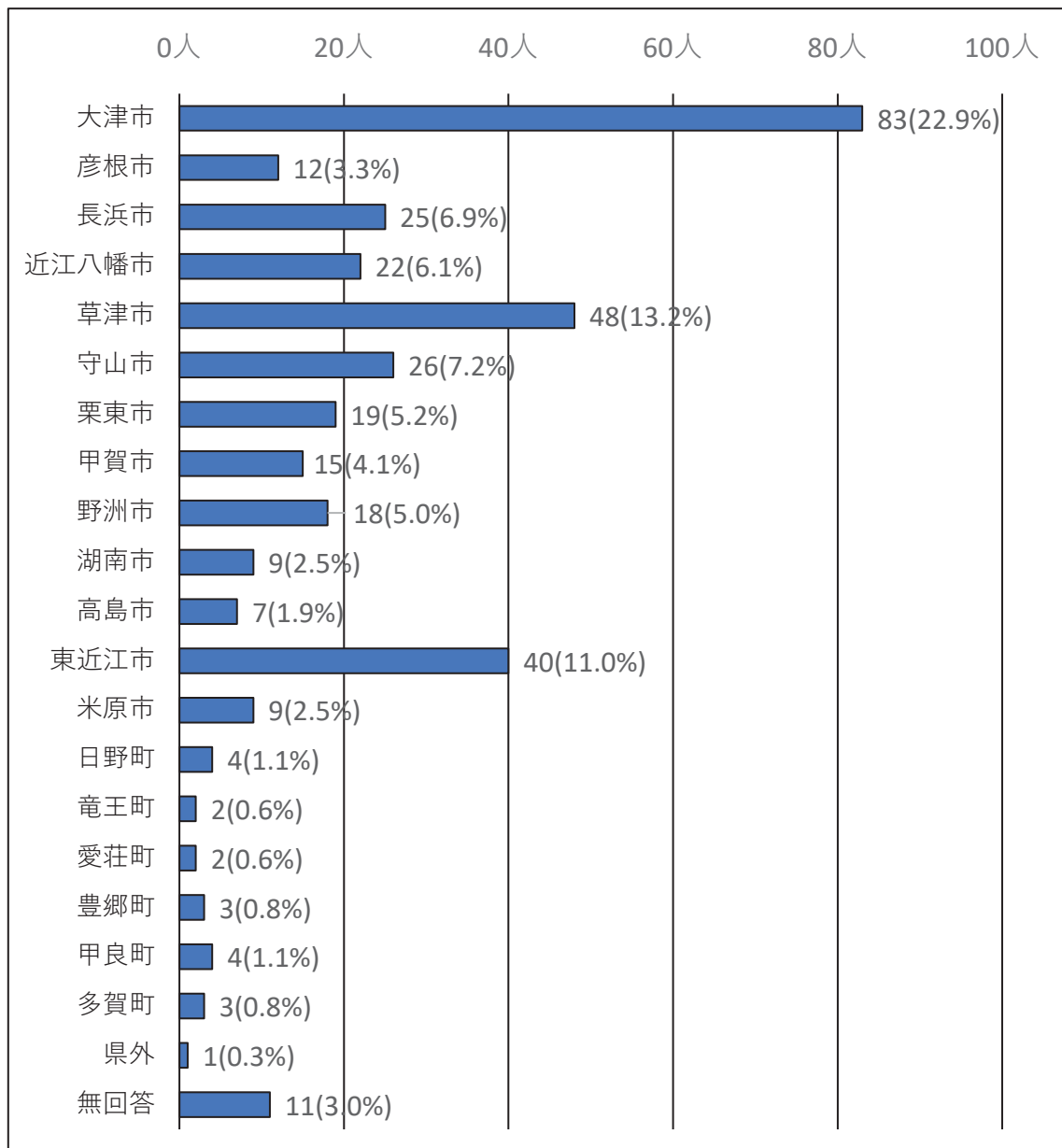
(5) 居住市町 (図5)

〔問1-(5)「お住まいの市・町名をお聞かせください」〕

卒業生の居住市町は、「大津市」(83人、22.9%)と、「草津市」(48人、13.2%)が多くなっています。続いて「東近江市」(40人、11.0%)、「守山市」(26人、7.2%)、「長浜市」(25人、6.9%)、「近江八幡市」(22人、6.1%)の順に多くなっています。

図5 居住市町

n=363



(6) 居住圏域 (表1、図6)

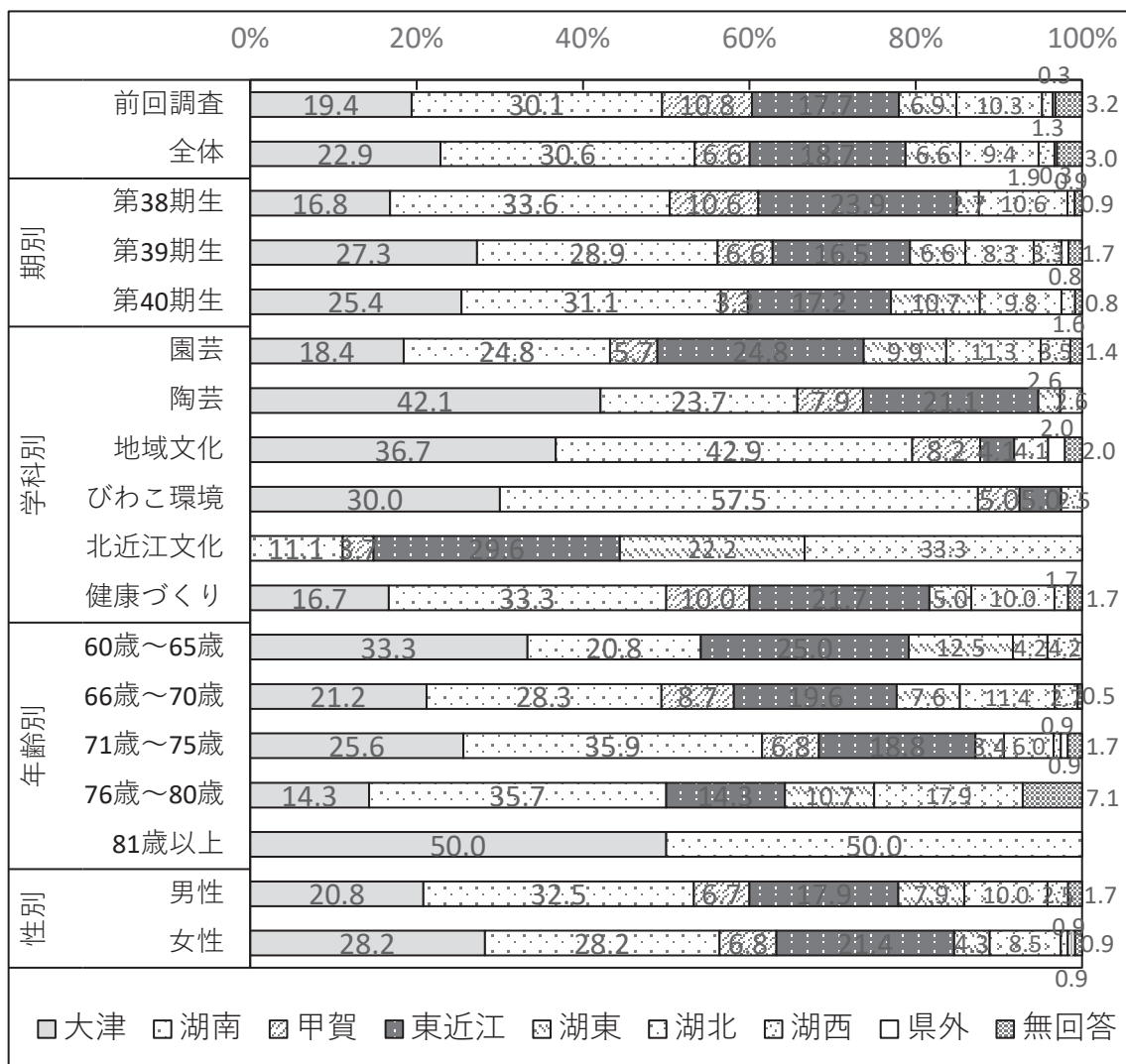
県内の市町を表1のように7つの圏域に分けると、卒業生が最も多いのは「湖南圏域」(30.6%)であり、次いで「大津圏域」(22.9%)、「東近江圏域」(18.7%)、「湖北圏域」(9.4%)の順となっています。

表1 圏域別市町

圏 域	市 町				
大 津	大津市				
湖 南	草津市	守山市	栗東市	野洲市	
甲 賀	甲賀市	湖南市			
東近江	近江八幡市	東近江市	日野町	竜王町	
湖 東	彦根市	愛荘町	豊郷町	甲良町	多賀町
湖 北	長浜市	米原市			
湖 西	高島市				

図6 居住圏域

n=363



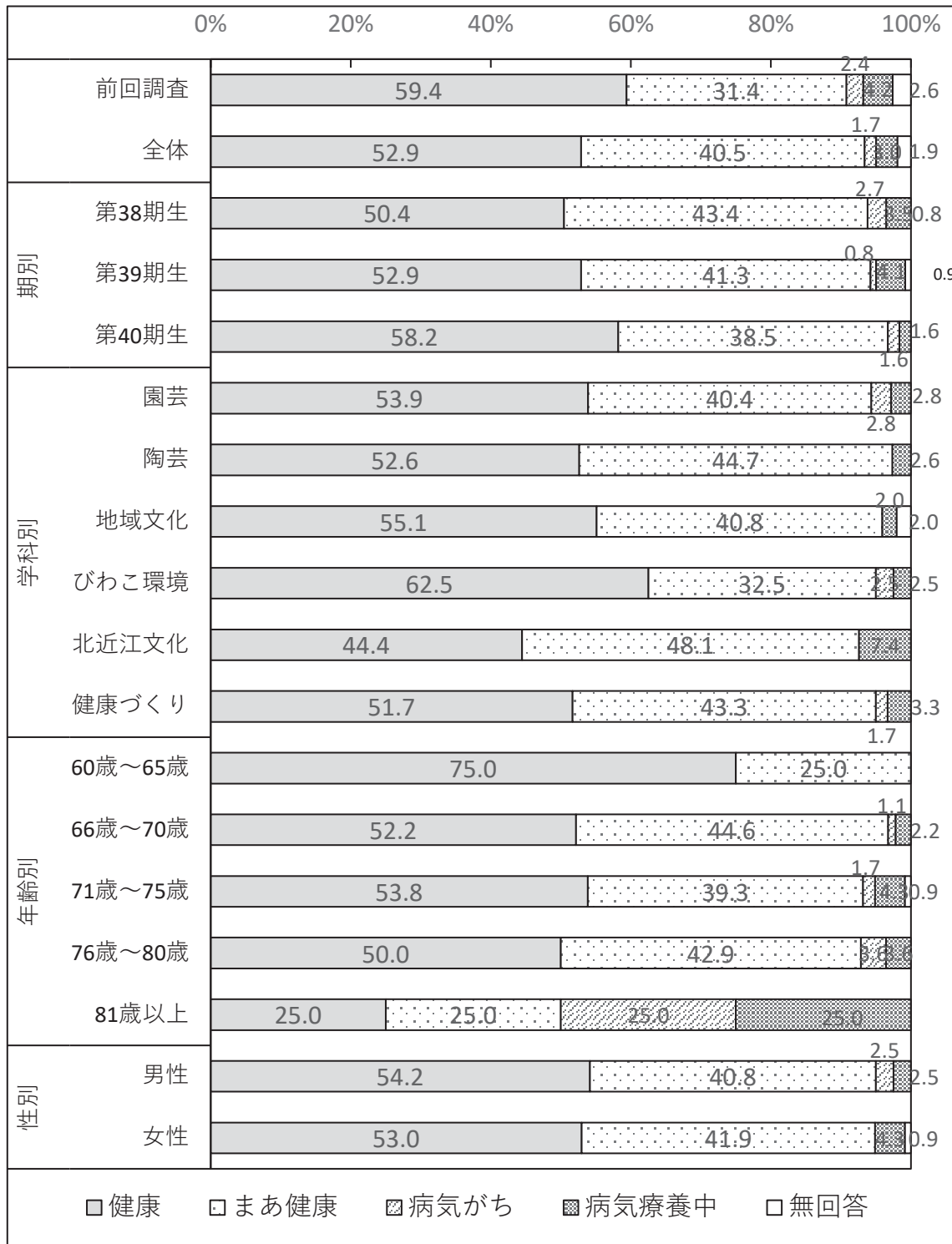
(7) 健康状態 (図 7)

〔問 1-(6)「現在の健康状態はいかがですか」〕

図 7 は卒業生の健康状態を示したものです。「健康」「まあ健康」と答えた人が合せて 93.4%という比較的高い割合を占めています。

図 7 健康状態

n=363



2. 地域活動の状況

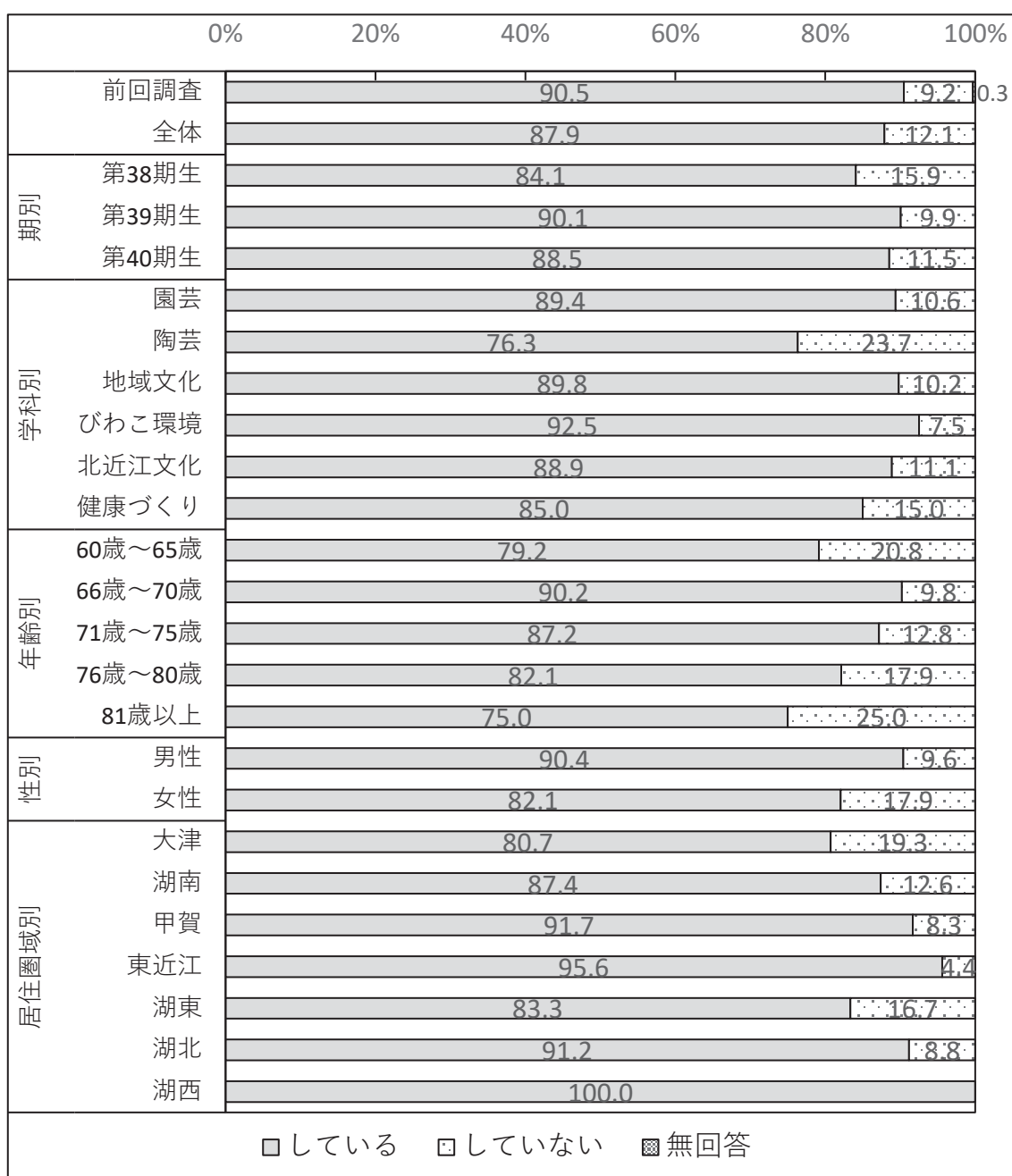
(1) 地域活動の実施状況 (図8)

〔問2「あなたは現在、何か地域での活動をしていますか」〕

図8は卒業生が地域活動を行っている割合を示しています。前回調査『平成27年度滋賀県レイカディア大学卒業生活動状況等調査』より2.6ポイント低下しているものの、9割弱の卒業生(87.9%)が何らかの地域活動を「している」と答えています。卒業生の地域活動に対する意欲や関心の高さがうかがえます。

図8 地域活動の実施状況

n=363



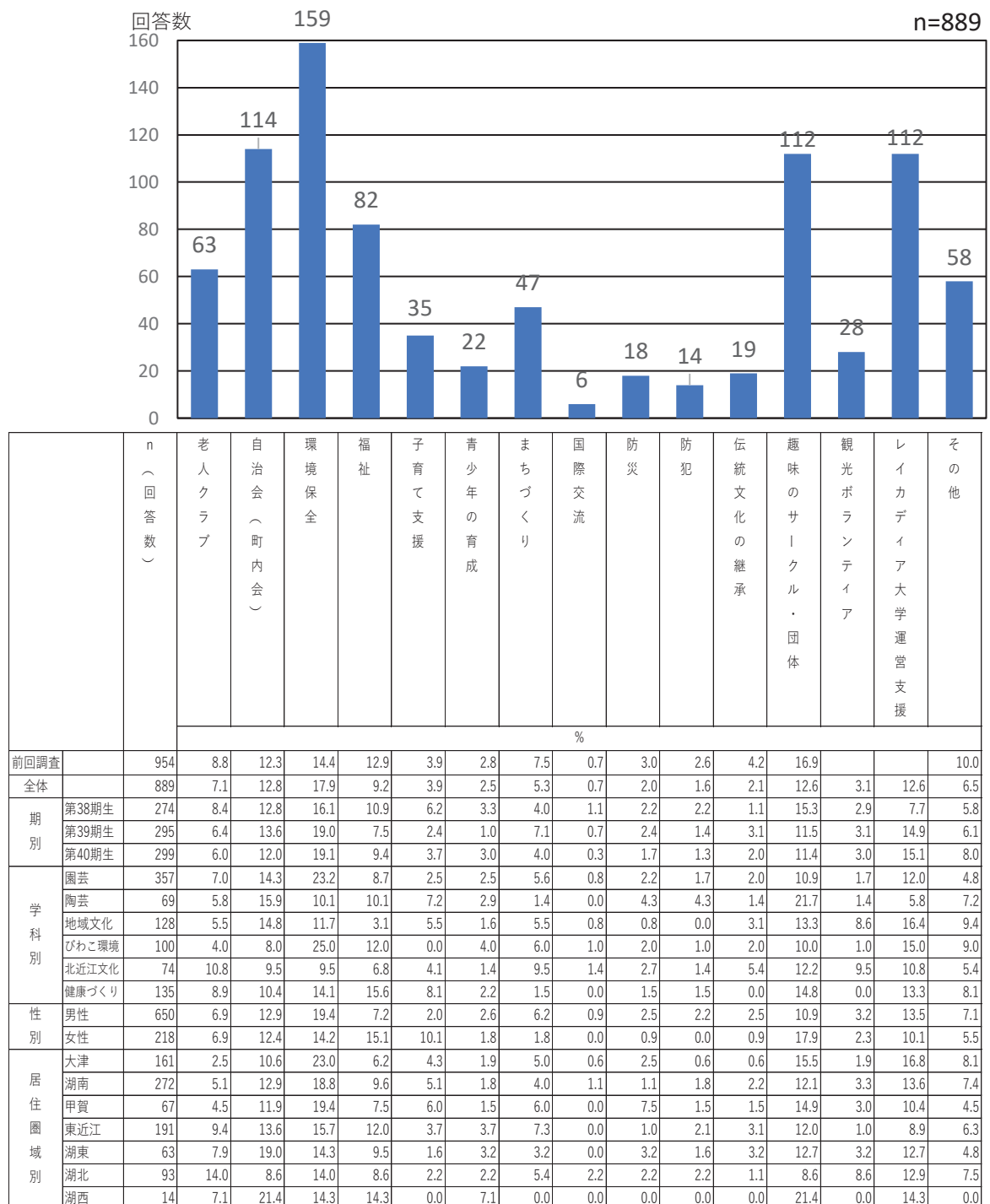
(2) 地域活動の内容（複数回答）（図9）

〔問3-(1)「それはどのような活動ですか」（問2で「1 活動している」と回答した場合の設問）〕

図9は、問2（図8）で地域活動を「している」と答えた319人に、その活動内容を尋ねたものです。

「環境保全」(17.9%)が最も高くなっています。次に「自治会(町内会)」(12.8%)、「趣味のサークル・団体」(12.6%)、レイカディア大学運営支援(12.6%)「福祉」(9.2%)の順になっています。

図9 地域活動の内容（複数回答）



◆ 「その他」の回答内容

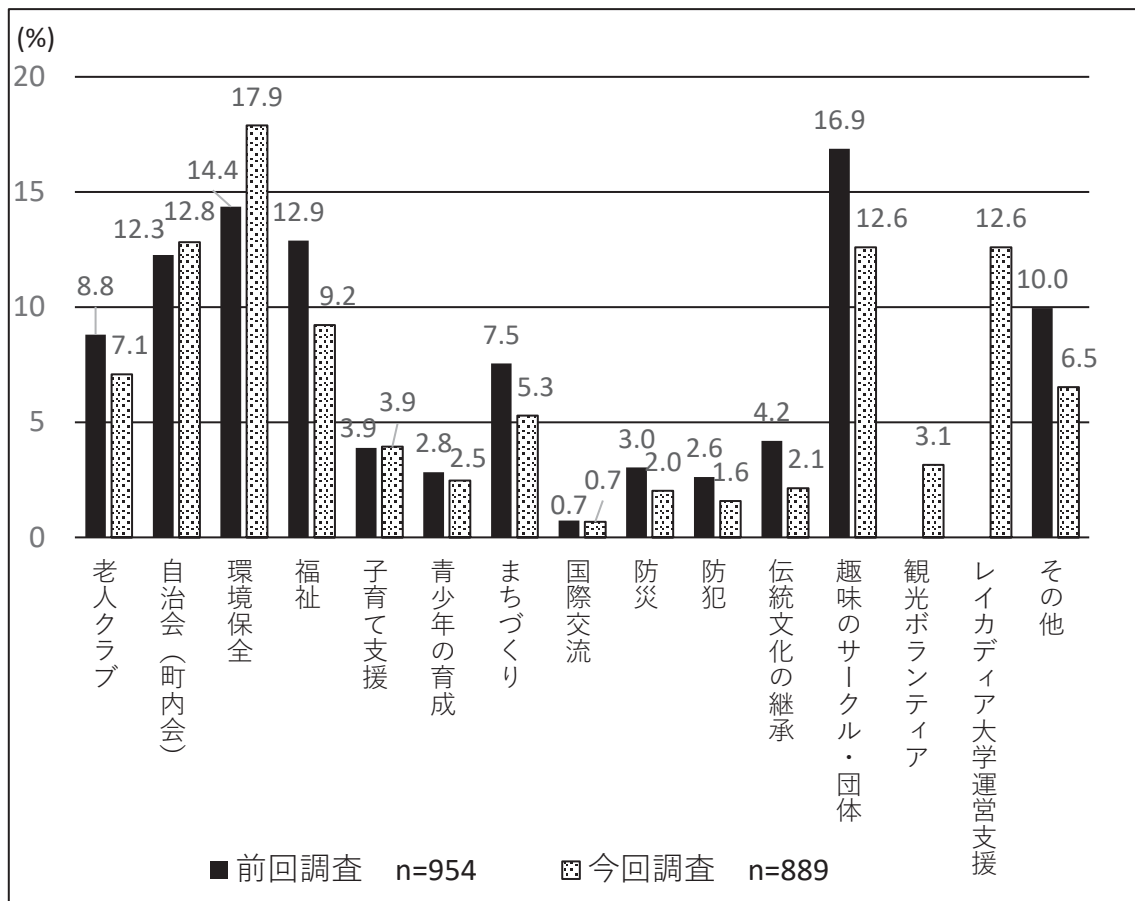
- 日本赤十字社活動
- 民生委員・健康推進員
- 民生委員・児童委員
- 犯罪被害者支援活動
- 市議会議員活動
- 地区健康推進委員活動
- 骨髄バンク説明員
- 各地域の里山保全活動
- 守山地球市民の森での里山作りサポート活動
- 街づくり、街路樹づくり、公園整備ボランティア活動
- 幼稚園、小学校の剪定作業活動、草刈り、草むしりも含む
- デイケアサービスでの陶芸補助活動
- デイサービス・敬老会等でヨシ笛他、玉すだれ、フラダンス等の発表会
- デイケアサービスとしての話相手活動
- シルバー人材センター登録での地域活動
- 地域児童などへの交通安全指導・啓発活動
- 小学児童のスクールガード活動
- 地域名称案内などの観光ボランティア活動
- 郷土歴史勉強会の運営などの活動
- 地域の歴史編集活動
- 図書館ボランティア活動
- 県立博物館での歴史、文化などの調査活動
- 守山地球市民の森での里山作りサポート活動
- 独居老人昼食配達、ゴミ出し支援活動
- 古切手の収集による国際基金支援活動
- 地域自然を守る活動
- 町内サロンの運営
- 営農組合活動(農業委員も含む)
- 市ソフトボール協会などのスポーツ団体の支援活動
- 寺社仏閣の総代、氏子などの世話役活動
- 神社仏閣の庭園整備・清掃管理活動
- 会社のＯＢ会(旧職場の支援活動)
- レイカディア大学受講生におけるＰＣ講座、講師活動
- レイカディア大学陶芸学科助手
- レイカディア大学運営のサポートの会本部会員活動
- レイカディア大学同窓会運営関連活動

（３）地域活動の内容〔前回比較〕（複数回答）（図 10）〔問 3-（１）〕

図 10 は、上記の〔問 3-（１）「それはどのような活動ですか」〕について、前回調査（平成 27 年 3 月）と今回の調査を比較したグラフです。

今回調査では、「環境保全」（17.9％）が最も高くなっており、前回調査（14.4％）と比較すると 3.5 ポイント増加しています。一方、「福祉」「趣味のサークル・団体」が、いずれも 3～5 ポイント前回調査よりも低下しています。ただし、今回調査より、観光ボランティアとレイカディア大学運営支援の項目が追加されたため、単純な比較はできません。

図 10 地域活動の内容〔前回比較〕（複数回答）



（４）地域活動の具体的内容（複数回答）（図 9）

〔問 3-（２）「その活動の内容を具体的にお教えてください」〕

（ 巻末「資料」に掲載 ）

（５）主な地域活動の内容（図 11）

〔問 4-(1)「主たる活動内容を一つあげてください」（問 2 で「1 活動している」と回答した場合の設問）〕

図 11 は、問 2（図 8）で地域活動を「している」と答えた 319 人に、その「主たる活動内容」を尋ねたものです。主たる活動内容として「環境保全」が最多の 22.6%、次いで「福祉」10.3%、「自治会（町内会）」7.5%、「趣味とサークル・団体」と「観光ボランティア」がいずれも 4.7%の順となっています。

学科ごとにみると、その学科で学んだ内容が活動内容に反映されている様子がうかがえます。

園芸学科では、「環境保全」が最多の 33.3%を占めています。園芸学科で学習した剪定や樹木の扱い方などが里山保全や森林整備等に活かされています。

陶芸学科では、「福祉」、「環境保全」がいずれも 10.3%を占めています。福祉分野で活躍するとともに、福祉施設や地域で陶芸教室を開設しながら地域の方々との交流を深めています。

地域文化学科では、「自治会（町内会）」と「環境保全」がいずれも 11.4%と多くなっています。自治会など地域での紙芝居公演や、自然環境の中での校外学習や郷土の歴史学習等を通じた環境への保全活動、地域での史跡探訪のサークル結成等につながっています。

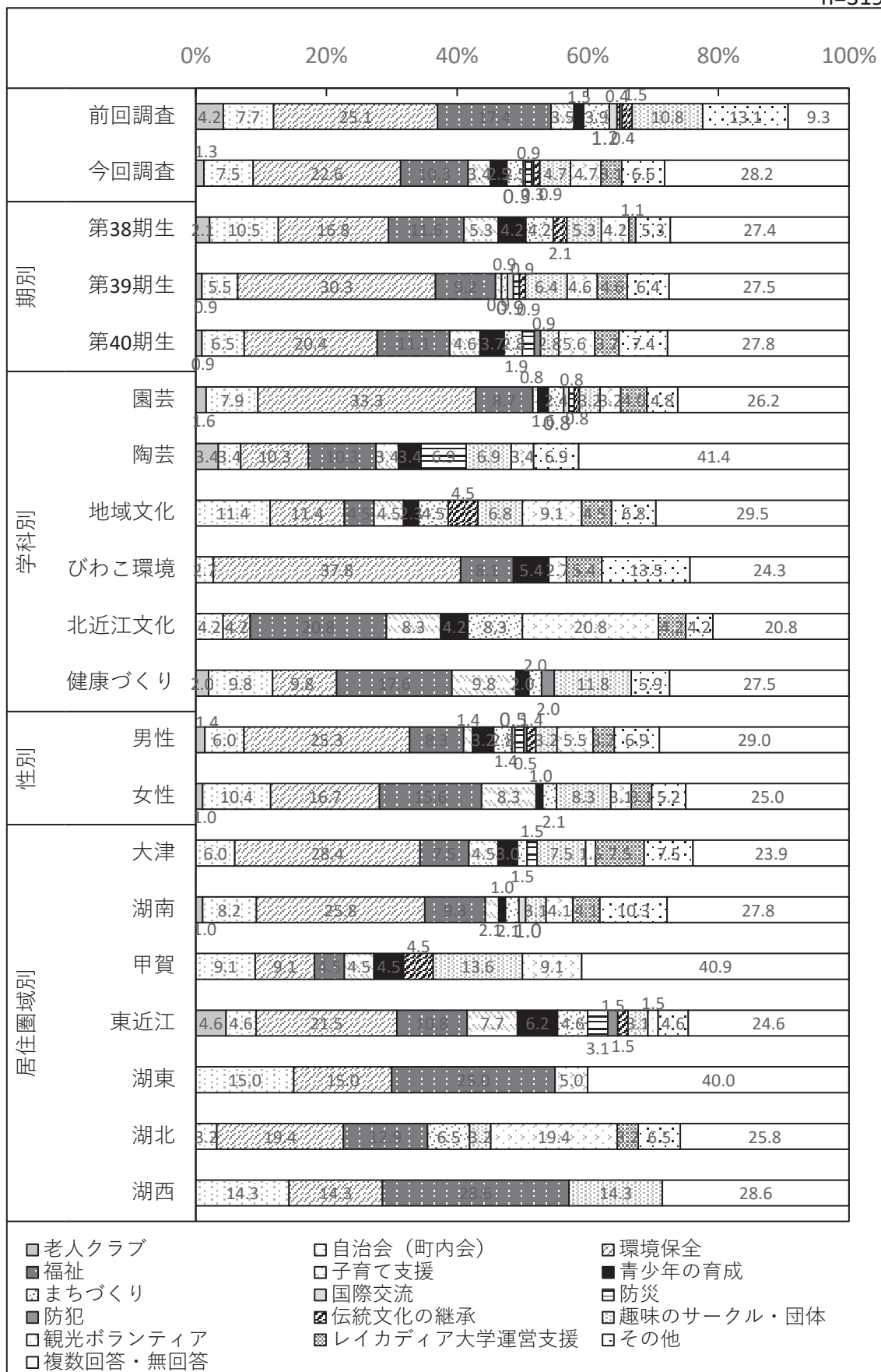
びわこ環境学科では、環境に直結した学習内容であることから「環境保全」が 37.8%と最多になっています。卒業生のほぼ三人のうち一人は何らかの環境保全に関わっていると言えます。個人による身近な地域里山づくりの参加から、団体結成での環境保全の取組が進んでいます。

北近江文化学科では、「福祉」、「観光ボランティア」がいずれも 20.8%を占めています。地域のサークル活動としての福祉分野での慰問訪問や、地域の観光ボランティア活動でその学びを活かしています。

健康づくり学科では、「福祉」が 17.6%、「趣味のサークル・団体」が 11.8%となっています。健康増進を学ぶ中で、関心が高まり、卒業後の活動へと結びついたものと考えられます。

図 11 主な地域活動の内容

n=319



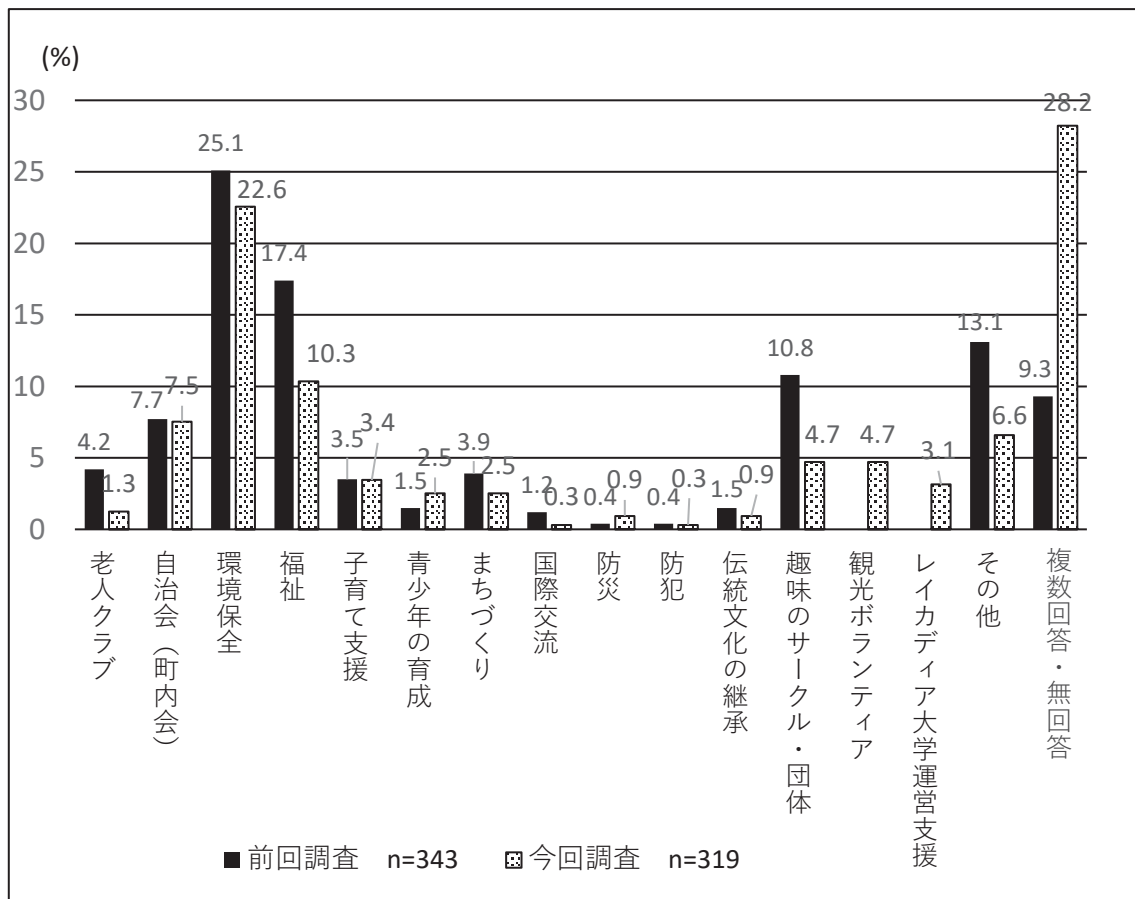
（６）主な地域活動（前回比較）（図 12）〔問 4-（1）〕

図 12 は、〔問 4-（1）「主たる活動内容を一つあげてください」〕について、前回調査と今回の調査を比較したグラフです。

今回調査より項目が「観光ボランティア」と「レイカディア大学運営支援」が追加されたため、一概には前回調査と対比できませんが、前回調査では 25.1%であった「環境保全」が、今回調査では 22.6%と若干下がりました。同様に「福祉」も 17.4%が 10.3%と大幅に下がりました。

なお、今回調査で追加となった項目の「観光ボランティア」は 4.5%、「レイカディア大学運営支援」は 3.1%を占めています。項目が追加されたことで、地域活動の詳細が明確になるとともに、地域活動が広範囲になってきている状況が推測されます。

図 12 主な地域活動〔前回比較〕



とりわけ注目に値することとして、図 10 と図 12 の双方を見ると、複数回答の間 3（図 10）では「環境保全」が最多の 17.9%を占めており、主たる地域活動の一つだけ選択する問 4-（1）（図 12）でも「環境保全」が最多の 22.6%となっています。このことから、「環境保全」を主軸として活動している卒業生が多く、環境に対する意識の高まりに応じた活動が主流を占め始めている様子がうかがえます。

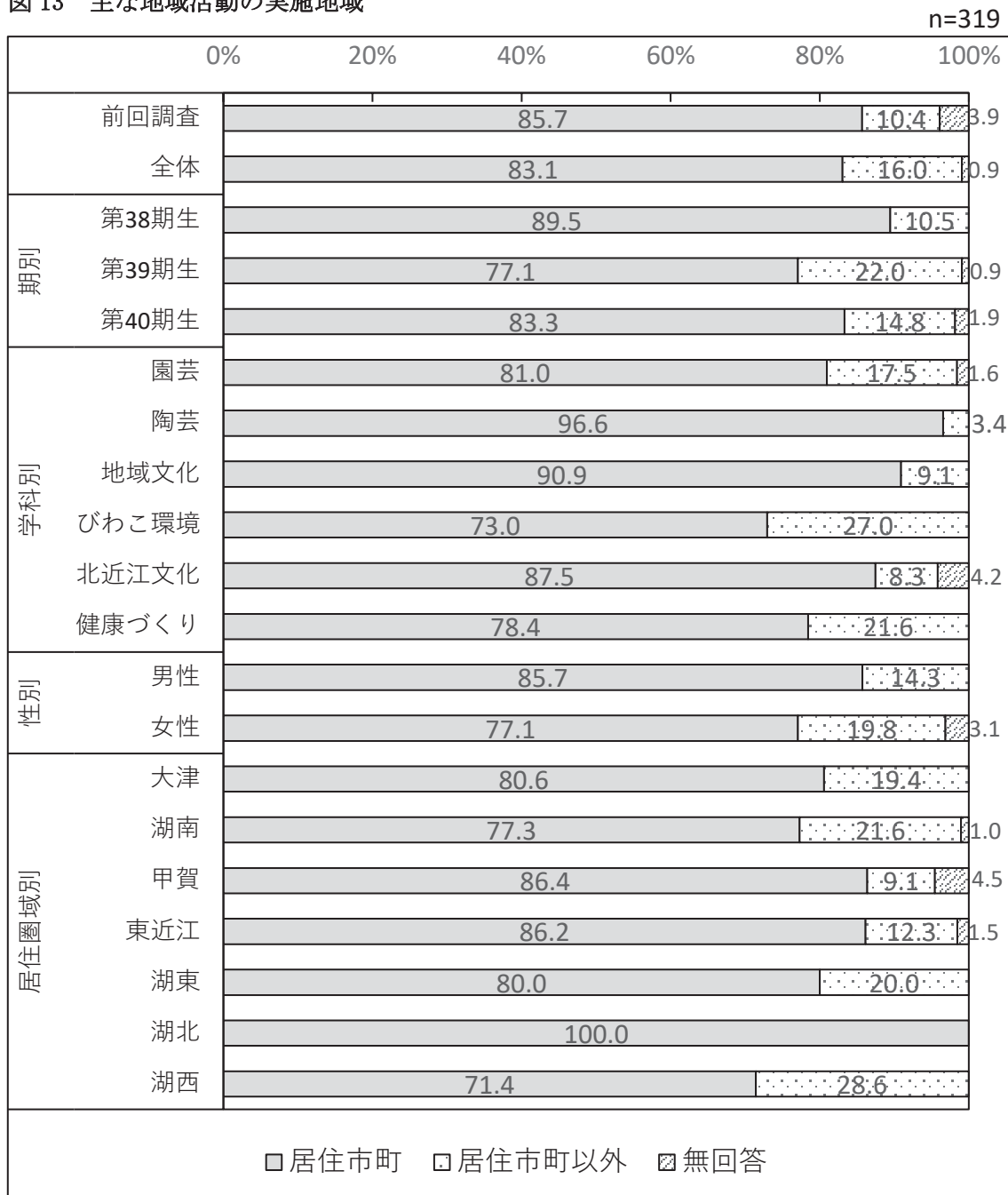
(7) 主な地域活動の実施地域 (図 13)

〔問 4-(2)「その活動地域はお住まいの市・町ですか」(問 2 で「1 活動している」と回答した場合の設問)〕

図 13 は、主な地域活動の実施地域が居住市町か居住市町以外かを示しています。

8 割以上の卒業生 (83.1%) が居住する市町, いわば地元において活動している様子がうかがえます。

図 13 主な地域活動の実施地域



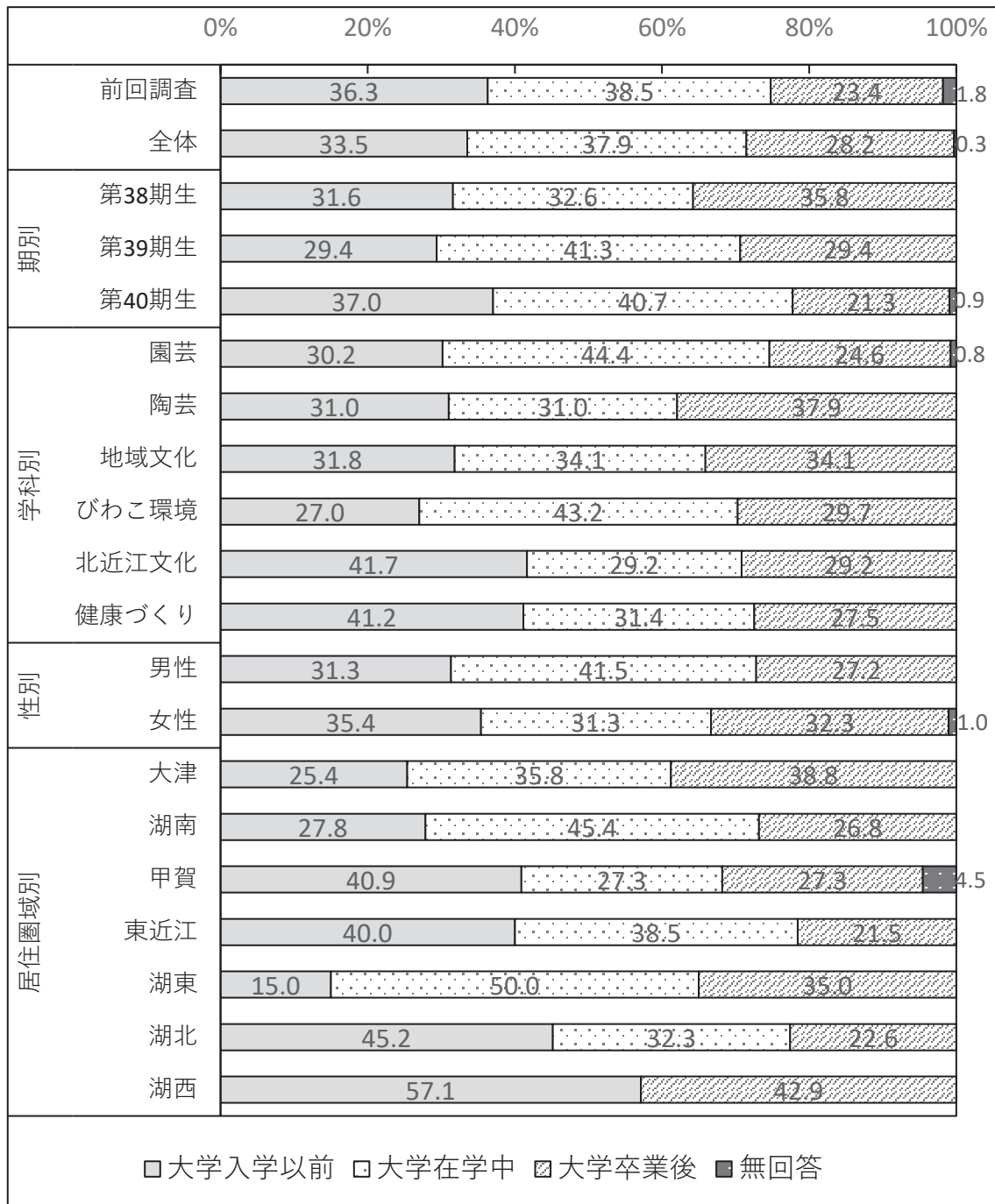
(8) 主な地域活動の実施時期 (図 14)

〔問 4-(3)「その活動はいつ頃から始めましたか」(問 2 で「1 活動している」と回答した場合の設問)〕

図 14 は、主な地域活動を行い始めた時期を示しています。全体の 37.9%が在学中に活動を始め、28.2%が卒業後に始めています。前回調査と比べると、卒業後に活動を開始した割合が 4.8 ポイント増加しています。

図 14 主な地域活動の実施時期

n=319



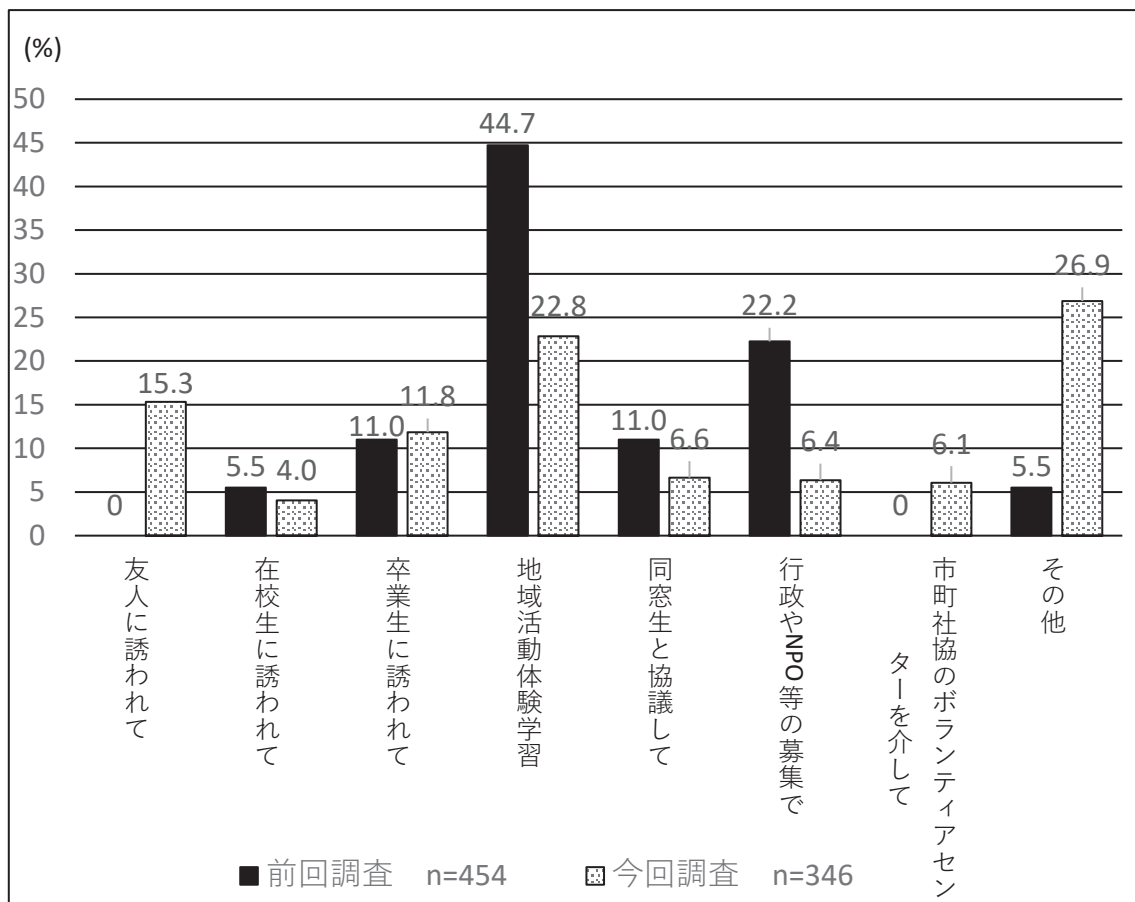
(9) 主な地域活動のきっかけ（前回比較）（複数回答）（図 15）

〔問 4-(4)「その活動をする主な“きっかけ”はどのようなことですか」（問 2 で「1 活動している」と回答した場合の設問）〕

図 15 は、主な地域活動を始めようになった“きっかけ”を示しています。前回調査では、「地域活動体験学習」が最多の 44.7%を占め、次いで「行政やNPO等の募集で」が 22.2%、「卒業生に誘われて」と「同窓生と協議して」が 11.0%の順となっていました。

今回調査では、「地域活動体験学習」は最多の 22.8%ですが、続く「友人に誘われて」が 15.3%、「卒業生に誘われて」が 11.8%、「同窓生と協議して」が 6.6%、「在校生に誘われて」が 4.0%と、人とのつながり関連が計 37.7%となっており、活動を始め重要な“きっかけ”になっていることが分かります。

図 15 主な地域活動の「きっかけ」（前回比較）（複数回答）



◆ 「その他」の回答内容

- 「レイカディアの日」でお世話になったから
- 当時の自治会長に頼まれて
- イベント実施をきっかけに
- サークルを発起させたから

- ソフトボール競技を通じて、協会役員に就任
- ネットで調べて、ネット情報から
- びわ湖の環境保全を思立ち、山林保全の活動団体に自ら探し入会。レイ大入学は、びわ湖保全の一環。
- ボランティア活動も趣味のサークルもレイカに関係なく、かなり前から活躍している
- まち協から依頼で
- レイカディア大学在学中に配られたチラシを見て
- レイカの友人が賛同してくれたので仲間と立ち上げました
- レイ大の課題学習で取り組んでから
- 以前から興味があり、退職後から始めると計画していた
- 園芸学科の学習にて教えて頂きました
- 課題学習として友人と相談して
- 課題学習のつづきとして
- 課題学習の継続を行いたくて
- 活動場所が家に近いので
- 居住地在住故
- 区長の推薦
- 栗東市社会福祉協議会より依頼されて
- 公民館の花壇が未整備だったため
- 行きがかり上、出来る事のみ
- 高齢者施設へ直接申込から
- 仕事の延長として
- 自らが考えて
- 自治会
- 自治会の募集
- 自治会よりの依頼
- 自治会会長
- 自治会長からの依頼
- 自主的に、自主的な思いから
- 自主活動
- 自主的に（同窓会に入って）
- 自主的に。（孫の入学をきっかけとして14年目に入る
- 自主的に参加
- 自身で
- 自分から、声かけをして、仲間を集め実施。発起人
- 自分でさがして
- 自分で希望して。関係者から依頼されて

- 自分で決めた
- 自分で上げた
- 自分の健康管理を兼て毎日1時間歩行
- 自分達で立ち上げたので
- 趣味が講じて
- 住んでいる所をよくする為
- 住所移転後
- 小学校見守りボランティア募集を見て
- 少年時代の興味から
- 図書館主催の絵本読み聞かせボランティア講座を受講して
- 設立60周年のこの活動は以前から知っていて興味があった
- 先輩からの紹介
- 先輩からの要請
- 選挙で
- 前隊長からの誘い
- 退職を機に守山に戻り、GAGに参加
- 退職後に老後の生活に必要と感じ、グループを立ち上げました
- 大学に募集がきた
- 知人
- 地域おこしの為
- 地域に認知症の方が増加したので
- 地域の一員として参加している
- 地域の人達からの推薦
- 地域の推選？
- 地域の方に誘われて
- 地域の歴史探究・伝承に関心があったので
- 地域文化学科の課題研究のテーマとして選んだことから
- 地区推薦
- 地区選別
- 地元老人の会 年齢加入
- 地文同窓生の紹介
- 町内会から頼まれて
- 町内会の仕事
- 町内活動にて話し合いの中から活動に発展
- 転居にともない知り合いを環境保全団体を通して得るため
- 61才から8年間在職
- 必然的に
- 役員の輪番制による

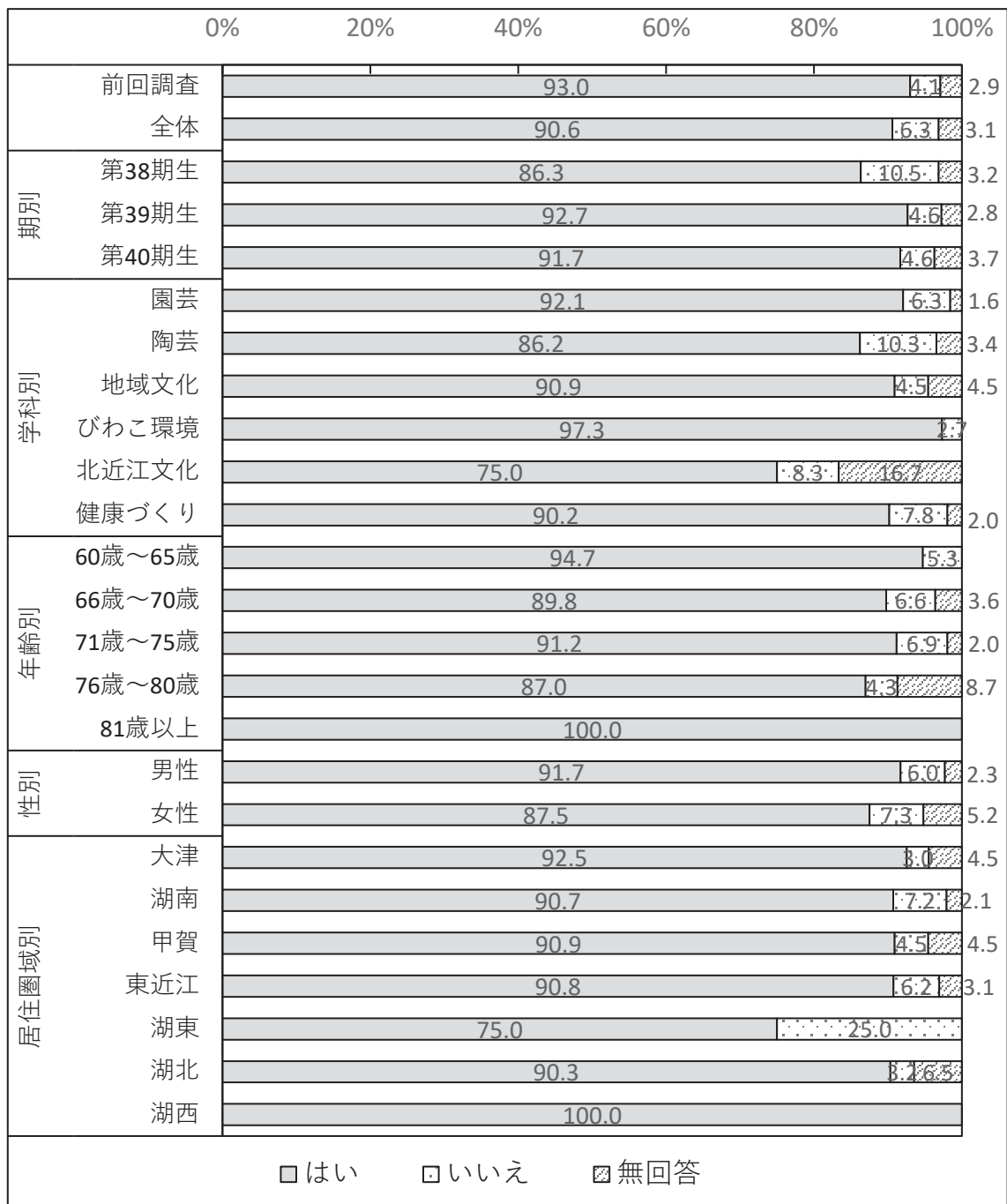
(10) 地域活動を行うことによる充実感 (図 16)

〔問 4-(5)「現在行っている地域活動を行うことで、充実感を感じますか」(問 2 で「1 活動している」と回答した場合の設問)〕

図 16 は、地域活動を行うことによる充実感を示しています。「充実感を感じる」と答えた割合は、全体の 90.6%と高い数値を示しており、10 人のうち 9 人以上が活動を通して充実感を得ていることが分かります。

図 16 地域活動による充実感

n=319



(11) 地域活動を行っていない理由（複数回答）（図 17）

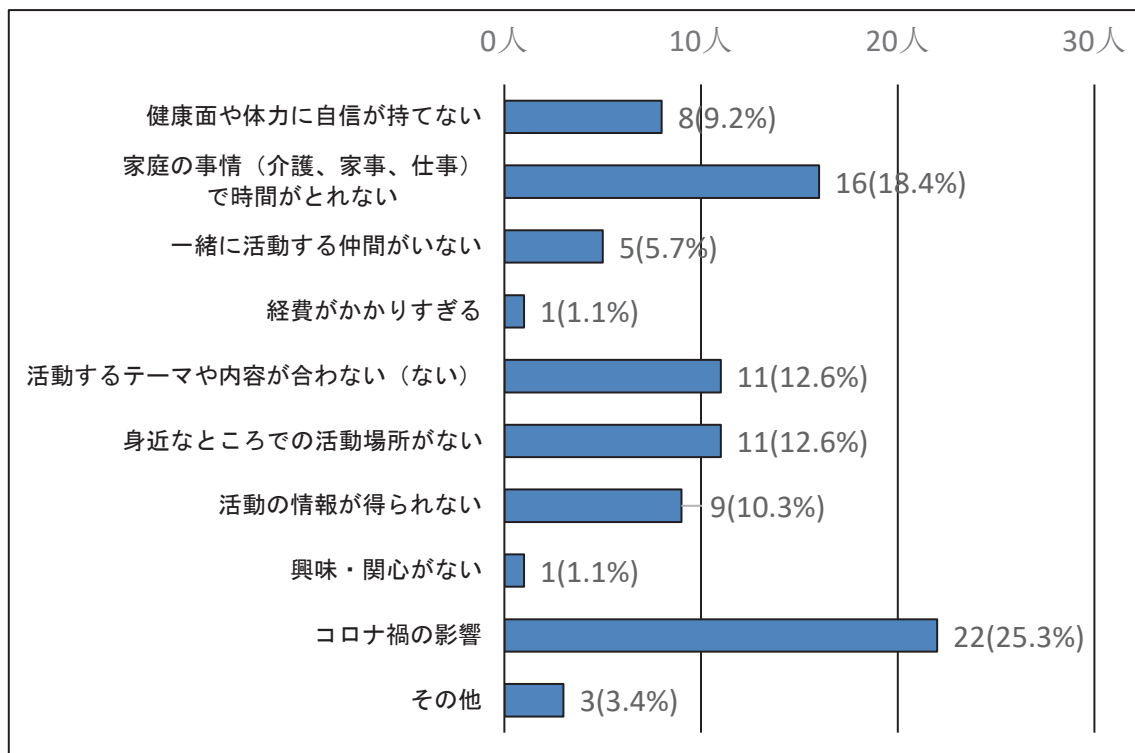
〔問 5「現在活動していない理由は、どのようなものですか」（問 2 で「2 活動していない」と回答した場合の設問）〕

問 2 で地域活動を「していない」と回答したのは 44 人。図 17 は、地域活動を行っていない理由(複数回答)を示しています。今回の調査時は、コロナ禍という特殊事情のため、「コロナ禍の影響」（22 人、25.3%）が最大の理由となりました。次に「家庭の事情（介護、家事、仕事）で時間が取れない」（16 人、18.4%）、「活動するテーマや内容が合わない」と「身近なところでの活動場所がない」が同数の（11 人、12.6%）、「活動の情報が得られない」（9 人、10.3%）、「健康面や体力に自信が持てない」（8 人、9.2%）と続きます。

特殊事情の「コロナ禍」の影響が大きく、今後については、感染症対策を考慮した諸々の対応が必要であるという、大きな課題が明らかになりました。

図 17 地域活動を行っていない理由(複数回答)

n=87



◆ 「その他」の回答内容

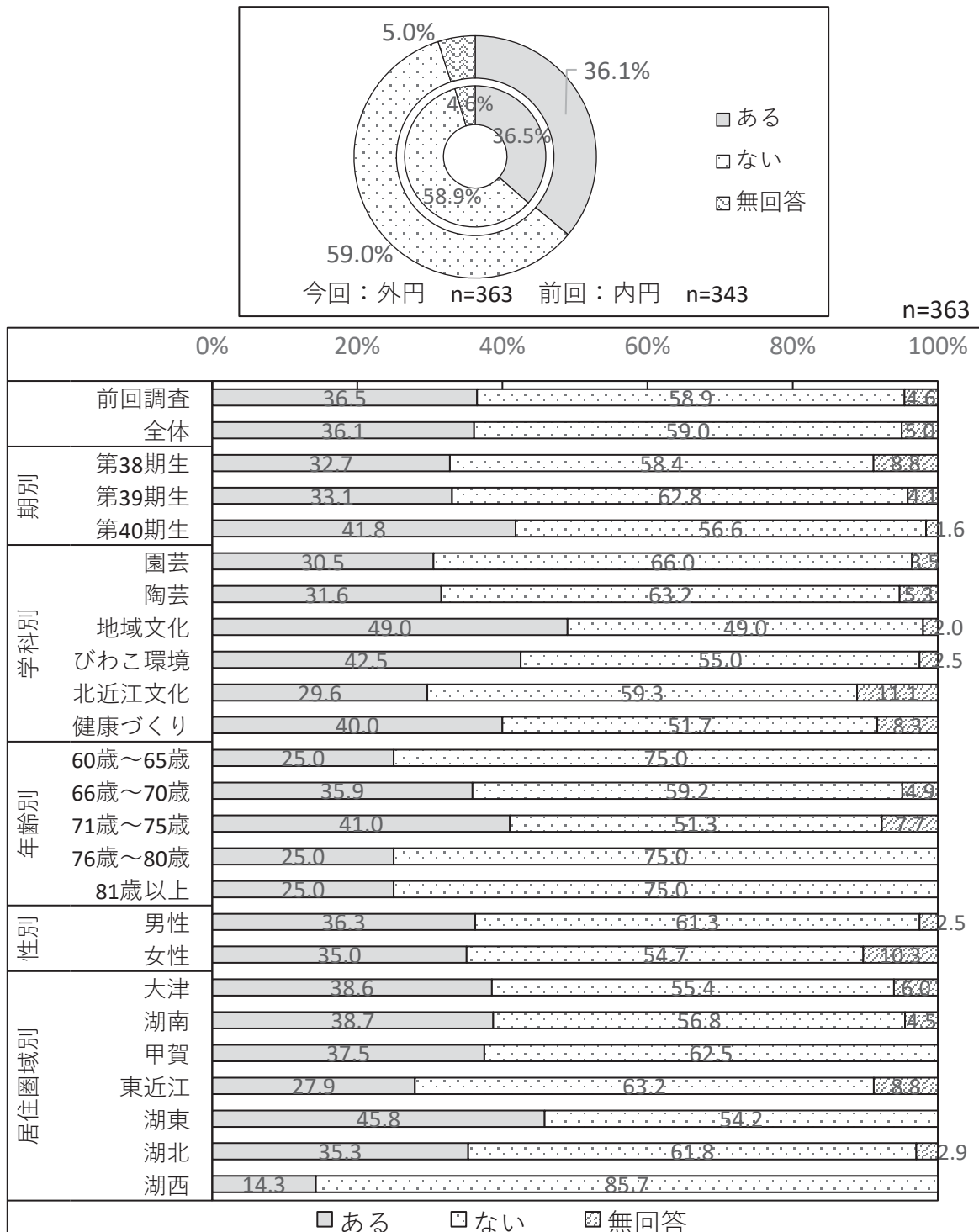
- 1月まではやっていたがストップした。（地域に呼びかけがしにくくなった）
- コロナ禍のための三密対応。
- がん療養中のため。
- 股関節の手術を10月にしたので、今はしていない

(12) 新たに行いたい地域活動の有無 (図 18)

〔問 6 「今後、新たに行いたいボランティア活動や地域活動はありますか」〕

図 18 は、今後、新たに行いたい地域活動の有無の回答結果です。「新たに行いたい活動がある」と回答したのは 36.1%で、過半数の 59.0%が「ない」と回答しています。

図 18 新たに行いたい地域活動の有無

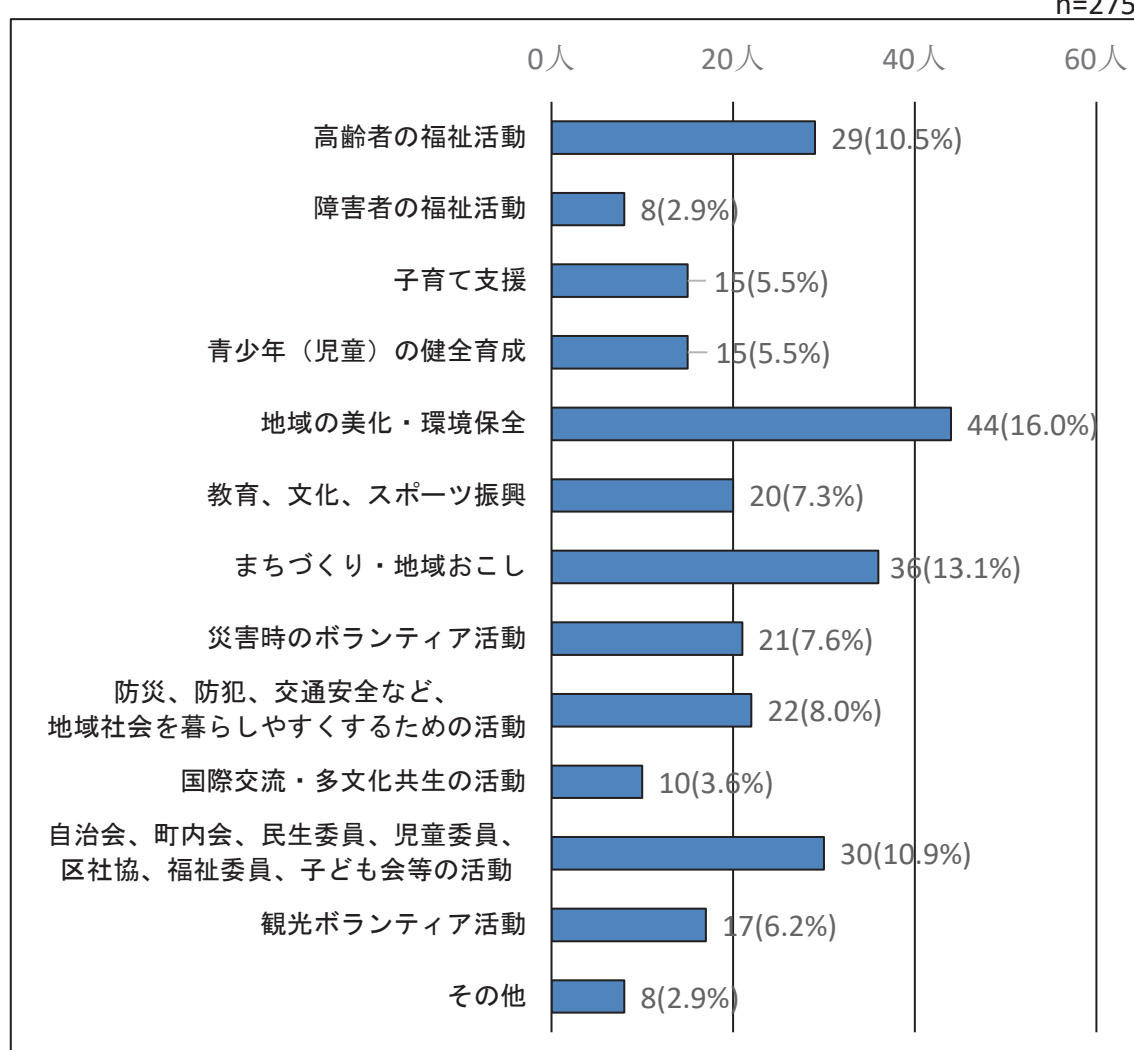


(13) 新たに行いたい地域活動の内容（複数回答）（図 19）

〔問 7「それはどのような活動ですか」（問 6 で「1 新たに行いたい活動がある」と回答した場合の設問）〕

図 19 は、今後、新たに行いたい地域活動の内容を示しています。「地域の美化・環境保全」が 16.0%と最も多く、次いで「まちづくり・地域おこし」が 13.1%、「自治会、町内会、民生委員、児童委員、区社協等」が 10.9%の順となっています

図 19 新たに行いたい地域活動の内容（複数回答）



◆ 「その他」の回答内容

- びわこ環境問題を考えたい
- 各自が健康づくり活動支援 自彊術の普及（講師）
- 高齢者への就活
- 地域の担い手になってもらうための啓もう活動
- 地域の名所、旧跡の掘りおこし、研究活動
- 竹細工、木工等
- ふれあいカフェをやってみたい
- 図書館おはなしボランティア

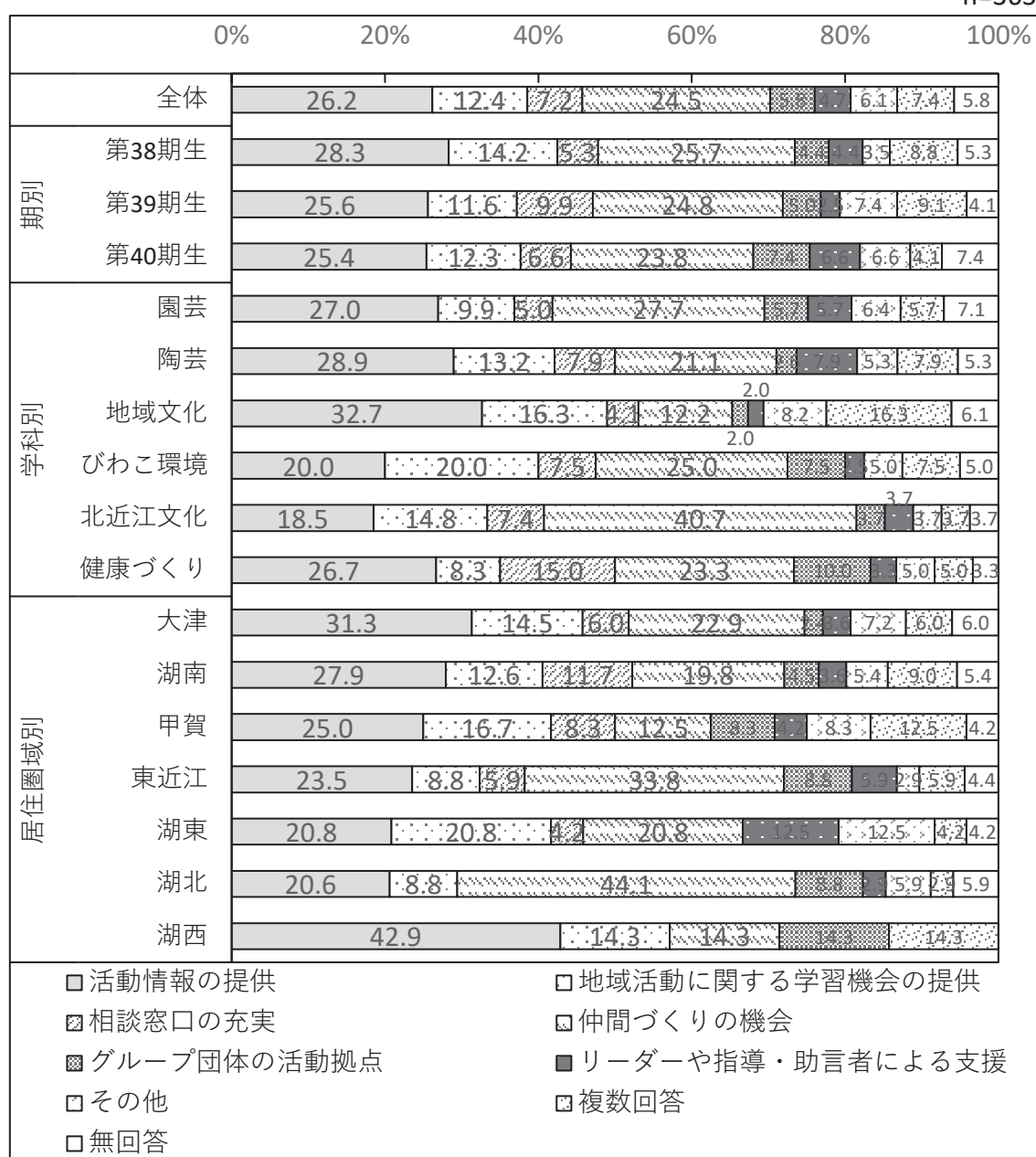
(14) 地域活動を行うために最も重要なこと (図 20)

〔問 8 「地域活動を実践していく上で、何が最も重要だと思いますか」〕

問 6 (図 18) において「新たに行いたい活動がある」と答えた 131 人に対して、「地域活動を行っていくために最も重要なこと」を尋ねました。回答は、「活動情報の提供」26.2%、「仲間づくりの機会」24.5%、「地域活動に関する学習機会の提供」12.4%、「相談窓口の充実」7.2%の順になっています。

図 20 地域活動を行うために最も必要なこと

n=363



◆ 「その他」の回答内容

- 本人の余暇活動に対する考え方が一番問題？ “仲間づくりの大切さ”
- 健康状態や、家事都合による
- 個人的な活動でしたので、特に要望はありません。
- いつ・なぜ・おこなう
- 自分が楽しくできる事
- 自分が、その活動に対して「好」であること
- 協調性
- 活動内容が楽しいこと。活動が会の為にも自分の為にも（健康、生きがい）役立っていると感じること！！
- 自身の健康増進
- 1～6 全て重要だと思う
- 良く知った人（話し合える人）との参加
- 担い手の気付き・人は何故、奉仕に関わるのか、重要です
- やる気
- 体力
- 本人の意志
- 私は車に乗れないためその都度知り合いにお願いしなければならないため、交通の不便さにすごく思いました。
- 自分が無理をしない
- 後継者のない事・養成が必要か？父母がするのか？
- 自分自身の健康

3. レイカディア大学から受けた影響

在学中にレイカディア大学から受けた影響や、地域活動に対する意欲・関心の変化、その意欲・関心を高めた学習内容について尋ねました。

(1) 学生生活の中での仲間との交流、信頼関係、生きがい感等 (図 21)

〔問 9「レイカディア大学での学生生活を振り返って、以下に挙げたことはそれぞれの程度あてはまりますか」〕

図 21 は、2 年間の在学中において、共に学ぶ仲間との交流することができたか、仲間と信頼関係を築けたか、協力しながら学習できたか、同じ目標・目的を持つ仲間と出会えたか、生きがい感を得られたか、について尋ねた結果を示しています。すべての項目において「とてもそう思う」「ややそう思う」を合わせると全体の 9 割近くを占めています。

図 22～26 は、それぞれの項目ごとの詳細を示しています。

図 21 学生生活の中での仲間との交流、信頼関係、生きがい感等

n=363

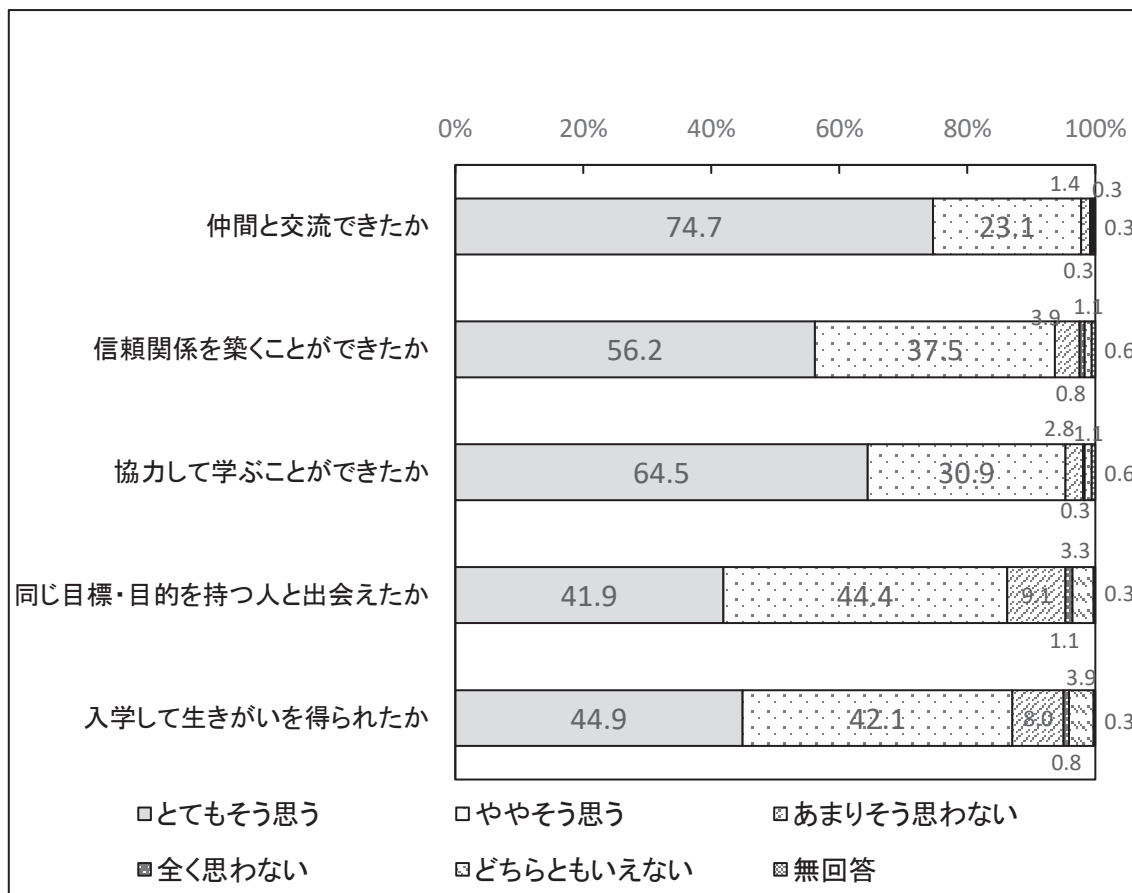


図 22 レイカディア大学で、仲間と交流することができたか〔問 9（1）〕

n=363

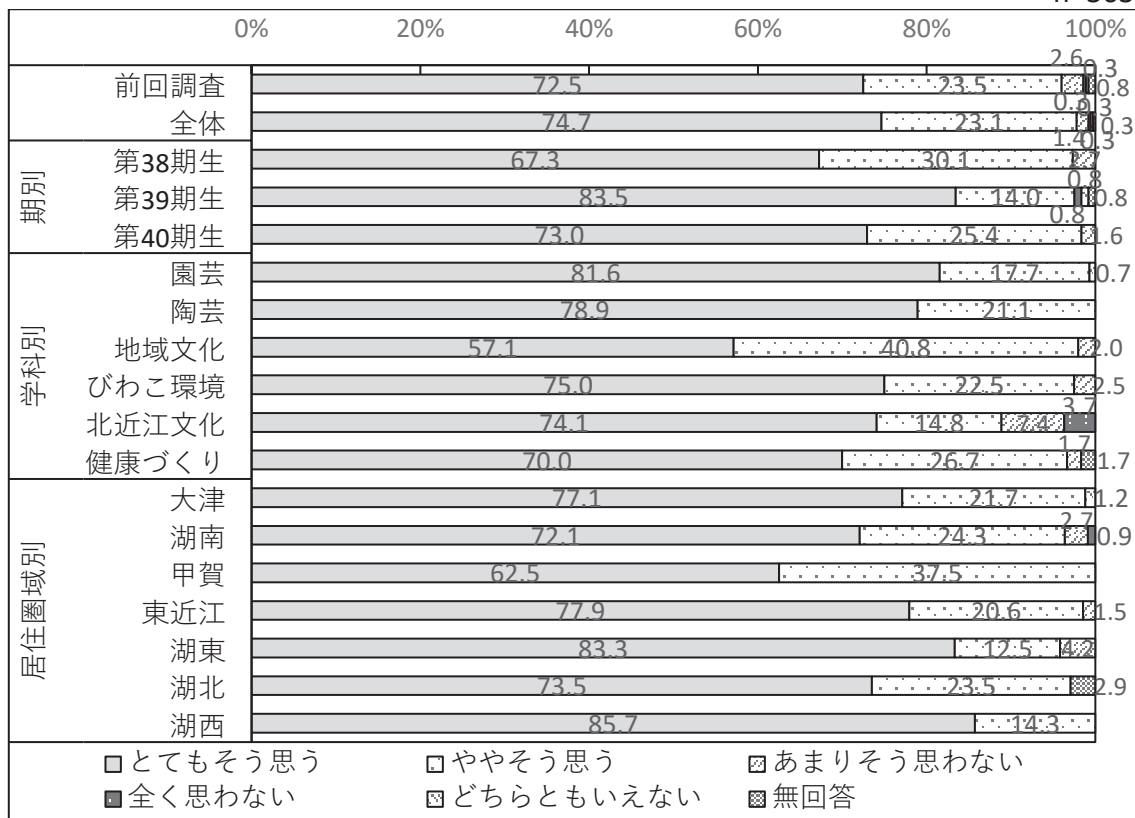


図 23 レイカディア大学で、仲間と信頼関係を築くことができたか〔問 9（2）〕

n=363

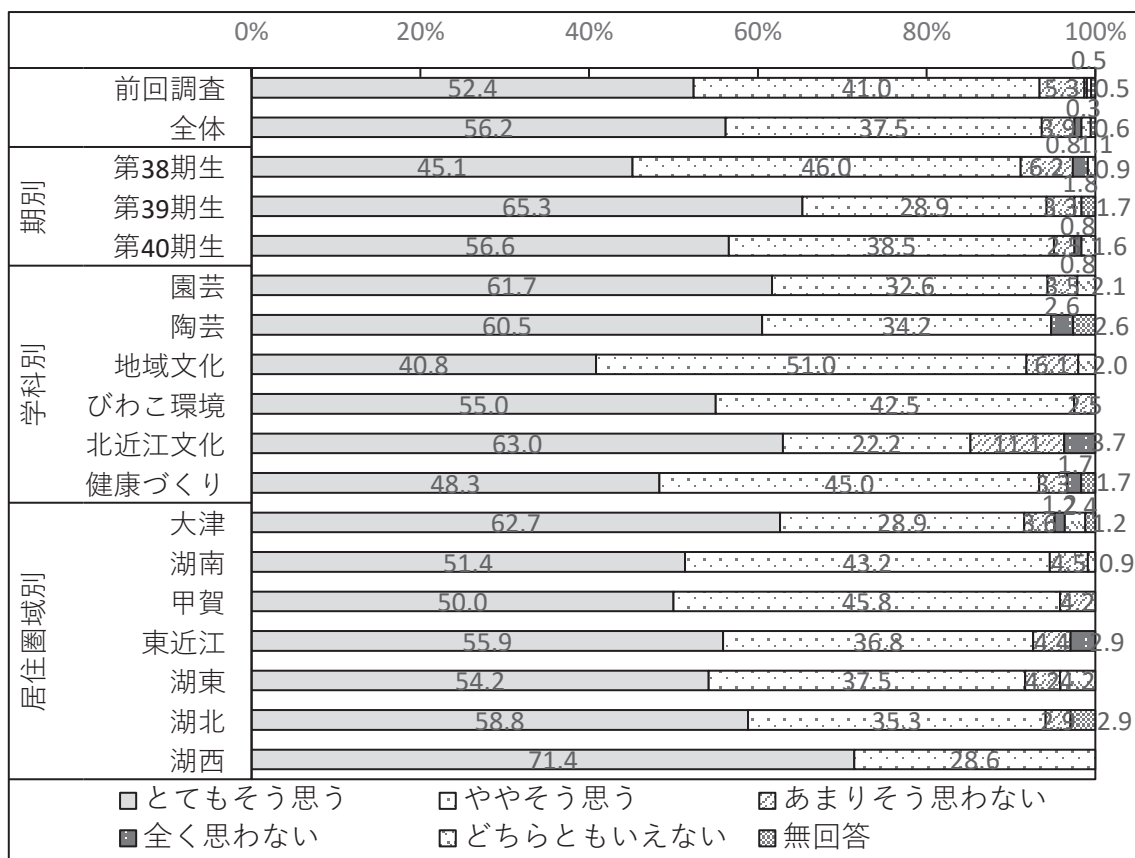


図 24 レイカディア大学で、仲間と協力し共に学ぶことができたか〔問 9（3）〕 n=363

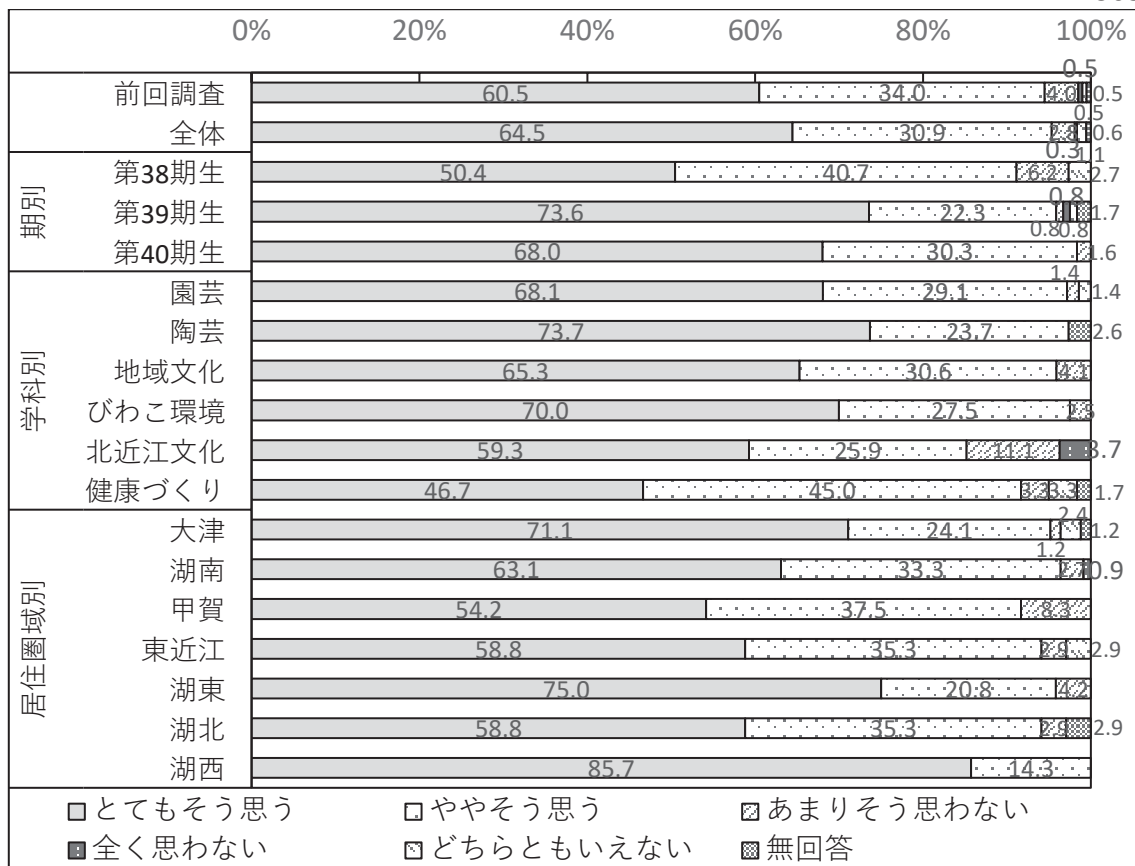


図 25 レイカディア大学で、同じ目標・目的を持つ人と出会えたか〔問 9（4）〕 n=363

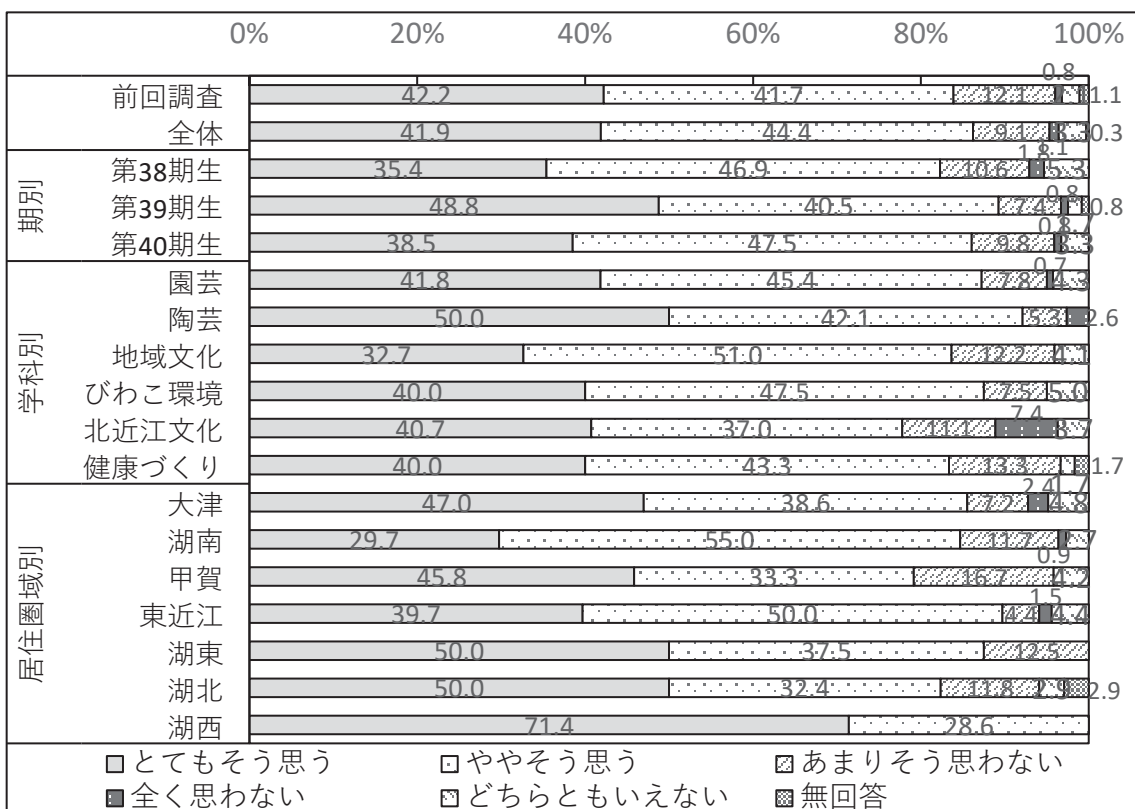
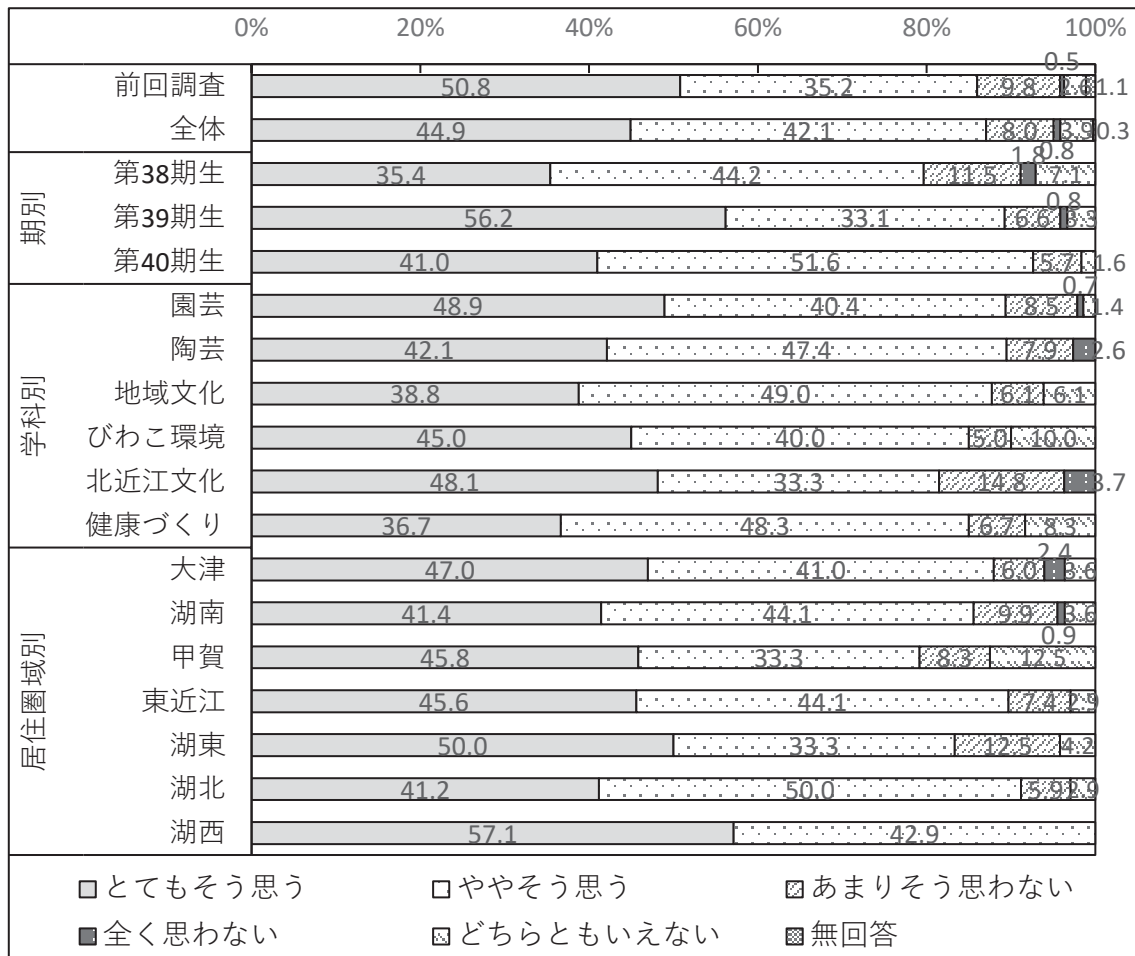


図 26 レイカディア大学に入学して、生きがい感を得ることができたか〔問 9 (5)〕 n=363

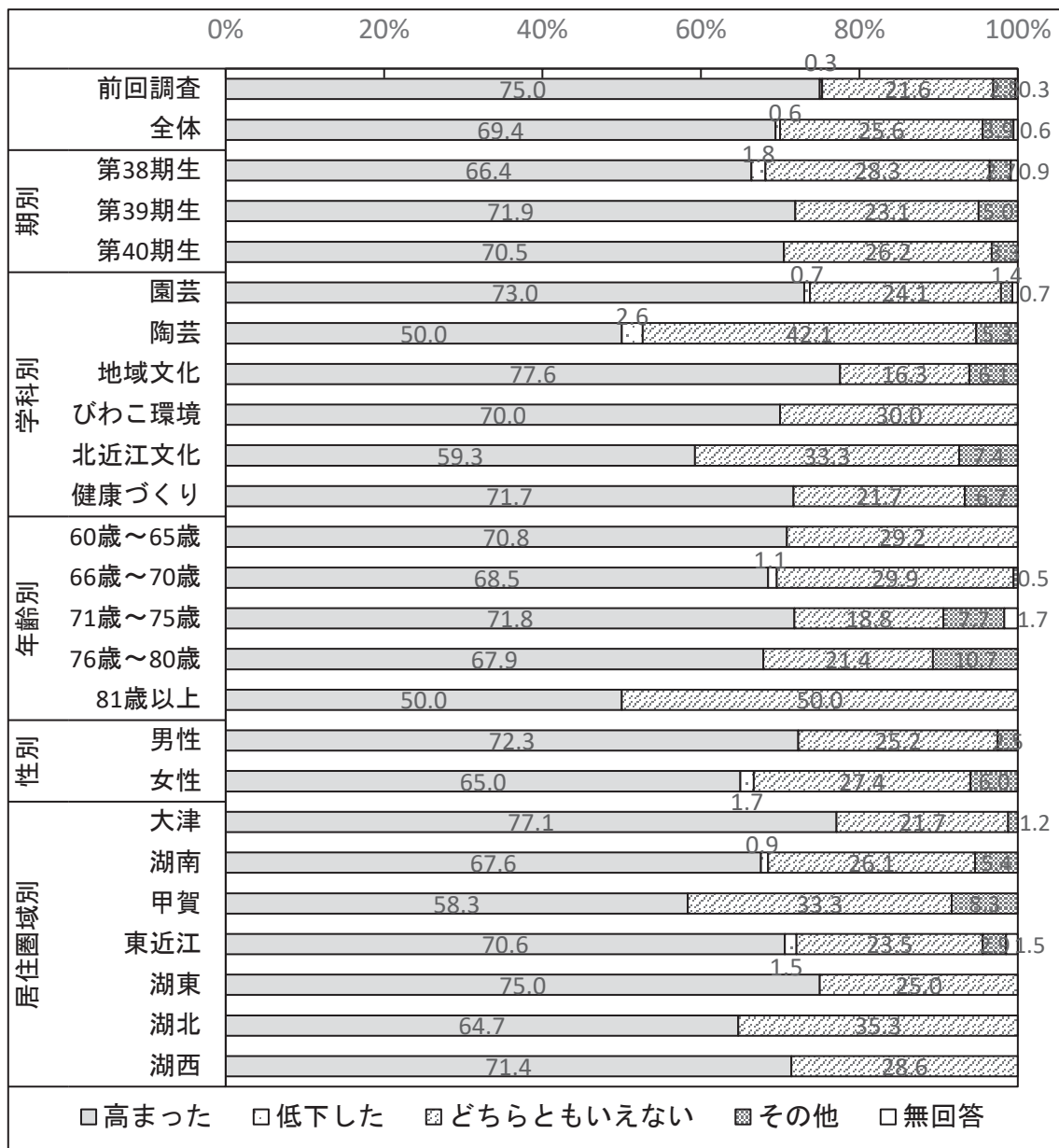


(2) 入学前と卒業後の地域活動に対する意欲・関心の変化 (図 27)

〔問 10「レイカディア大学入学前と卒業後では、地域活動に対するあなたの意欲や関心に変化はありましたか?」〕

図 27 は、入学前と卒業後の地域活動に対する意欲や関心の変化について示しています。全体の 69.4% が「意欲・関心が高まった」と回答しており、概ね 10 人のうち 7 人が地域活動に対する意欲や関心を高めたことになります。

図 27 レイカディア大学入学前と卒業後の地域活動に対する意欲・関心の変化 n=363



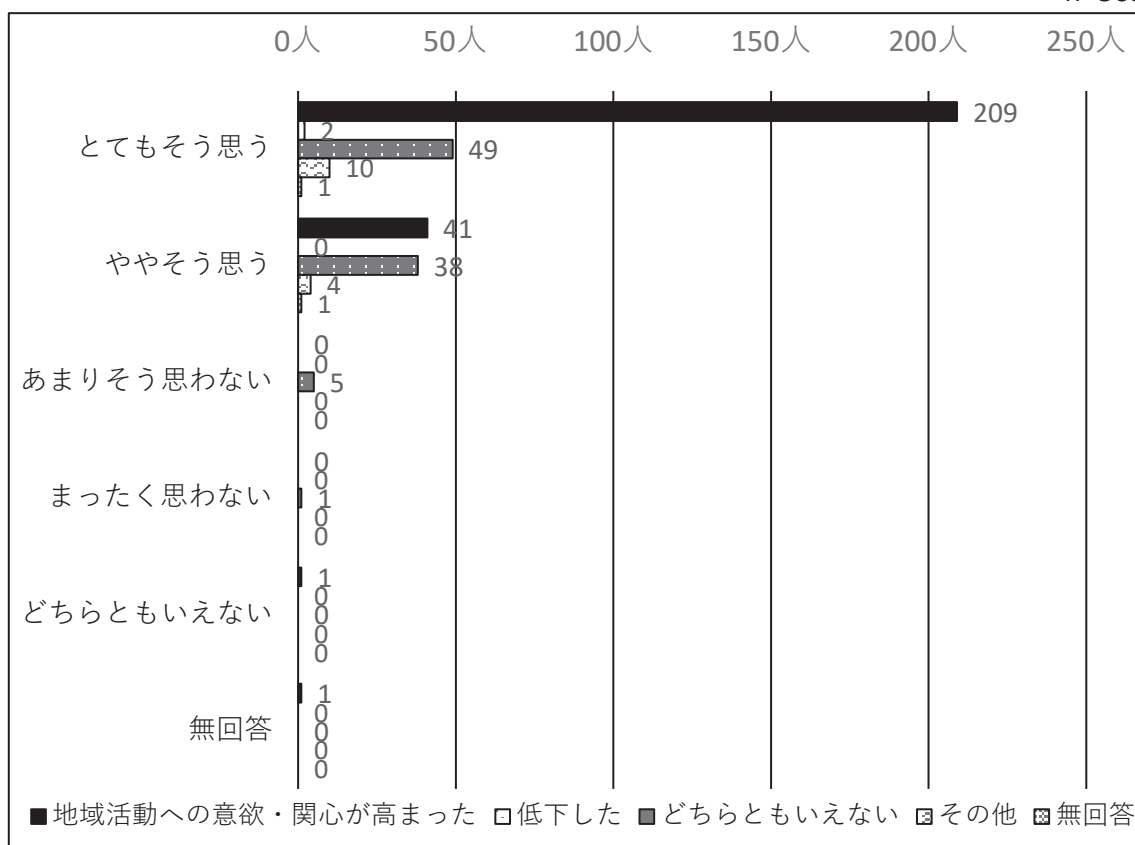
◆ 「その他」の回答内容

- 意欲や関心は高まるが体が思うように動かない。
- 入学前から何か活動をしたいと考えていたのでいい機会になった
- 意欲や関心は、前と後とでは、あまり変化はない。
- 卒業後、子供の関係で関東方面に移住した為、地域活動をする情報・仲間等が中々、得られない
- 異質なシニア同志の仲間ができたことが最も良かった。
- 高齢でもあり何をどうしたら良いかわからない。
- 変わらない、若い時からボランティア活動に参加していた
- 以前から活動しているので、特に変化はない。
- 入学前より活動をしてましたから
- 入学前から地域活動していたので前と後の変化はないが、仲間の頑張っている姿をみていて自分なりに頑張らなくてはと感じた。
- 変化はない。全のボランティアに於いて体力・気力が続く限り行っていきたい。
- 内容は違っても励まされるものがある

(3) 学生生活での「仲間との交流、信頼関係の構築等」(問 9) が「地域活動への意欲・関心の変化」(問 10) に及ぼす影響 (図 28～32)

図 28～32 は、在学中における仲間との交流や信頼関係の構築等の度合い (問 9、図 21) が、卒業後の地域活動への意欲・関心 (問 10、図 27) とどのように関係しているかをクロス集計し分析したものです。

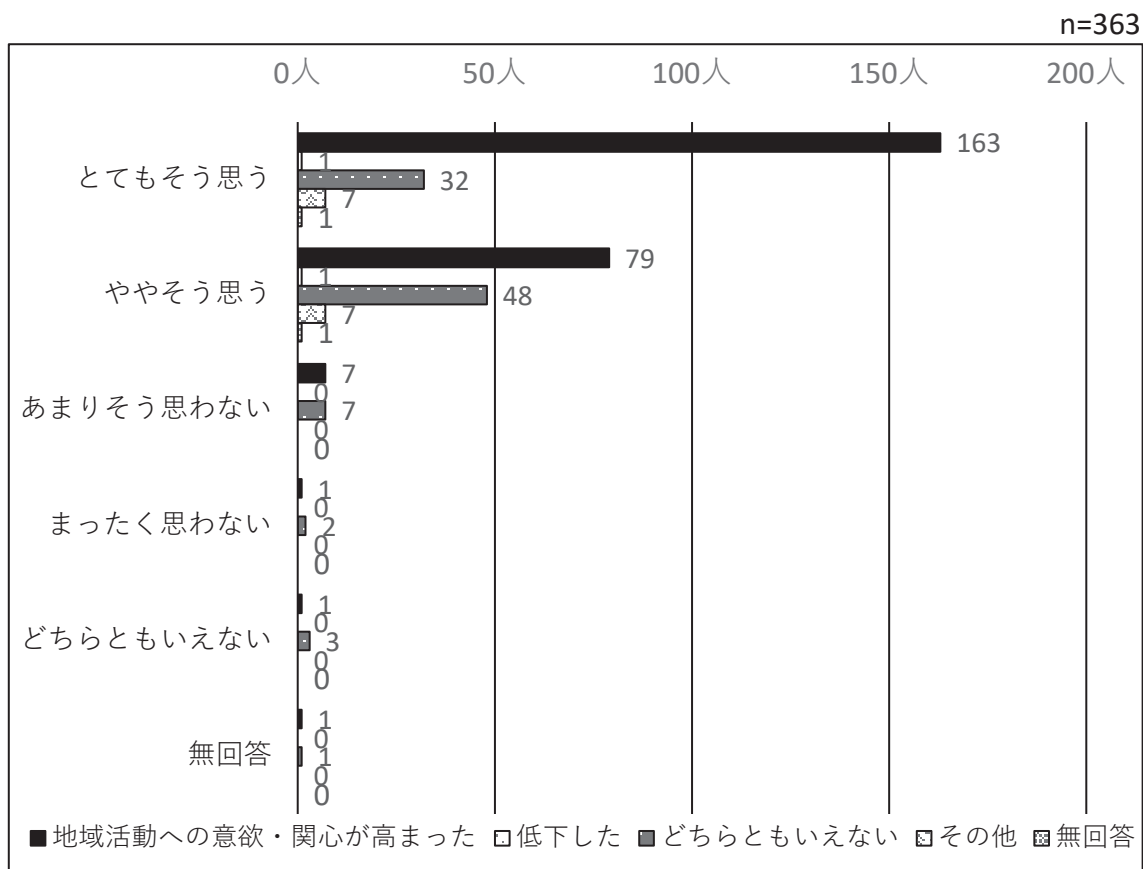
図 28 「仲間との交流ができたか」と「地域活動に対する意欲・関心」との関係 n=363



問 9-(1)「本学で仲間と交流することができたか」において「とても思う」と答えた 271 人のうち、問 10 で「地域活動に対する意欲・関心が高まった」と回答したのは 209 人、77.1%で高い割合を占めています。つまり、本学で仲間と交流できた 8 割弱の卒業生が、同時に、地域活動に対する意欲・関心を高めたことがわかります。

また、関係性を逆に見ると、「地域活動に対する意欲・関心が高まった」と回答した卒業生 252 人のうち、「本学で仲間と交流することができたか」において「とても思う」と回答したのは 209 人、82.9%で、「やや思う」は 41 人、16.3%でした。これらの「とても思う」と「やや思う」を合わせると 250 人、99.2%となり、「地域活動に対する意欲・関心が高まった」と答えたほぼ全員が「本学で仲間と交流できた」ということとなります。

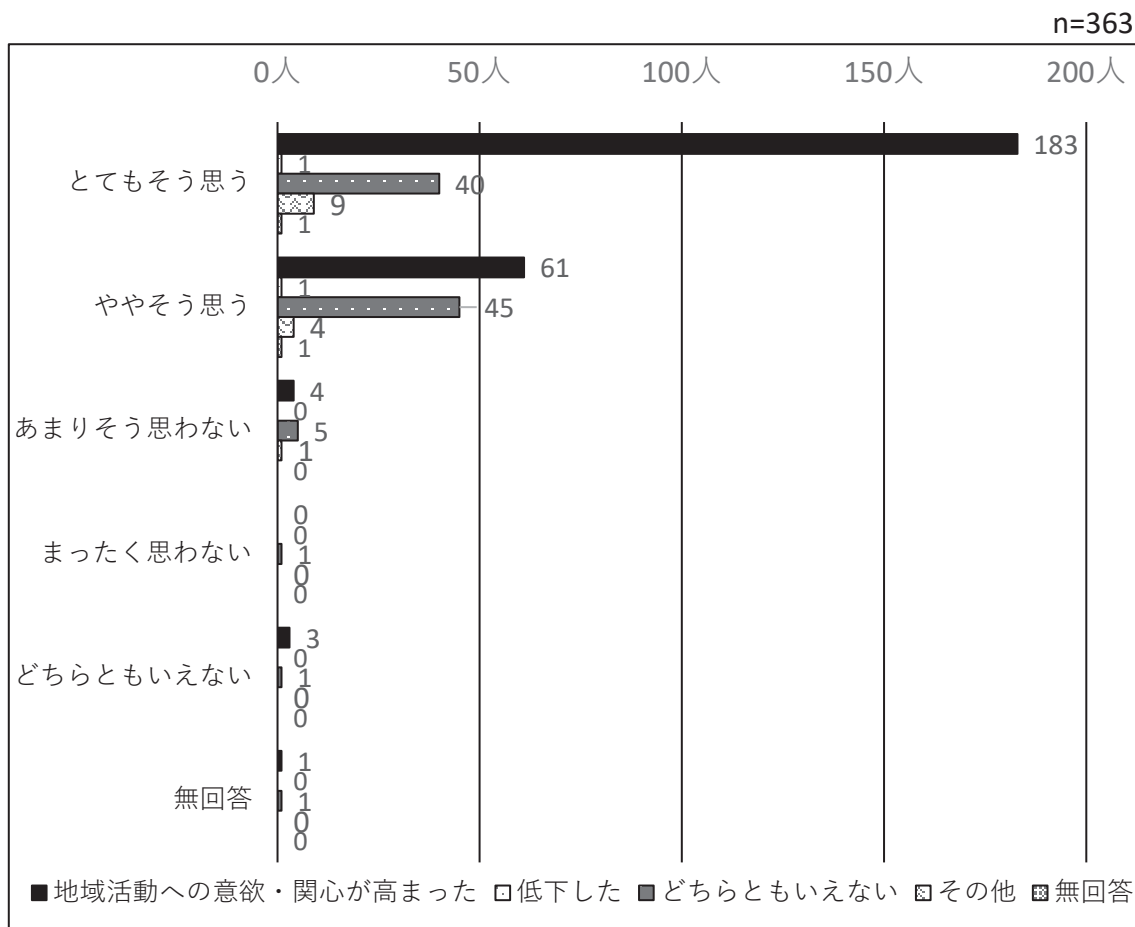
図 29 「仲間と信頼関係が築けたか」と「地域活動に対する意欲・関心」との関係



同様にして、問 9-(2)「本学で仲間と信頼関係を築くことができたか」においても「とても思う」と答えた 203 人のうち、「(問 10) 地域活動に対する意欲・関心が高まった」と回答したのは 163 人、80.3%という比較的高い割合を示しました。つまり、本学で仲間と信頼関係を築けた 8 割の卒業生が、同時に、地域活動に対する意欲・関心を高めたことがわかります。

また、関係性を逆に見ると、「地域活動に対する意欲・関心が高まった」と回答した卒業生 252 人のうち、「本学で仲間と信頼関係を築くことができたか」において「とても思う」と回答したのは 163 人、61.2%で、「やや思う」は 79 人、31.3%でした。これらの「とても思う」と「やや思う」を合わせると 242 人、96.0%となり、程度の差はあるものの、「地域活動に対する意欲・関心が高まった」と答えたほぼ全員が「本学で仲間と信頼関係を築くことができた」ということになります。

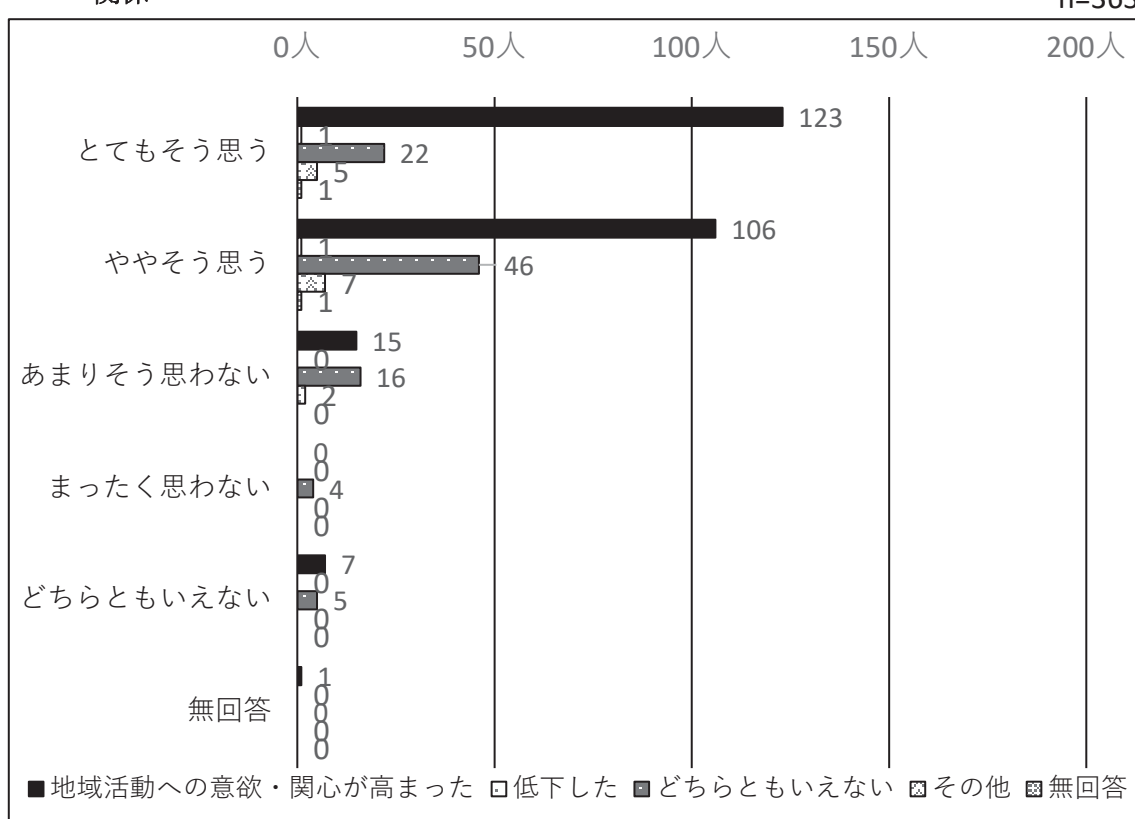
図 30 「仲間と協力し学ぶことができたか」と「地域活動に対する意欲・関心」との関係



同じく、問 9-(3)「本学で仲間と協力し共に学ぶことができたか」において「とても思う」と答えた 233 人のうち、「(問 10) 地域活動に対する意欲・関心が高まった」と回答したのは 183 人、78.5%という比較的高い割合を示しました。つまり、本学で仲間と協力し共に学ぶことができた 8 割弱の卒業生が、同時に、地域活動に対する意欲・関心を高めたことがわかります。

また、関係性を逆に見ると、「地域活動に対する意欲・関心が高まった」と回答した卒業生 252 人のうち、「本学で仲間と協力し共に学ぶことができたか」において「とても思う」と回答したのは 183 人、72.6%で、「やや思う」は 45 人、17.9%でした。これらの「とても思う」と「やや思う」を合わせると 244 人、96.8%となり、程度の差はあるものの、「地域活動に対する意欲・関心が高まった」と答えたほぼ全員が「本学で仲間と協力し共に学ぶことができた」ということになります。

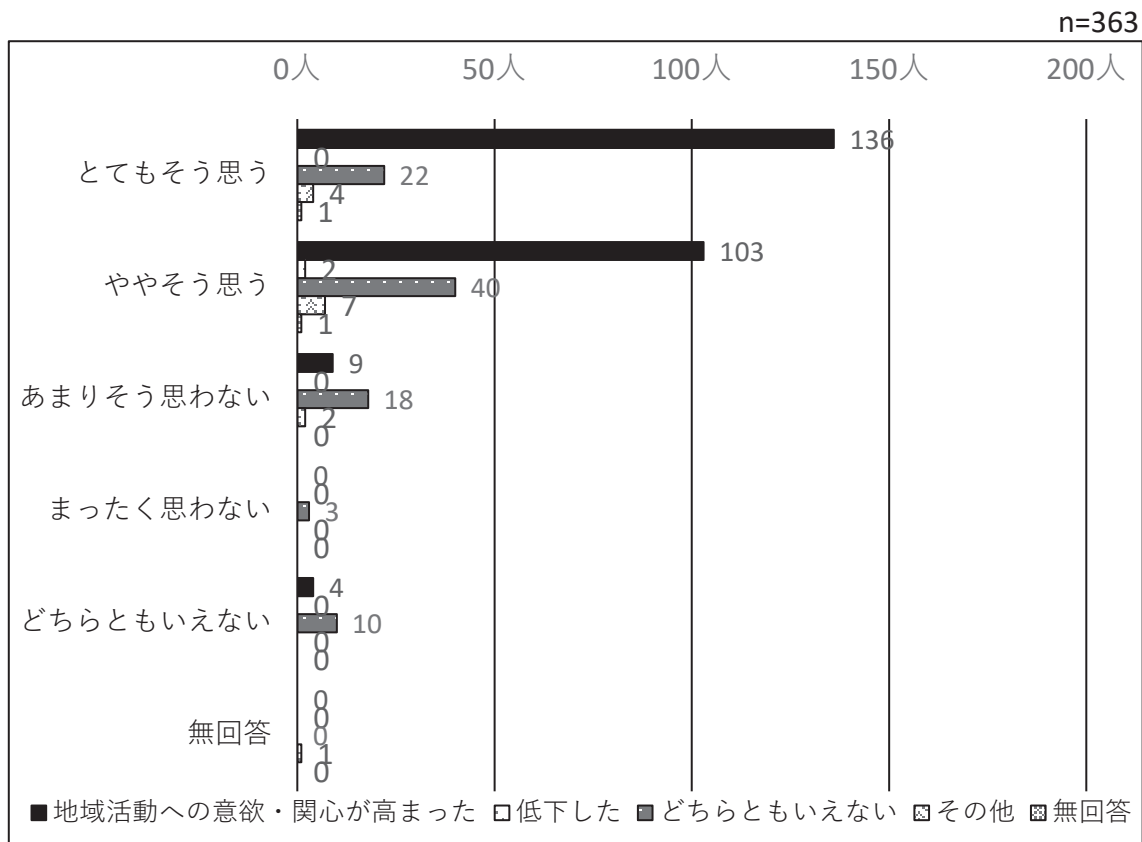
図 31 「同じ目標・目的を持つ人と出会えたか」と「地域活動に対する意欲・関心」との関係



問 9-(4)「本学で同じ目標・目的を持つ人と出会えたか」においても、「とても思う」と答えた 152 人のうち、「(問 10) 地域活動に対する意欲・関心が高まった」と回答したのは 123 人、80.9%という高い割合を示しました。つまり、本学で同じ目標・目的を持つ人と出会えた 8 割の卒業生が、同時に、地域活動に対する意欲・関心を高めたことがわかります。

また、関係性を逆に見ると、「地域活動に対する意欲・関心が高まった」と回答した卒業生 252 人のうち、「本学で同じ目標・目的を持つ人と出会えたか」において「とても思う」と回答したのは 123 人、48.8%で、「仲間との交流」などの項目と比べると低い値に留まっています。しかし、「とても思う」と「やや思う」の合計は、229 人、90.9%となり、「地域活動に対する意欲・関心が高まった」と答えた 9 割以上が、程度の差はあるものの、「本学で同じ目標・目的を持つ人と出会えた」ということになります。

図 32 「入学して生きがい感を得たか」と「地域活動に対する意欲・関心」との関係



最後に、問 9-(5)「入学して生きがい感を得ることができたか」において「とても思う」と答えた 163 人のうち、「(問 10) 地域活動に対する意欲・関心が高まった」と回答したのは、136 人、83.4%という高い割合を示しました。つまり、入学して生きがい感を得ることができた 8 割以上の卒業生が、同時に、地域活動に対する意欲・関心を高めたことがわかります。

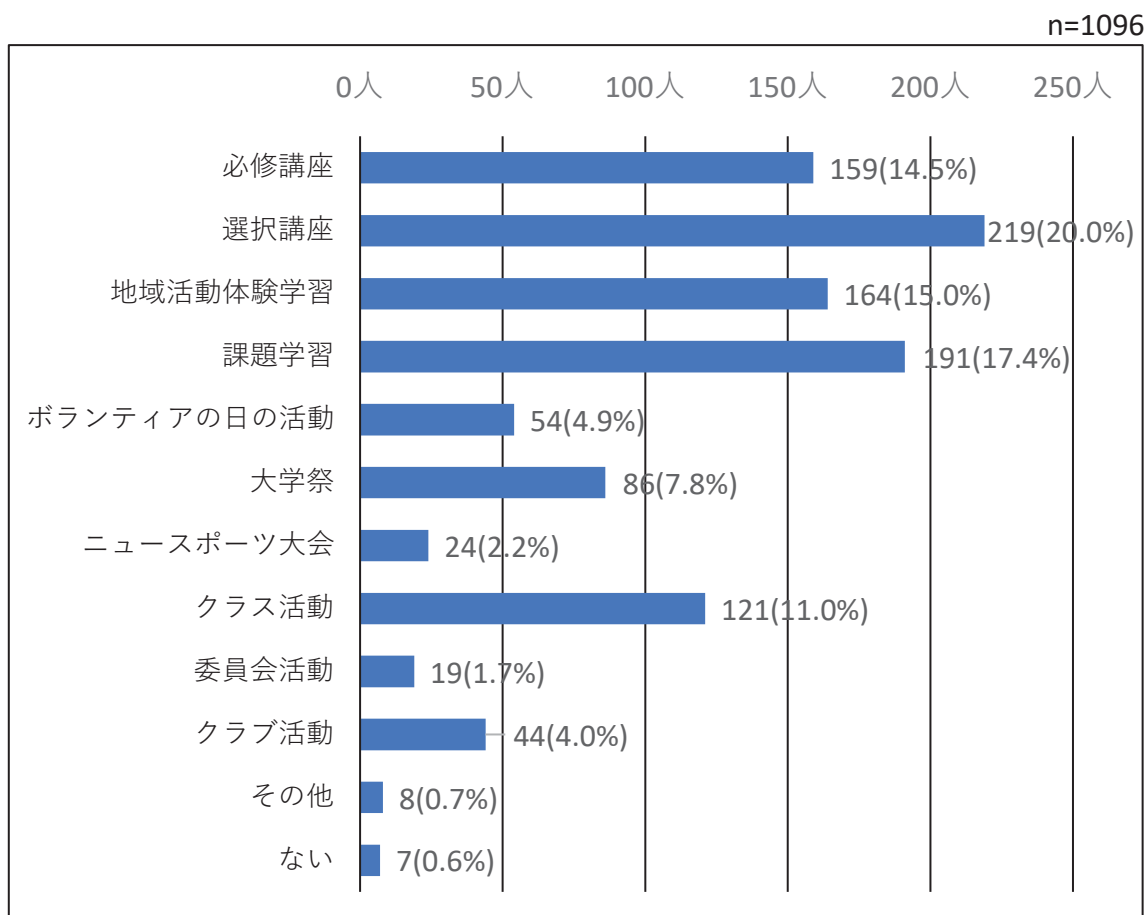
また、関係性を逆に見ると、「地域活動に対する意欲・関心が高まった」と回答した卒業生 252 人のうち、「入学して生きがい感を得たか」において「とても思う」と回答したのは 136 人、54.0%で、「やや思う」は 103 人、40.9%でした。これらの「とても思う」と「やや思う」を合わせると 239 人、94.8%となり、程度の差はあるものの、「地域活動に対する意欲・関心が高まった」と答えた 9 割以上が「入学して生きがい感を得た」ということになります。

（４）レイカディア大学で地域活動に対する意欲・関心を高めた学習内容 （複数回答）（図 33）

〔問 11「レイカディア大学での学びの中で、あなたの地域活動に対する意欲・関心を高めることができたと思う内容はどれですか」〕

図 33 は、レイカディア大学のカリキュラムの中で、地域活動に対する意欲・関心を高めたと思う学習内容について示しています。「選択講座」が 20.0%で最多であり、次いで「課題学習」が 17.4%、「地域活動体験学習」が 15.0%、「必修講座」が 14.5%の順となっています。

図 33 レイカディア大学で地域活動に対する意欲・関心を高めた学習内容（複数回答）



◆ 「その他」の回答内容

- 地域文化、歴史の实地研修等
- ボランティア体験
- 過去、現在、未来に於いていつも自分の出来る範囲内で考えていたので学びの中で変えることはない
- 地域を良くして行きたいと思う人にびっくりしました。
- 学友との交流で地域活動の実際に目覚めた。
- L B K 3 9
- サポートの会地域活動部会に参加して、先ぱいの意見を聞いた事

4. 地域課題の把握・取り組み

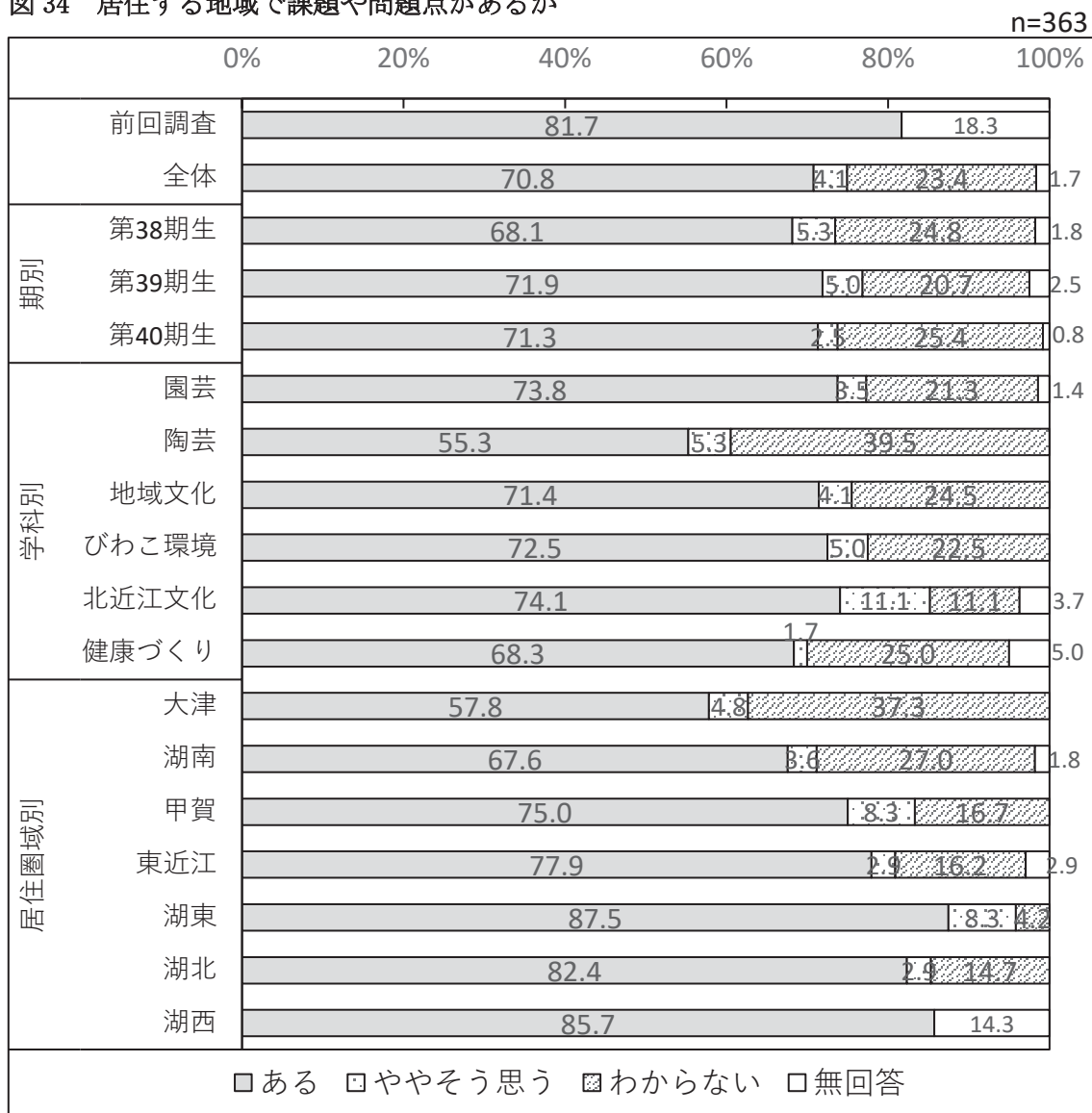
居住する地域の課題や問題点、解決への取り組み等についてについて尋ねました。

(1) 居住する地域に課題や問題があるか (図 34)

〔問 12「現在、ご自分が住んでいる地域では、地域課題（問題点）があると思われますか」〕

図 34 は、居住している地域で課題や問題点があると思うかの結果を示しています。「ある」と答えた割合は、前回調査より 10.9 ポイント減少し 70.8%となっています。多くの卒業生が地域の課題や問題点を把握していることがわかります。

図 34 居住する地域で課題や問題点があるか



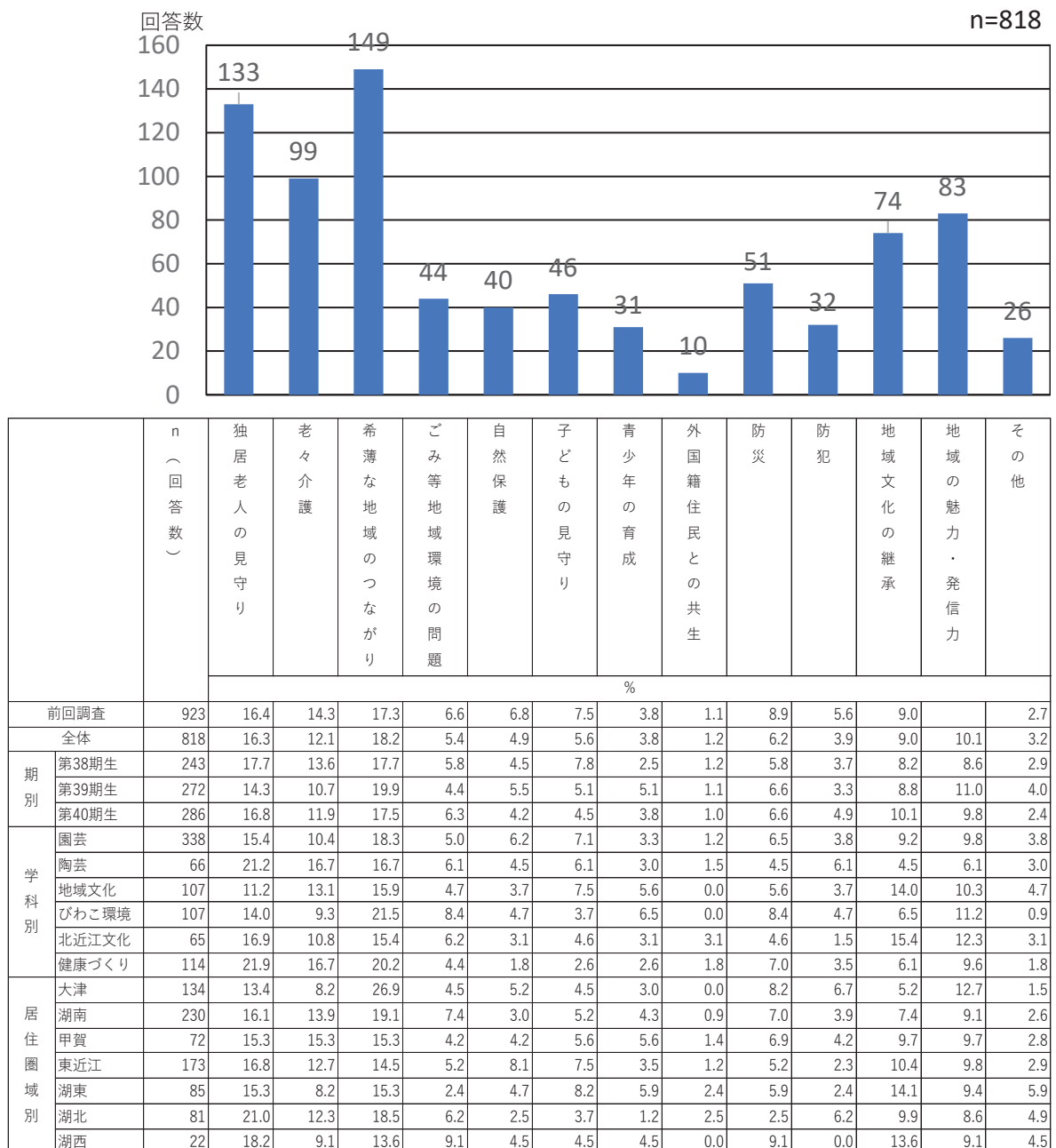
(2) 地域課題の内容 (図 35) (複数回答)

〔問 13- (1) 「それはどのようなことですか」 (問 12 で「1 課題がある」と回答した場合の設問)〕

図 35 は、前問で地域に課題や問題点が「ある」と答えた人を対象として、その具体的な内容を尋ねた設問に対する結果です。

「希薄な地域のつながり」が最も多く 18.2%、次いで「独居老人の見守り」16.3%、「老々介護」12.1%、「地域の魅力・発信力」10.1%、「地域文化の継承」9.0%、「防災」6.2%、「子供の見守り」5.6%の順になっています。

図 35 地域課題の内容 (複数回答)



◆ 「その他」の回答内容

- 限界集落化の速い進み
- 並木の植木ですが自宅前の並木は各家の責任だそうで先輩と今秋頑張りました
- 空家・放棄地・獣害対策
- 町の美化
- 途中から入った者は住みにくい。
- 人口の過疎化
- 少子高齢化地域
- 未婚の男女が大変多く、人口減少が明白に現れている。
- 花壇の管理
- 運営役員就任者の減少
- 防災
- 地域愛護精神
- 社協のあり方
- 若者が定住する町づくり、草津市の人口20万人化
- 自治会のイベントに皆が楽しく参加できること
- 医療福祉の充実
- 高齢者のIT技術向上
- 空家の放置
- 住人全体の高齢化
- 少子高齢化
- 少子、高齢化
- 自治会脱退
- 高齢化社会、少子化
- 高齢化が進む中でのリーダーシップが発揮できる人材育成

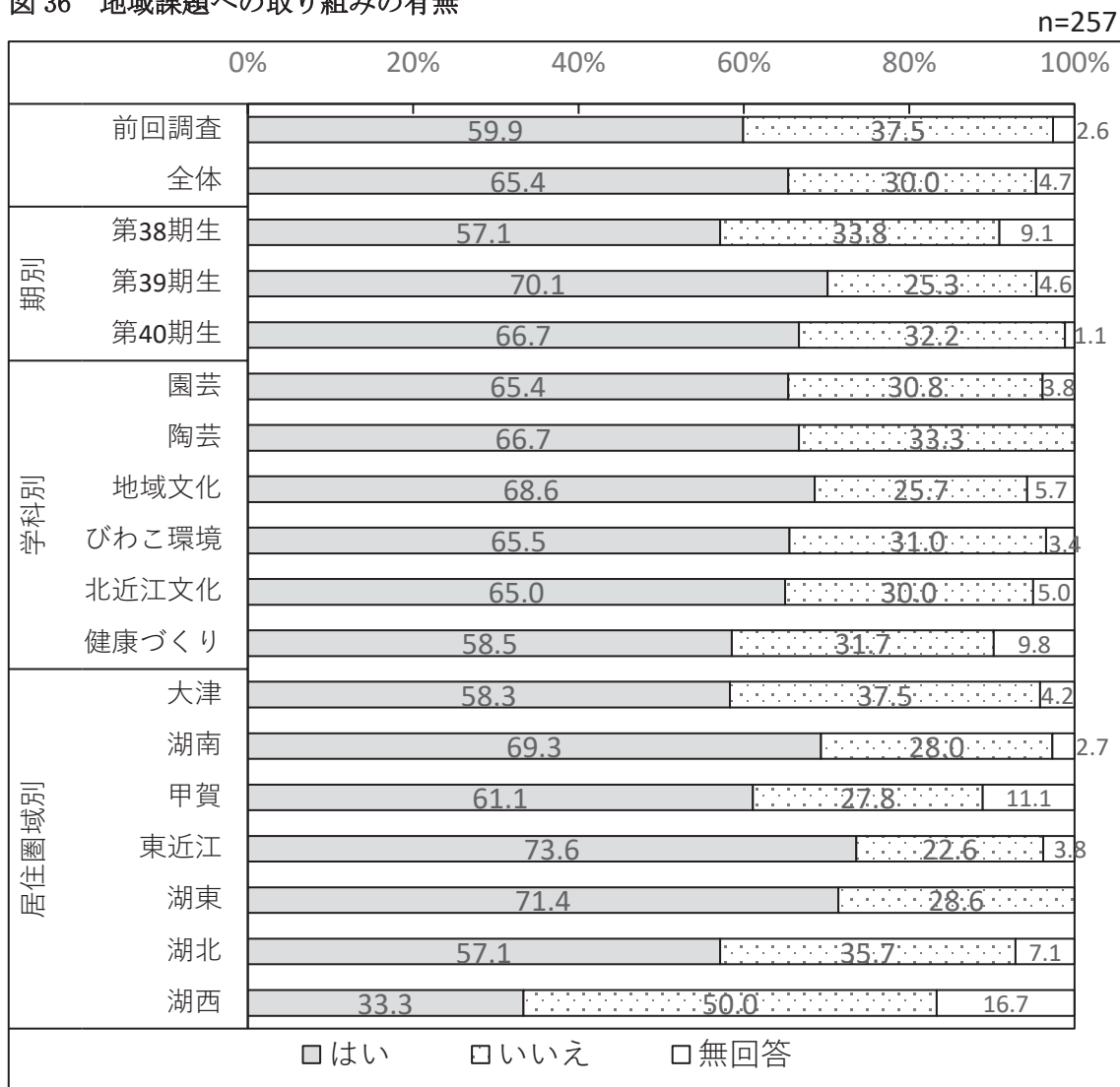
(3) 地域課題への取り組みの有無 (図 36)

〔問 13-(2) 「あなたは前問の地域課題（問題点）に関する何かの取り組みをしていますか、あるいはしようと思われませんか」〕

図 36 は、前問と同様に地域に課題や問題点が「ある」と答えた人を対象として、地域の課題・問題を解決しようとする取り組みを行っているか否かを示したものです。

「はい（行っている）」と回答したのは全体の 65.4%であり、前回調査から 5.5 ポイント増加しています。

図 36 地域課題への取り組みの有無



(4) 地域課題への取り組みの内容（自由記述）

〔問 13-(3)「それはどんな取り組みですか」(問 13-(2)で「1 はい」と回答した場合の設問)〕

前問で地域の課題・問題を解決しようとする取り組みを「はい(行っている)」と回答した人に対して、具体的な取り組みの内容を記述してもらいました。

【(独居) 老人の見守り】

- やはり高齢化になり立派な家に住んでいても二人きりになります。若い人は自分の家を持ち出て行く！残った老人はだれが見ますか？生活して行けるのでしょうか。見守りが必要、認知が進んでもわからない。
- 一人暮らし高齢者の見守り活動。観光ボランティア活動による地域の魅力を発信。
- 家にこもりがちな人に、声掛けをする。
- 緊急時、見守ネットワークを作り、住みやすい町に取り組んでいる
- 近所のひとり暮らし・高齢者世帯の「緊急通報システム」の緊急通報協力員の一人になっています。地区の民生委員さんを中心に。
- 現在、自治会のサブである地区会の組長をして、12戸への配布物の回覧をしているが、老人の一人暮らしが3戸あり民生委員と協力しながら、対応・対処している
- 高齢者世帯の見守りや積雪時における除雪等の支援。
- 自治会とは別にグリーンボランティアグループ(GUG)があったので、活動会員として登録して、ふれあいサロン喫茶オアシスの運営やゴミ出し、お手伝い活動をするようになった。一人ぐらしの老人の見守り、声掛けがコロナ禍で課題となっている。ゴミ出しのお手伝いのときに、声掛けしたり、喫茶オアシスへの参加を呼び掛けしている。
- 独り暮らしの老人の見守り、活動している人の高齢化
- 独居高齢者の支援・応援
- 独居老人(閉じこもり)への声かけ・訪問
- 独居老人が増す中1人で生活する為に健康で暮らせる工夫をする中、体操やリクレーションを仲間と出来る環境が必要ではないか。
- 独居老人の見守り
- 独居老人の見守り
- 独居老人の見守り・支え合い
- 独居老人の見守りは、話相手、訪問(民生委員時は行って来たが役を離れたので…。)。防災は、最近災害が多いので防災の関係の手伝いをしたい。
- 独居老人宅のゴミ出しボランティアをする事で、本人の見守りの手助けが出来ていると思われる。
- 独占老人・空家が増えていく中で、取り組みをする。

- 民生委員は行政なので、地域で老人見守りを組織する様子、社会福祉協議会が指導されたとし
- 民生児童委員を通して、自主的に安否確認を兼ね一人暮らしのお老寄をたずね会話を交す様心がける。まずは声かけから、信頼へ。
- 老人や介護施設の人の笑顔のためにボランティアしようと思っています。
- 老々家庭の買物のお手伝い（自分が買物に行く時に声をかけて、買物に連れて行く）

【希薄な地域のつながり】

- ①農業委員会で農政と、地域発展について提言していく。②自治会活動には進んで参加する。
- 1. 地域活動に何事も積極的につながり、仲間をつくり、その課題に取り組んでいる。2. レイカディア大学米原校の先生及び事業向上の為に、サポートの会で積極的に学校を良くする為に取り組んでいる。
- コロナ禍での地域交流について検討中です
- サロン等、地域での交流に参画
- サロン等の立ち上げの協力
- まずは、地域の諸活動に積極的に参加する事から始める。
- 現在ふれあいサロンを行っているが、活動内容の巾を広げ、一人でも多くの人に参加できるようにしていきたい。そのためにも、できるだけ声かけをしていきたい。
- 高齢者の体験や活動を広報紙などで紹介。生涯学習。気楽に立ち寄れるサロン（海外では、退職年金生活者はパブ、居酒屋などで楽しんでいる。）
- 高齢者の方が役員をされており後継者がなく困っているので手助けしたい。
- 高齢者のサロンへの参画、下校時の見守り
- 今まで通りの取り組みをしていきます。買い物支援等高齢化になり付きそって買い物に行ける様にしたいと思います。
- 自治会の脱退者が、増えきている。町内会費を払わず、あたりまえに生活している。不公平が発生している。
- 自治会への関りを深める。独居又、助け隊の結成。
- 自治会活動にもっと積極的に介入する
- 自治会活動の従来事業からの転換（効率化）、必要な事業の選択、行政との連携強化
- 自治会活動への参加。
- 自治会活動を通じて、地域課題に取り組む。
- 自治会活動全般を通じて、各種課題解決に向け、取り組み中。
- 自治会草取り等の清掃活動に参加。シニアサークルで花壇作りやハイキングの計画・実施

- 自治会内の65才以上の人を集めて健康体操、ゲーム、マジック（大学生に来て頂いて）、こけ玉体験等々をしている。
- 自身年令が76才になりましたので、外に出る機会が少なくなってくると思います。回りの住民がほとんど70才を過ぎているので地域のつながりを大切にしたいです。（昭和55年に270世帯の住宅が出来た地域）
- 住民同士がもっとつながりを深めること。
- 障がい者・老人の自立支援、地域の共生活動、他
- 障害者の支援として施設の行事等のお手伝い
- 新興住宅地個々の高齢化、希薄な地域とのつながりに対して、自治会活動を支援する形で草刈り、剪定、設備補修、子供会イベントなどを始めた。（お助け隊）
- 雪除け隊を作り、独居宅、老々宅の雪開けを実施、民生委員と連携して行う。男の交流場を作るため健康麻雀クラブを結成し、月1回公民館で実施。
- 地域での活動、催しに参加しようと思う
- 地域に小さなイベントの案内を毎月してきた。（収穫祭（サツマイモ焼き）、もちつき、冬鳥観察…）活動を通して、住民の知り合う場を作り、さらに、子供達の学習支援にもつなげたい。
- 地域のつながりを深める、子どもの見守り
- 地域のつながりを深める努力。
- 地域の高齢化が進む事で“老人会”の発言力が増し、若い人が入っていけない状況になっている中で、変革の意識を持つ人を集めリーダーの後押しを行ない、高齢者中心の街から子育てし易い街に変えていく。
- 地域の自治会活動の活動内容をもっと充実させる
- 地域内で世帯間の交流の実践。子どもから老人とともに生きる、共生など。
- 地区には自治会館がない。地区住民が話し合いの場所時間が出来ない。自宅で「サロン」を開催。チラシなど配布で集まってもらう。年に7～5回開催している。参加者は一定の人となっているが
- 地区の民生委員、福祉協力員さんとの連携で、サロン活動実施中
- 地元自治会活動の低迷の為、高年齢になっても、積極的に行事に参加する
- 町内会に入会している人とそうでない人に温度差がある。
- 町内会活動。ゴミ分別。美化活動。地域のつながりがうすいので、具体的には形になっていませんが、集会所利用しての取り組みを考えたい。（独居老人もいるので）
- 超高齢社会、地域の相互扶助、社会保険制度の財政危機、子育て環境の悪化等の課題に対処していく地域人材育成が必要であり、自らの健康づくりの実践と仲間づくり、レイ大生の入学維持が図れる様、活動の実践を図っていく。
- 年1回1時間程度居住者との交流（健康体操）
- 防災や高齢者見守りを意識した時は、自分が住んでいる住居がベースになります。但し、現状課題は近所同士の付き合いが希薄であり、急病などの緊急時には

大きな問題です。まずは近所同士で共通の話題が持てれば、これをベースに普段からコミュニケーションが持てます。手段として山野草である「サギ草」の鉢植えを作って、開花時に近所の玄関先に置いて回り、水やりや世話の仕方などで会話の機会を増やしています。共通の話題を作ることが大事だと考えます。

- 民生委員として地域の福祉活動に取り組んでいます。定例で協議する高齢者の見守りの委員が15人います。その人たちを中心に高齢者や一人暮らしの人たちの見守り活動をすすめていきたいと思っています。地域の人たちに集まって楽しんでもらえる庭づくりをしています。
- 老人クラブ活動・健康づくり活動の行事案内PRは充分実施しているが、参加意欲が低い。

【地域の環境問題】

- 4の地域環境問題で有償ではあるが会社を立上げ活動をしている。(儲けはない)(NPOに近い活動)(会員12人内卒業生3人)
- お寺(妙蓮寺)の庭の整備(剪定)
- 外来種の駆除、etc
- 環境整備等を行なう
- 県道沿いの美化、清掃。新しくグループを立ち上げて長い目で見て管理出来る様にする。
- 公民館前に花壇があり雑草が多く玄関前としては見劣りをしていた。昨年度からチューリップ、ポータチュラカを植え、今年は葉ボタンを植えました。今後も続けたい。公民館内には、四季の山野草を飾っていて、来館者の目を和やかに
- 竹やぶ整備
- 田園整備事業(ほ場整備)により営農を集約化して生きがい対策として果樹や野菜をグループで取り組み新たな産地化をめざしたい。
- 田舎であり過疎に変わりつつある現況を将来、若い人達が住むことができる環境に変えてゆく。人口の集中化をなくすように行政にも協力を求める
- 平成9年に発足した地域活動の取り組みですがメンバーの高齢化が進んでいるが何とか存続しているも若年層の確保がきびしい。(花いっぱい活動)
- 毎朝、4時以降に散歩を兼ねてのゴミひらい。信号機周辺スイガラ毎日落ちてますヨ。悲しい。マスクもよく落ちてますヨ
- 葉山川のゴミ拾い、1回/月
- 老人の多い地域なので今後の空家問題

【自然保護】

- 瓜流川両岸に花をさかす活動、これはレイ大入学前より行なっており現在も継続中です
- 近隣の障害者、高齢者宅の庭の整備、平方天満宮の剪定作業等を行っている。

- 県絶滅危惧植物である「スズムシバナ」を2015年に町の文化財に指定してもらい、その後、「スズムシバナ」の保全・保護記録活動に力を入れている。(別紙資料参照)
- 自然保護、里山保全活動、防災訓練・研修会への参加
- 里山元気会、環境保全と自然とのふれあい

【子どもの見守り】

- 「夏休み小・中学生勉強会」は、単に小・中学生に勉強の場・時間・指導者を与えるだけでなく、多くのプラスの連鎖が生まれる。(小・中学生の縦の絆や学び、地域の長老から学ぶおかしづくり、保護者間のつながり、自治会意識、年配者の生きる力と若年者との交流、大学生と小・中学生との交流、農産物製作者のボランティア貢献、地域自治の活性化等)
- 学区内での児童の登校時には「みまもり隊」がおられるが下校時には誰もいないので不定期でも良かったら取り組みたい
- 簡単な事から！！子供達には積極的に声掛けをする。(顔見知りになる)
- 子供のみまもり
- 子供食堂（現在休止中ではあるが）、スタッフ全員“ライン”を通し、学区内で異変(?)ある行動があればネットワークで“見守り”を経験したばかり(1週間前の事)。ずく様誰れかが行動し、問題を共有する。気づき、目配り、見守りの大切さを経験したばかりです。
- 子供食堂、母子家庭支援
- 小学校で仲間と一緒に“ものづくり”の体験学習を指導している。
- 小学生が下校時の「子ども見守り隊」として1週間に月～金迄参加しています。横断歩道を渡る時、下校時の歩道の歩き方のマナーに注意を出来ない事が寂しく感じる。
- 通学時(小学生)の安全パトロール
- 通学路の交通安全、見守り
- 民生委員の活動の一つとして地域の人や子どもたちに声かけをしている

【青少年の育成】

- 給食ボランティア、子ども食堂、高齢者サロン
- 少年少女に対する文化・歴史の指導。
- 陶芸をつうじて、地域小学生へ陶芸の面白さを知っていただく。新環境センターに陶芸室の設置
- 保育園とか地域の子供会から紙芝居の要請

【防災・防犯】

- 65才以上43%で、5年後には50%以上となる。地区での福祉委員として、民生委員と共に、地域課題解決のために話し合い、情報共有し対処する。堤防の保全と避難訓練の実施など、自治会として取組む。
- 自主防災部による非自治会員に対する、安否確認システムの改訂への取組み
- 地域の防災士としての活動を行っている
- 地震防災対策
- 防災関係について講習会の開催を定期的 to 実施し、学区民の方々に啓発を行っている。
- 防災組織に民生委員として参加。年1回の集りを行う。訓練はコロナで中止
- 野洲川の防災。朝鮮人街道と、永原御殿の開発と保養（今のところ思いのみ）
- 具体的に何ができるかむずかしい。町内会の役員が見廻りをするとか必要か。
- 栗東駅前～大宝小学校区内の防犯パトロール。地区の自治会内の気の合う老人で、街を流れる小さな川に鯉をかって、子供達の登下校時の話題・環境づくりを推進している。

【地域文化の継承】

- 「向こう3軒、両隣」地域の文化をもう一度考えなおす。その様な行事があれば良いのになあ…と思う。
- H29年に「おいでな高野」13名で立上げて、集落が元気になるように、活動している。歴史文化の継承、老人が集える機会を数多く作る、新しい産業の立上げ等。
- レイカの授業に比叡山や信長、光秀関連講義があった。自宅前の池が青地城の城池が比叡山焼き討ちの延長で光秀らによって焼かれた。昨年法事の際、親戚である地元小槻神社の元宮司より地元の歴史メモ（小槻神社系図等）を頂いた。NHKの大河で興味があったため元宮司の話や地元歴史勉強会の情報をもとに「織田信長と小槻神社（青地城）」という歴史紙芝居を製作し百歳体操Gに1度上演した。さらに敬老会等多くの人に上演のため内容、時間、その他改良したいがコロナの影響もあって人との交流が制限され改良支援部隊が集まらない。
- 区に残る古文書を解説し、歴史や伝統行事について、整理し、区民の共通理解を深めたい。
- 滋賀県内には、魅力的な自然が数多くあり、出かけることも多いが、利用者のための案内表示が古すぎて判読できなかったり、無かったり、トイレが設置されていてもあまりにひどい状態で、使えない状況の所がある。改善に着手してほしい。改善してほしい内容を行政、自治体等に発信する。
- 重文指定「三宅薬師堂、薬師如来座像」の保存、護持に町内住民の理解と協力を得ること

- 春はさくら花見会（４月）、夏は流しそうめん会（７月）、秋は地域活動による運動会の参加（１０月）、冬はニュースポーツ大会（１２月）
- 他府県、他市からの転入家族が多く、地元の文化歴史が伝えられていないので広く伝えられればと思う。
- 地域の古文書を整理し、地域の住民に発信していく。
- 地域の魅力について学び、継承して行く活動を深めたい
- 地域文化の継承の記録の保存。記録、データの作成、記録のビジュアル化。
- 地元の歴史を学び、地域の人に伝えられるよう学習中
- 都合により廃止となった諸行事の見直し、復活
- 文化の祭り、夏祭り等、今迄出来る範囲内で協力してきたが、コロナ禍でこうした地域活動が自粛取り休めになり、大きく変容様変わりしてしまった。今後コロナ禍“ゼロ”になるとは想えず、ウィズコロナ時代、私達がどう向きあっているべきか課題が残る。取り組み以前の問題です。

【地域の魅力・発信力】

- 運営の体制づくり。４～５年先の絵をかき、仲間、協力者を増やしていく。
- 会合への参加
- 学生のそれぞれの市町村の学区において、〇〇の地域の取り組みを紹介してはどうか？また、他の地域での取り組みを自分たちの地域にあてはまらないか？等の取り組みの課題に参画したらどうでしょう
- 自治会で中心的に動く。市議として、１年中市内を走り回って活動している。
- 自分が住む場所では、個々が自由に活動されていますが情報不足によりわかりにくいので、情報発信する方法を考えてます
- 取り組みはしていないが地域活動の内容や種類を発信してもらえたら自分で選んで参加出来るのではと思う
- 集合所があるから。地域だけの文化祭的に趣味色々持ち寄り展示して寄ってお国じまんの話が花咲様にしたり、色んな人の集まりだから全国からの集まりはなかなかむずかしいですが。
- 情報の共有
- 情報の発信力が弱いので発信力の向上を高める。地域の見守り活動及び情報共有化に向けた地域（自治会）福祉委員会の活動を充実させる。
- 石部景観まちづくり検討会がこれから始まります。この活動に参画していきます。（この１２月から始まります。）
- 地域の資源（農林）の良さを知ってもらう。新興住宅が増える中、若い住民に、地域の魅力をアピールしたい、している。
- 町内会での活動内容を問題点、課題解決型に変更して、より活性化させる。特に新規町内会員への情報発信を強め、地域に溶けこみ、愛着をもってもらうようにする。

- 能登川地区健康推進員活動の中に、毎年、「元気のつどい」が3月予定されます。史跡めぐりのウォーキングを提案し計画されましたが、コロナで中止になり残念です。

【その他】

- 1人でもできる事から始め、仲間造りを進めている。
- まずは何をしているか知ってから自分が出来る事をしたい。
- 空家対策、結婚支援
- 現在、所属している団体以外での活動
- 現在は、何の取り組みもしていません。どうかしなければとの思いはあります。何から手をつければいいのか、解らない。
- 現在行なっているボランティア先が高齢化しています。レイ大生の「体験学習」でつながり1人でも多く地域で活動出来る様にしたい
- 生活支援活動
- 選択以外のボランティアを行っています。
- 日赤活動において、それぞれの課題に取りくむことができる。しかし、なかなかとりくみはむづかしい。
- 日本赤十字のボランティア活動で男性が少なく、活動自身が物足りなくて又女の子が多く、女性の目線での活動になっていると思われます。
- 立命館大学との連携

(5) 地域で活動するために、県社会福祉協議会に求める支援（自由記述）

〔問 14「お住まいの地域で活動するために、県社会福祉協議会に対してどのような支援等を希望しますか」〕

次のような支援が県社会福祉協議会に求められています。

【ボランティア活動関係】

- 地域ボランティアリーダーと話し合う場を設け、本音（問題や課題）を聴き出し、そこに対策を打ち改善することを望む。
- リーダーでやりがいを持つように各事業を展開することが大切であると思う。達成感、成功感を持たせることが大事である。
- with コロナの時、少人数で活動する。また、多人数の相手に対応することはできない。少人数で活動する内容や新たにテレワーク、ビデオなどでの活動、楽しませ方交流の様子を広報してほしい。
- イベント等呼びかけるとき、事故対応がネックとなる（保険代が出せる補助制度の周知を）cf. 川調査（魚やカワニナ）、球技や登山も計画したいが、何か良い方法はないか。焼イモをやったがやけどの心配。山歩きをしたが、ハチさされが心配。川に入って魚をつかまえたが…。
- ボランティア精神の醸成（他者のために尽くすことの意義）
- ボランティア登録と要望の人が依頼できる場所として周知してもらい、結びつける役割をする。
- 何がこまっているのか？どんな事に力を貸してほしいのかが、わからない。自分の選べるボランティアが、わからない。
- 活動が活性化している地域との交流会で良い所を取り入れこれからの活動の参考にしたい。刺激が欲しい。（キッカケづくり）
- 活動していて一番困っているのは、活動仲間との打ち合わせや計画を立てる時の場所がないということ。ボランティア活動などの拠点となる場所を行政の方の協力も得て確保できるように働きかけてほしい
- 活動に対して各種専門的アドバイス等をしてもらいたい。
- 活動の意欲はあるのですが、仲間を集めることに苦慮しています。私は障害があります。自分の意見を他の人に伝えることが困難ですが、福祉の基本であるノーマライゼーションの施策を考えていますが困難にぶち当たっています。
- 活動の支援（施設・助成・情報提供、等）
- 活動の内容にもよると思います。今の所よくわかりません。
- 気軽に参加できる環境づくり、背中を押してくれるような働きかけ
- 拠点として、助言、支援が欲しいです。財源も。学習会、交流会の計画、実施。
- 県に限らず、市もボランティア登録制度を取り入れ、新たに必要なボランティアが出来れば紹介するとか、ボランティア人材に呼び掛け必要なボランティアを立

ち上げる。

- 個人情報にネックで、高齢者&独居の情報が判らず防災等のネックとなっている。
- 個人情報の保護等により介護保険を使っていない独居老人の買物支援、雪どけ公報等で内容を明記したボランティア募集をすれば集まると思います。私もレイ大に入るまでボランティア活動に興味がありました。活動をする方法が分らなかった。
- 高齢者は多いが、人口減少のため、自治会活動の運営が困難であり、高齢者を活用するキャンペーン（定年延長）が必要。（60才〜75才は老人でない（円熟年齢である））
- 高齢者と、子どもが、自然に交わるような、場所、場面をつくることにより、高齢者は子どもから元気がもらえ、子どもは、学校教育では教えられない、しつけ、知識を与えられる、こんな状態を作してほしい。
- 市町村の社会福祉協議会との接点がないので、最初の行動がむづかしい様に思う。思いや悩みを話せるサークルがあればよいと思います。
- 私は、何かしたい、しようという気持ちはあるが、自分が中心になってするという性格ではないので、活動する場所や人員の必要なところを紹介してほしい。
- 紙芝居製作支援のため栗東の地域文化40期の人に親しくなろうとしたが多忙みたいでダメであった。紙芝居のスライド投影のためプロジェクターを草津市まちづくりセンター、志津街づくりセンターに借りに行ったが個人にはダメと断られ、さみしかった。A2サイズ（A3×2枚）で手づくりの紙芝居スライドにしたが改良したい項目が多くある。多くの人を対象に上演のためには改良が必要と考え、当初は地元の絵画が得意な人等に改良応援希望したが多忙みたいでこちらが希望する人が見つからない。紙芝居製作はそれなりの技術が必要。コロナの影響で人との交流制限でさらに難しい。県社会福祉協議会に紙芝居製作にたけた人を紹介いただき改良をすすめたい。また作る側以外に見る側の意見感想を反映した面白く興味深い内容に改良したい。
- 送迎ボランティアの利用者様の拡大、利用基準の見直し
- 足の不便さを大変に感じました。クラスの皆さん達はすでにボランティア活動もいろいろされていて私は滋賀県に来て初めてこのような活動を知りました。最初はすぐとまどいしましたが自分自身のはじらいを知った様な感じでした。
- 卒業後、地域で活動できる仲間づくりのきっかけを作してほしい。また、地域で活動できる場所等の情報を提供してほしい。
- 体験や学習できる機会を作って欲しい
- 体操やリクレーシヨンの場を地域に広げて望しい。しかも、金銭的に参加者に負担がかからないようにして望しい。
- 大人も子供も四季を問わず集まりそれぞれ違った目的で集っても一つの場所でそれぞれの楽しみ方の出来る多目的な場所。地域の子供達が遊ぶ姿を時間の有る老人が自然と見守ることのできる様な場所（休みの日に家族でゆっくり過ごせる

場所)

- ボランティアも形がい化、マンネリ化して形式的に流れているものがみられる。
例えばボランティアをしたいと初めて参加しても、初めからそんなに一生懸命やらなくても良いからね！等と不謹慎な言葉を言われることもある。そこを見分けて支援ができるかな？
- 民生委員さんの手助けをするために、各町に見守りのための数人を置く。

【福祉関係】

- 私の兄弟が1人暮らしだった為、月1回掃除の支援を受けていましたが大変良かったと思いました。又ありがたかったです。(病気もありましたが) その様な制度がある事も広めていただきたいです。
- これから、高齢者の一人暮らしの方が増えると感じる。その方の健康保持や、状況を確認する声掛けが必要となるのでこの点の支援を要望する。
- ひきこもりの人が各地域に何人かおられるのでこの人達の手助け、何とかするしくみをつくってもらえないでしょうか。
- 近所で奥さんが認知症でご主人が心臓の病で何か手をさしのべたいと思うのですが心を閉じて人に助けを求めようとしないので夕方明かりが灯いていたらひと安心、洗たく物干していたら…先日ゴミ当番時に町会長の所にいった時ゴミ出しに問題がありあそこの奥さんはどうしているか教えてほしいといわれた。こうした問題点はどうしたら良いのでしょうか？
- 県・市・社協さんは重度の認知症の方への対応は、敬遠しがちで、軽度ばかりで重度が放置が多い気がします
- 地域住民の暮らしで弱さを抱えて苦しんでいる人達の情報を得る努力をして、必要としている人達に手が届く様な仕組みを希望します。個人情報の狭間で表に出にくい現実がある。
- 独居老人の見守りや老々介護に関しての情報の取得法、教育の充実等
- 貧困家庭（シングルパパ、ママ）への支援
- 老々介護（又は独居老人介護）の支援
- 老々介護のため、小さな単位でのヘルプ事業研修（身近な介護の取組み研修）

【情報提供・発信、広報、相談関係】

- どの様な活動が必要なのか、またはあるのか開示してほしい。
- ボランティアの要請広報し参加を募る。(単発でも体験会とか具体的な成果とか)
- ボランティア活動等の紹介や橋渡しなどの場をもっと設けてもらえれば私達もありがたい。
- まだまだ発信力が弱い様に思う。
- よろず（何でも）相談が出来る窓口があれば良いと思う。
- 一般的な地域課題について、積極的に具体的事例・対処例などの情報発信を希望

する。参考事例として活用していくためにも必要。

- 各地域の活動模様の水平展開をして欲しい。参考に出来る様に。
- 活動実態の広報活動
- 気軽な相談窓口
- 健康づくり活動参加への必要性、認知症予防活動参加への必要性、広報
- 県内他社協の活動事例の紹介
- 今は介護中の為活動できないので調べてもいないので解らない。ただ、いろんな内容の事を発信してもらって、アンテナを広げていたいのので情報を出して下さい。
- 支援していただける内容を知りたい
- 社協の活動を、一般の人たちにもっとアピールする場があればよいと思う。たとえば夕方のテレビの地域番組などで活動の様子を伝える回数を増やすなど。
- 車等が乗れなくなった場合、買い物が出来なくなり10年後が心配です。
若い人を中心に高齢者が補助的に活動している地域の情報や、街作りの勉強会を開いてほしい
- 住民が使用できる施設、設備、システム（活動グループ、ボランティア活動等）の見える化＝公開をもっと増やすべきと思います。
- 情報提供（活動内容）が欲しいです。
- 大津市に住んでいるのですが、独居老人や子供の見守りに興味はありますが、情報がないのでどのようにされているのか分かりません。何らかの情報がもっと必要だと思います。
- 誰でも手軽にできる活動の報告（されてる活動）参考にさせて戴きたいです。
- 団体として成果が上っているものや方向が良いと思われるものへの一層の支援
- 地域に密着する活動情報の提供があると良い。
- 地域のニーズをどこで知ればよいのか？どんなニーズがあるのか？同窓会の通信などに掲載してほしい。市の社協に尋ねる方法もありますが。
- 地域活動グループの活動内容等の紹介。
- 地域活動をするために情報の提供（多くの分野での）。地域に住むお年寄や子供ともっと身近に気楽に訪問・会話出来る手段、方法を伝授していただきたい。訪問に行き易い様何かグッズの提供。
- 地域活動情報の提供を周知いただき、誰もが参加できるよう垣根を低くして取り組みやすくしてもらえたらと思います。
- 地域活動状況を広報等に取り上げてほしい。他地域の情報提供をいただきたい。
- 仲間をつくり、楽しんで活動することが大切であることをPRしてほしい。また、そのためのノウハウや、活動するための資料やデータ、県内各地での活動事例の紹介・提供をしてほしい。
- 類似の課題に対する具体的な事例で助言していく、そのネットワーク作りと発信力。

【研修・人材育成等関係】

- サロン等の実施要領等を学ぶ機会があればよいと思います。
- 人材育成への機会
- 専門知識がないので、福祉に関する教育やノウハウの共有化などの機会を設けてほしい。
- 地域リーダーの育成。
- 認知症講座とか高齢者向け各種講座等を支援頂きたい。

【各種支援関係】

- コロナが無くなったとして、従来の習慣などをとり上げて、クローズアップして欲しい。各個人がもっと素直にもどれる様な行事を行って欲しい。
- ネットワーク作り
- 元気で時間がある高齢者が多くいる一方で、時間のない若い世代が多くいる。両者のマッチングをしていただけたら。個人では何かあった時のリスクが多い為、なかなか踏み出せない。
- 元気なシニアを組織化するコーディネート支援。
- 高齢者のための教育・学習・各種イベントを開催し、もっと元気な活動できる人達を集めること。
- 高齢者同志のコミュニケーションをとる為の支援。地域にお願いだけでは良くない。積極的にアプローチ出来る様な体制が必要。（地域特性もあるが…）
- 今でも積極的に応援をしてもらっています。社協が近くにあり助かっています。
- 今現在、市の福祉協議会の方にお世話に（サロンやカフェ e t c、特にコロナの時期なので）なっていますが助言の情報を頂く事は有りがたいと思います。
- 災害弱者への支援。平時の見守りとして民生委員さんが委嘱されていますが、現実、非常時には足りないのが実状と思います。民生委員の補助（協力者）員の創設など必要と考えます。
- 支援と一概に云っても色々な支援があると思います。まず、マンパワーが必要な支援、言葉による支援、経済的な支援、継続性のある支援を要望します。
- 支援等の希望はありません。地域住民の自覚喚起と行動が必要です。
- 私の住んでいる地域は今年には65才以上の老人という世界が進んで来ており、町人口の1／3がこの社会であります（全人口は400程度）。今後は人と人とのつながりが必要な町内になりつつある中で逆につながりの無い町内になって来ております。又、以前活動していたものが若者の人達の意見からどんどん無くなって来ており、人々とのつながりが無くなりつつ有ります。老人の見守りが必要な活動を出来るだけ多くなる町内活動を支導していただけたらと思います。
- 資金、設備機器（コピー機などIT機器）の無料使用（あるいは兼価）。
- 自治会運営をする中で、地域の悪い所が良く見えてきます。説明しきれない矛盾も多く、サラリーマン時代とは全く違うむづかしい問題で、何を支援して頂ける

のかわかりません。

- 小集落の過疎を止めるために、ど田舎の老人会活動への手厚い支援を望みます。
- 地域の現場からあがってくる声に敏感に反応し、それに対して手を打っていく、支援していく信頼できる組織になってほしいと思います。
- 地域活動と云えば、ボランティア活動の紹介程度。卒業生が、活動する数々の要望に支援するためのマッチング作業があればいいと思われる。

【経済的支援関係】

- サロンを立ちあげて４７回目をむかえますが、コロナ禍で思うように開けません。マスクの中でも話したいらしく出席率は９０％です。もう少し補助金があれば良いかなと思います。
- ボランティアとは、云え、人を動かす、又動いて頂くにおいてお金が必要（薬、道具、肥料他）でいろんな所から補助金を頂いていますが、不足する事が多くて大きな事は出来ない
- ボランティア助成金の審査が杜撰で有効活用されていない様に感じる所が多々あります。本当に必要としている所に行く様に厳しく審査して下さい。
- ボランティア団体への財政的支援
- 活動資金の助成（本年度は、私が代表をしている団体に対し、県職員互助会から資金助成してくれる事が決定し、草刈機などを購入予定）
- 経済的支援
- 市社会福祉協議会への活動資金の増額。
- 助成金の実現。自費活動が原則であるが、支出金額には限度があり、申請に基づいた補助金があれば運営がやり易いです。（活動実績）近隣住居への「サギ草鉢植え」設置活動。２０２０年実績は８軒、次年度目標は２０軒程度。（助成金）１０，０００円
- サロン事業の補助金制度はど田舎を中心に行うべきと考えます。現状認識は社協職員の足で収集してほしい！！
- サロン事業の補助金制度に取り組みをするための県、また市の社協の協力は必要であると思います
- 新たな地域活動を始める時の資金援助。
- 特にないですが小さな活動に対する助成金制度が充実されれば良いと思う
独居老人、見守り活動の充実・強化。とりわけ、福祉施設（グループホーム等）の充実と、福祉バス・タクシー等の充実、強化が必要。
- 補助金の受給しやすさ、活動例の事例紹介パンフレットなど
- 報酬付きでの福祉推進員、民生委員の数を増やしてほしい。

【組織関係】

- 県と市の結びつきが見えない。

- 県社協と地域（市、町）の社協の違いがよく判らない。又どういう連携ができて
いるのか？
- 県内の各保健所と県社会福祉協議会との連携体制はどの様にされているのか。
様々な機会を通じて教えて頂ければ幸いです。よろしく。
- 社会福祉協議会の市と県の位置、役割が不明な点があり、在住の自治会、自治連
合会のなかでも役員を在任していたときも、よく理解出来なかった。民生児童委
員、福祉委員の役割、分担、協議、協同が理解されずに任期を終えたのが実感。
- 社会福祉協議会の存在、市民とのかかわりがはっきり理解できていません。
- 社協や市の環境課とのつながりはあります。
- 地域の社会福祉協議会と県社会福祉協議会との連けい。県内の地域住民の考えを
聞くこと（より多くの方の意見をとる）

【レイカディア大学関係】

- アフターコロナになって、レイカディア大学でどの様に対応したらよいかなどの
研修等を卒業生に対応してほしい
- レイカディア大学の学生募集に関して市町の社協がもっと力を入れるべきだと
考えます。県社協と市社協との連携が弱いように感じます。在校生や卒業生に負担
のかからないよう受託事業体として積極的に取り組むべきであり、レイ大と各地
域の卒業OBがもっと継いでいいのかなと考えます。
- レイ大のアピール、交通費等の有償化。
- レイ大及び、OB会組織の認知度を上げる為、県行政レベルの広報活動を積極的
にやって欲しい。
- 事務方として、午前中仕事をしています。レイカディアで学んだ事は決してマ
イナスではないので〇〇学科の応募が少ないからといって廃学科にはしないで、
募集段階で最小〇〇名に達しなければ開設しません等、周知して募集する事が良
いのでは。やる気で応募した人の向学心をそこなうと思う。
- 住民に一番身近な、学区社協を活用し、レイカ大学学生募集や卒業生の活動内容
をPR出きたらと思う。現行の学区社協活動は年2～3回、講師の講演開催のみ
で、マンネリ化、ワンパターン化しているので、市社協と協力して、住民に親し
まれる学区社協となるよう指導してほしい。
- 社協がレイカディア大学への関わり方が少ない。
- 福祉協議会として、地域活動をしてほしい選択学科を設ける必要がある。趣味集
団はいらないのでは！コロナ禍で求人が無い状態なので、老人にたよらず、県とし
てもっと求人を増し対応したらどうかと思い、働手がない状態で70才まで働き、
定年後、レイカディア大学へ入学しても、73才で卒業した老人にボランティアへ
の参加は非常に厳しいのではなかろうか。健康で、出来る人は、おいにやって下
さい。

【その他】

- わかりませんが、お役を行っていただく人には感謝します
- 関東方面への移住した為とコロナウイルスが流行した為色々な事がわかりづらい。関東と関西での人間関係がどうも（関東は、個人単位が多いように思う。滋賀は良かった。住みやすかったと今にして思う事が多い。
- 協議会の活動が見られない。（存在なし）。情報無し。
- 県社会福祉協議会が今何をしているか、我々にはわからない。
- 現在のところ、特に問題はないので希望しません
- 現在、いろんな活動を考え実施いただいておりますが地域に添った方法を考えることが大切だと思う。一律ではうまく行かないのではないだろうか。
- 現在多方面で支援して頂いています。
- 小さい集合は社協でもむづかしいと思う。上からの指示で年間の目標がある所から小さい地域に対して手が出ないと思う。九州、東北となまりがありなかなかうちとける事のむづかしい事とある年令になるとガンコになるから民生委員福祉協力員でもうわべと中味だけとの話し方で人はついてこないしなかなかむづかしい。社協は1回会合するといくらか出るのですが、小さい会合は出ないので個人持ちです。お茶代でもほしいと思った私は1回やって思いました。
- 先ずは、ボランティアで活動しておられる方への感謝・ねぎらいの言葉（出向く）（いっしょにいる）。このアンケートは素晴らしいですが、社協職員の方々はお給料をもらわれている身、プロとして、考えてください。学生募集もしっかりです。
- まず、公務員的な発想を捨てる。その為には一般企業の考え方、取組み姿勢をマスターする為、企業の勉強会等を積極的にカリキュラムに入れ身につけることが先決。レイダイの生徒は一般企業等の出身者が多く公務員の生ぬるい環境で育って来ていない。レイ大生時代に一番強く感じた事は、社協事業所は他人事の集まり？“前向きな提案をしても糠に釘” 答えなし。以上。
- 必要な際はお願い致します。現在思いあたるような事柄はありません。
- 福祉協議会の活動が良く理解出来てませんので、何んとも云えません。
- 立命館大学との連携の為。
- 竜王町社協の人材不足に対して支援してほしい。質量共に不足している。本来の社協が果たすべく、役割ができていないと思う。
- 彦根市の様に地域社協があれば良い。社協と住民との距離を近くすると良い。
- 東近江市社協の職員が協力しない。対話もしない。あたえられた仕事しかしない職員が多い。担当がころころ代わるので、話が通じない。

5. コロナ禍による影響

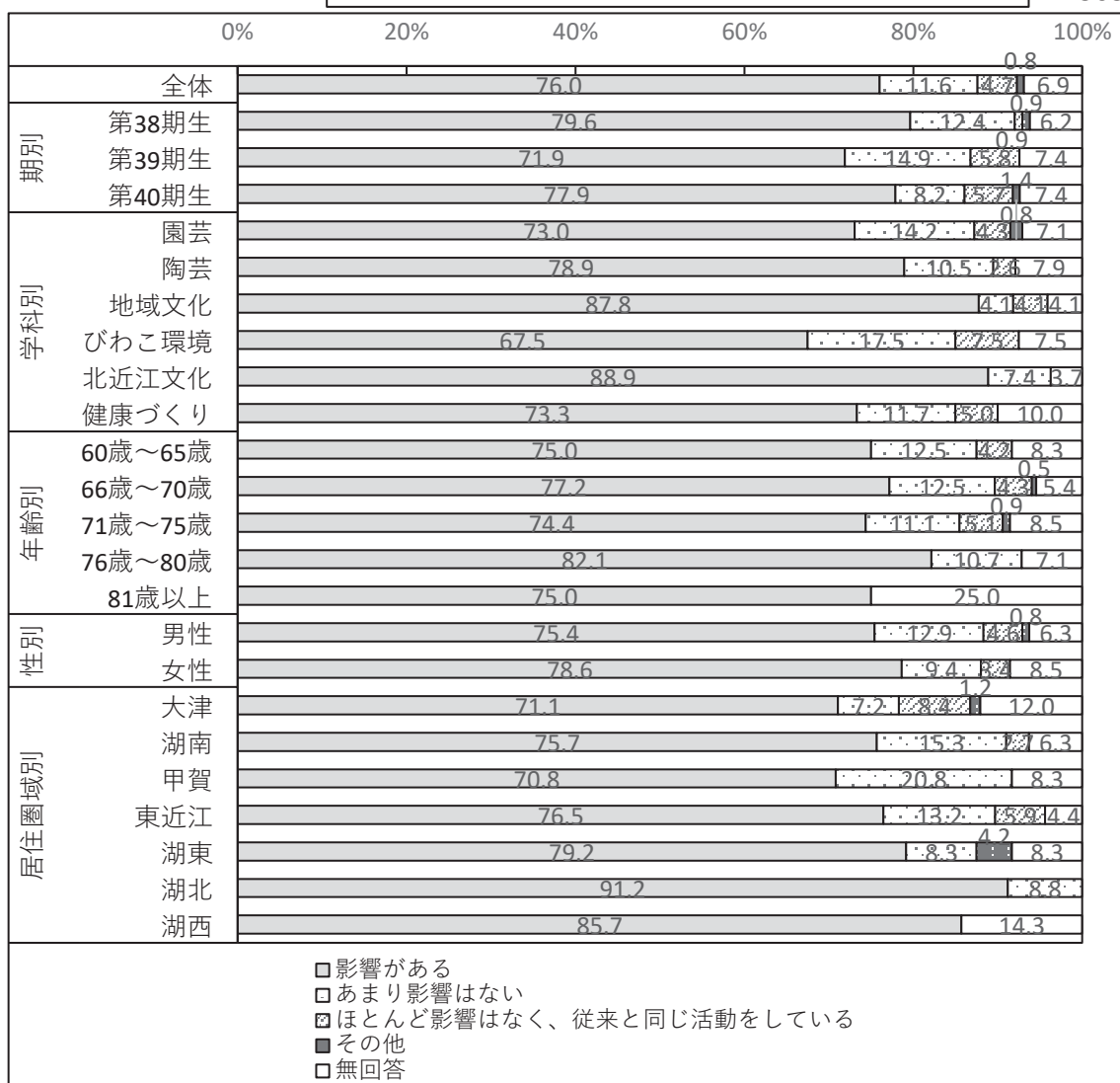
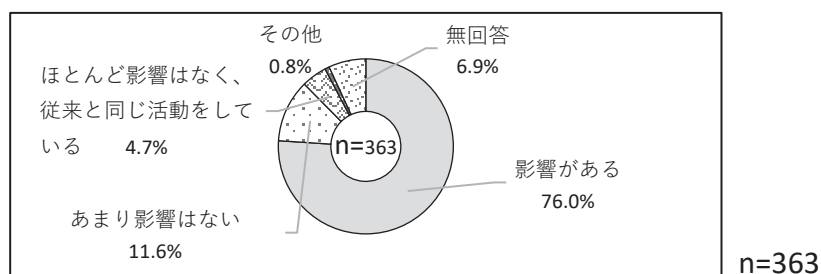
2020年3月以降のコロナ禍においては、卒業生の地域活動にも大きな影響が出たものと思われます。今回の調査では、地域活動に対するコロナ禍の影響や、「ウイズコロナ」「アフターコロナ」時代における地域活動の課題等について、質問しました。

(1) 普段の地域活動におけるコロナ禍の影響 (図37)

〔問15-(1)「普段の地域活動において、コロナ禍の影響はありますか」〕

影響があると答えたのは76.0%、影響がないが11.6%、ほとんど影響がなく、従来と同じ活動をしているのは4.7%でした。普段の地域活動において、コロナ禍の影響が大きかったことがわかります。

図37 コロナ禍の影響



◆ 「その他」の回答内容

- 地域活動がほとんど中止
- 「ウィズコロナ」とか「アフターコロナ」とかと言われる時代の実像が浮びません

(2) 地域活動の実施(参加)にあたって、特に注意した点

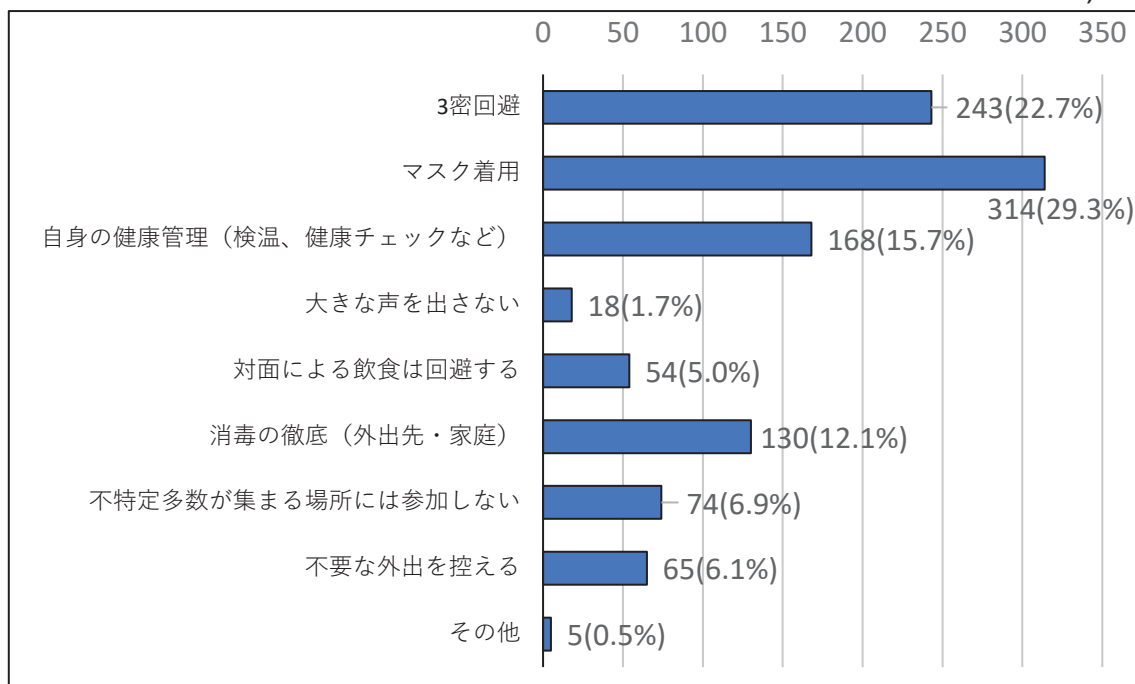
(複数(3 つまで)回答) (図 38)

[問 15-(2)「地域活動の実施(参加)にあたって、特に注意されている点はどのようなことですか。」]

コロナ禍のルールである選択肢の中で、上位のものから、マスク着用 29.3%、三密回避 22.7%、自身の健康管理など 15.7%、消毒の徹底 12.1%、不特定多数が集まる場所には参加しない。6.9%、不要な外出を控える 6.1%という結果になりました。高齢者が活動に参加する際には、高い意識を持って行動をしていることがうかがえます。また、その他では、外食を控える、電車には乗らないなどの意見もありました。

図 38 地域活動実施にあたって、特に注意した点（特に注意する3つまで回答）

n=1,071

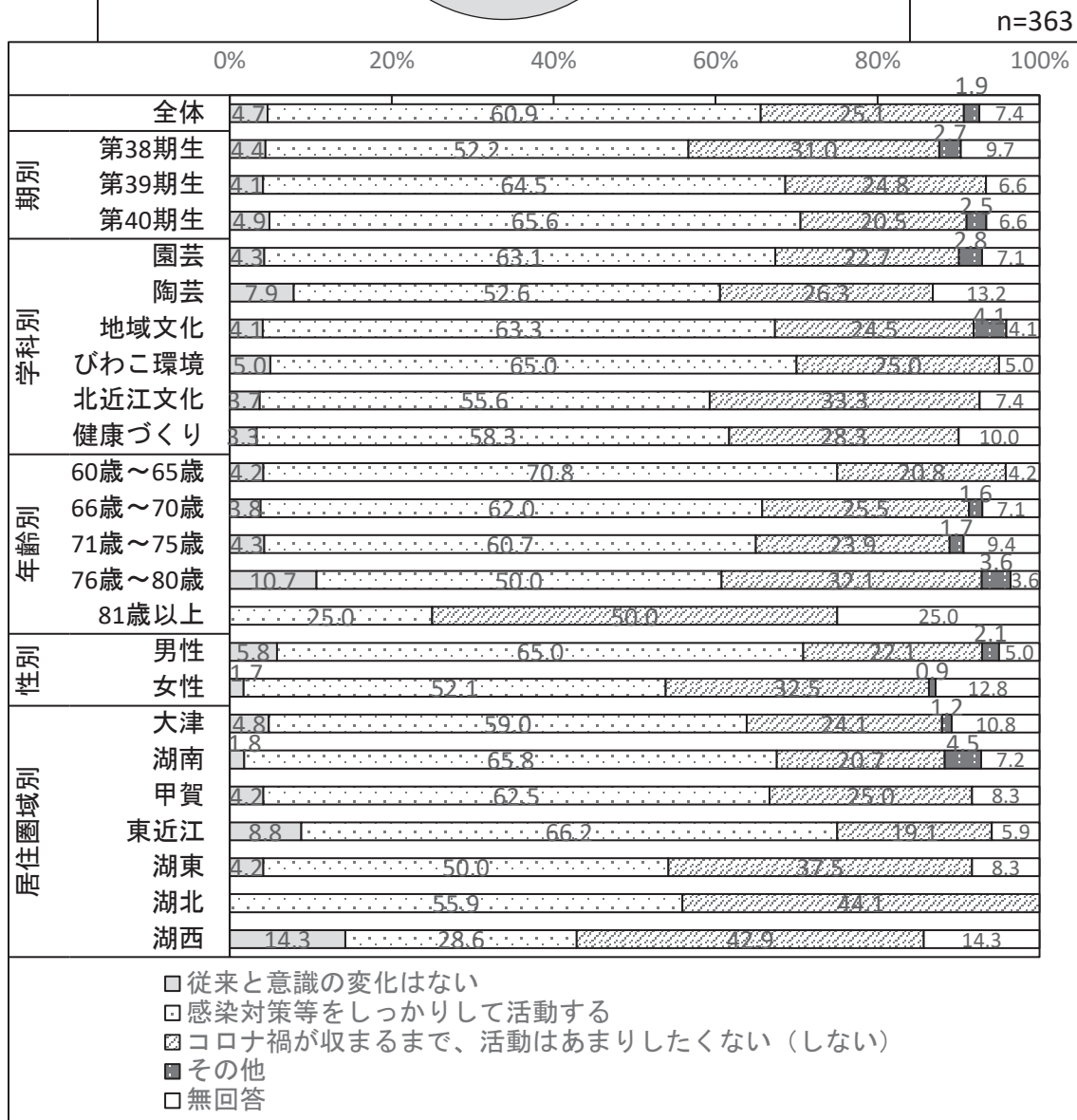
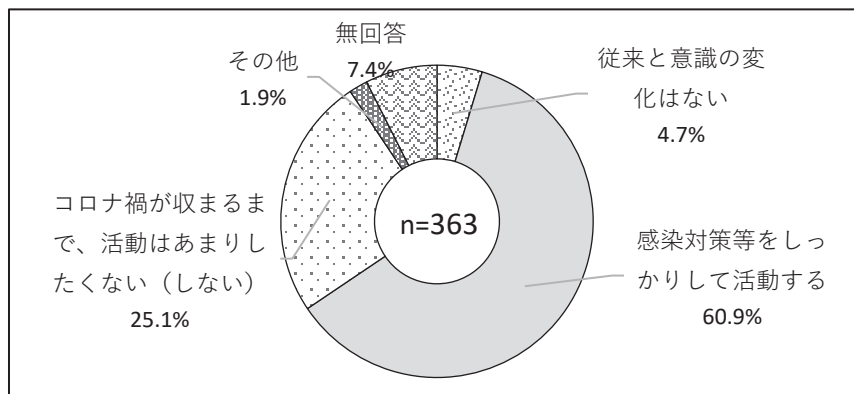


(3) 「ウィズコロナ」、「アフターコロナ」時代における地域活動に対する意識 (図 39)

[問 15-(3)「ウィズコロナ」、「アフターコロナ」時代における地域活動に対する意識については、どのようにお考えですか。」]

図 39 は、コロナ禍によって、地域活動に対する意識・行動がどのように変化したかを示しています。「感染対策をしっかりと活動する」が 60.9%で、「コロナ禍が収まるまで活動はあまりしたくない(しない)」が 25.1%と、合計 86.0%の人がコロナ禍を意識した対応をしています。一方で、「従来と意識の変化はない」が 4.7%ありました。

図 39 コロナ禍における地域活動に対する意識



◆ 「その他」の回答内容

- 3密回避で、外でできるイベントはなるべく実施の方向を推進したい。今年の自治会イベントはすべて中止で、コロナをよいことに智恵を出さず手を抜いている。
- 公民館などの貸付について、コロナ禍で人数、時間、消毒、換気等々で厳しい制約とまたメンバーが高齢者であることもあり、本人の参加意欲、家族からの出席への不同意もあり、活動はおのずから停滞気味であった。
- 最終的には自己責任になる。社会通念上「ウィズコロナ」になると感じます。活動自粛せねばと思っけていても、多数意見に押され、やむをえず妥協してしまう。
- すべてに無理をしない。させない。
- 非接触のIT活用型活動に進化しなければならない。その意味では高齢者向けIT講習会が必要になると考える。
- ワクチンが接種できるまでは、大きな催しには参加しない
- 活動は常に相手があるため、相手の事を考えた活動をするべきである。
- 活動を企画、運営している人達にまかせる。
- 健康維持のための散歩。前向きに取組める刺激のある何かを考える。
- 先行きが見えず、全く新しい考え方、手法を考える必要ある。以前には戻れない。

(4) 「ウィズコロナ」「アフターコロナ」時代において、地域活動を行うにあたって、最も問題になること（自由記述）

〔問 15-(4) 「ウィズコロナ」、「アフターコロナ」時代において、地域活動を行うにあたって、最も問題になることはどのようなことだとお考えですか。〕

【感染予防の徹底】

- 参加者に対して検温するのみで、感染しているのかいないのかきちんとした検査体制ができていないこと。また感染した場合の医療体制に不安があり、安心して活動できないこと。
- 参加者の感染防止意識と行動が大事です。
- 子ども食堂等において、限られた空間の中でソーシャルディスタントがとりにくい。感染リスク考慮する上で活動内容に制限が多く充分にあそびが楽しめていない。コロナ禍の中での遊びの提供内容のあり方が課題である。
- 私自身や家族の為には人の中に出る事のためらいは持ちつつ行動している。役員（現在）として、事前から活動時の接し方にこれまでとの違いを一瞬忘れてしまう事がある。“三密”など常に意識しなくてはいけないと思っています。
- 紙芝居の上演において弁士は居ても録音を利用して弁士のツバが飛ばない様に。コロナで人との交流が制限される中で、どうしたら人々とふれあえるかが問題と思う。
- 自己管理をしっかりする。無理をしない。普段から人ごみの中には入らない、行

かない。

- 社会全体の感染対策の徹底が大前提であると考えます。それには情報の共有、意識を高める等、大切なことが挙げられますが、まずは各自の徹底的なコロナへの対策ではないでしょうか。
- 社会的には限界があるので家庭では家庭内感染をおこさないよう気をつけて少しでも地域活動をしたいと思っている。色々と問題があるので感染しない様に努力したいと思う。
- 取り組んでいる地域活動については屋外作業が主であるのでマスクの着用、手洗いの励行の徹底。室内についてはマスクの着用、三密、手洗の励行。
- 集団での活動は参加者自身の覚悟が必要と考え、リスクは自己責任（対策しっかりとり）。団体側もリスク回避に充分注意を払う事。
- 従来に戻れるとの考えを改めること。地球規模でコロナ問題が解消されないかぎりマスク着用、三密回避の厳しい闘いが数年は続くだろうと思う。
- 常に個人でなく集合体での活動なので対応すべき事がらが多く大変である。
- 新型コロナウイルスの感染収束が中々収まらず、不安が募るばかりです。卒業生のいろいろな活動も始ってきましたが、やはりマスク使用・体温チェック・消毒・三密に気を付けるなど、できるかぎりの対策をした方が良いと思います。
- 全員がマスク・手洗い・消毒を心がけて、コロナにかからないように注意する。
- 早く効果があるワクチンの出来る事が一番なのだが、それまでの間は、国民のす部手が感染対策をしっかりと守ること。GO-TO など不要不急の外出は避けるべきと思います。
- 対象が小学校なので、拡散をさせない様に注意が必要。対象学校も対策はしているが、まだまだ意識の差は見えるので、もっとしっかりした指導が必要。
- 地域で活動する人はPCR検査をうけてほしいです。無症状があるからもらわない、うつさない。体温だけではわからない。
- 老いも若きもみんなが同じ方向を向いて行動する事。(マスク、三密、消毒) 大事な人を守るために、という気持ちをしっかり意識して動く。

【コロナ禍に応じた対応】

- 恐れる気持ちが大きすぎて消極的になりすぎてしまわないようにすること。
- 個々人の意識の徹底。変に恐れないこと。
- 高齢社会においては、益々地域支援が必要であり、コロナの影響により高齢者が孤立しない様、日常生活の把握に努め、地域と共生できる様高齢者の支援に重きを置くこと。
- 最少限の地域活動を行うとしても、この活動の参加者の中から感染者を出さないことが大切であると思う。
- 作業各々がきちっと行動を管理しないと共同作業は危険がある。
- 従来の活動形態を見直しコロナ対応に見合う工夫が求められる。活動内容により

相違する。

- 勝手な行動をせず、それぞれに決められたルールを守り、従うこと。
- 新型コロナが高齢者基礎疾患のある人が重症化しているので、本人も対象者、相手はこのような人が多い。ワクチンが皆に行き渡って沈静化するまで、今は待つより仕方がない。以前には戻らないという意見があるが、まずは身近な地域と仲間での活動に限定せざるを得ない。
- 人々に対して自分が他の人に何かできることを少しでもいいから実行すること。
- 数ヶ月活動休止でしたが家にこもっているよりマスク着用、消毒などを徹底し、今後も続けていく方が良くつくづく思いました。ソーシャルディスタンスは大切ですが、人と会うことの方がもっと大切だと思います。
- 先ず、自分自身が健康管理をしっかりし、健康な状態で活動出来る様に日頃から体調を整えておく事がもっとも重要と考えています。
- 全く活動をやらなくなると、1人暮らしの方に精神面での健康ということを留意しなければならない。先日も参加者の皆さんにお尋ねしたところ、出来るだけサロンやカフェは“やって欲しい”という希望者が多く時短や飲食を控えながら和やかな雰囲気のみを作ろうと努力しています。
- 地域活動を行うには、コロナウイルスの終息宣言や、ワクチンの接種が出来ることであり、一番の問題であると思う。
- 老人の集う町内においては、3密をさけることはもちろんの事、老人との活動は極力さける事の中において老人どうしの見守りを行なえる活動を考える必要を感じます。
- 地域活動にあたり、従来の発想、慣例の見直しが必要と感じます。在宅ワークやオンライン会議などが日常生活に定着しつつあり、地域活動も発想の転換が必須です。
- 力を入れ過ぎないこと。活動をおさえ気味にすること。GoToに惑わされないこと。
- 当分はウイズコロナですネ。コロナは怖い、が何もしないのもいたずらに時間を無駄にするのみ。何もしないために、継続不能になり、失われた時間となるのがこわい。人が離れていくのが最も怖い。小さくイベントは継続しよう。
- 密を避けるのに十分な広さの会館や部屋がない。特に高齢者についてより一層きめ細かな対策が必要では？

【活動等の縮小・中止・自粛】

- 健康第一。体調がすぐれない場合は、活動を辞退する。
- 行政が中心となって事業の自粛をやってきており各種団体、個人も活動の計画が立てられず、何も進まないのが現状。地域、地域と何でも行政からまくっているような情勢。地域（村）が崩壊する方向に進んでいる。自分の自己満足的な活動でしかなくなってきた。

- 高齢の人を対象に活動をしているので無理をさせないように気を使っています
- 高齢者は、自分の健康は自分で守る事が、最も大きな社会貢献であろうと常に考えている。社会のお荷物には、なりたくない。
- 今までのあたりまえの生活が一変してしまい、町内一斉清掃等が出来ず、草木の手入れも出来ない事。
- 祭や文化祭、運動会などほとんどの行事が中止になり、行事を行うためのノウハウが忘れられること。
- 私の場合は、サロンや人が集まる場所で、紙芝居や映像に写してお城のガイドを説明することなので、一応三密をさけたいので、今しばらくは、行かないようにしています。いつまで続くかわかりませんが・・・。
- 自治会活動の自粛が続いており、次に再開しようとした時に、協力が得られるか不安である。
- 自粛しかなのかと思っている。国の政策が明確でないので。－自分の身は自分で守る－
- 受け入れる側が、地域活動される事に消極的である。
- 収束を待ってから、じっくりやればよいと思います。
- 収束するまでは、活動の自粛をするべきだと思います。(現在第3波の様子から見て思います)
- 少人数活動が前提となり、活動に制限が生じる。(集められない。)外出自粛の中、計画しづらい。計画出来ない。
- 全体活動（総会、行事、親睦会、会食等）が、ほぼ全て中止となった。つまり、多数活動（人と集まる）は、地域活動の基本であるが、実施出来ないのが問題。
- 対面協議が難しく、意思疎通を欠く。連絡調整が困難。リモートは技術的にマスターする機会も皆無である。
- 地域みんなが参加する事が活動の重要な所ですがコロナではやむを得ないと思う。しかし、取り組んでいる花を育て、それを見てもらえることで心が和む事も一同に介するばかりが地域活動とは考えていないので直接ではなく間接で活動する事が良いと思って行なっています。
- 地域や団体の活動が縮小していくことが心配
- 地域活動では懇親の場が必要不可欠であるが、その場が設定できないこと。
- 地域活動のメンバー、近隣住民共に高齢者が多いので活動をセーブすることが多くなっている。
- 命が最優先なので、当分の間ひかえた方が良い。
- 特に介護施設など、受入が厳しい
- 密接、密着の活動を通じて、地域の絆を築いてきた事が出来なくなる、なっている。独居老人の見守り訪問も、出来ない。
- 命が最優先なので、当分の間ひかえた方が良い

【意欲の低下、不安感】

- 気持は元気でやる気満々でも、現実が高齢者という事で機会もなくなり、長びけばやりたい事も出来ず社会の中でとりのこされていく感があります。
- 喫茶オアシスを公園で初めて開催するなどコロナ感染対策をとっているが、完全な対策はなく、不安を感じる。
- 行事や活動の休止期間が長く空白期間が続くことで意欲が失せることが心配
- 高齢者であることが感染した場合命にかかわることになりかねない。そのため無理はできない。感染防止の意識・実践力が充分そなわっているのか判からない人と活動してしまうこと。自分はできていると思っていること。会としてマニュアルの作成・徹底・実技・体験が必要と思う。
- 高齢者は余り動かないと言うことで活動がどうしても出来なくなります。かかれば大変ですが家にこもってばかりいても他の病気にかかりそうです。人とのつながりは大切にしたいです。
- 今年に入って主人が食道がんで入院、5月迄。私も5月、6月に入院、いままで2人共元気にくらしていた。主人もレイ大に入りよろこんでいたのですがボランティアより人の手を借りて心配かけて今年は終わろうとしています。先ず自分が元気であること。3密、不用な出かけをしない等守りたい。
- 昨今の地域のつながりが希薄化の一途をたどっている。益々拍車がかかっていく事が問題と思います。
- 町内におられる高齢者に外からウイルスが入って来る事を心配しています。1日も早く終息する事を願います。
- 自粛期間が長期化している為に意識が気薄になり、無対策のまま、行動を行なう事がこわい。
- 住民との交流が図れず、つながりが希薄となること
- 人と人のつながりが、少なくなってくるにしたがい、高齢者は特に、外に出る事がおっくうになり、どんどん体が弱ってくる。精神的にも、やりがい、生きがいが減少してきて、生きる気力等がおちてきて、町の活気がなくなってくる。
- 多人数での行動ができない（会食、会話等）。人とのつながりが希薄になる。
- 地域には、対象者がいないが、もし自分がかかったり、集まってコロナになった人が出たら困るため、積極的に誘うことが出来ない。

【行政等の指針・対応】

- 行政のリーダーシップ。特に経済よりも人命を尊重することを明確に示すこと。
- 狭い一定の市範囲でなく隣接した広域的に新型コロナに適切に対処する事が求められており、緊急時に対応できる方策指針を地域住民が安心・納得できる周知をしていただければと考えます。
- 社協はもっとボランティア活動を支援すべき
- 団体での活動に制限がある為、本来の活動が出来ない。活動指針となるものを明

確にしてほしい。

【その他】

- 個人情報保護法にも限界がある。もう少し、再考してもらいたい。無理かなあ…？
- 考えずに結論を出さず、議論をする中で結論づける習慣と、次への展望を練りつつ歩んでいくこと。
- 社会全体の活動との協調が大切である。
- 対象組織・対象者の意識改革、環境の改善（3密対応等）、次期担い手の育成
- 地域活動ではなく、生きて行く事の難しさ、廻りの人々と協力し、助け合いの気持ちで生活する事が最も大切と思う。
- 地域活動への参加がないので問題点もよくわかりません。
- 地域活動をするにあたって活動の範囲、まわりの人々の気持ちを考えながら行動していくことが重要と思う。
- 田舎なのでと云う少し安心した心がある事に注意が必要
- 年令によって、コロナの受け取り方が違いすぎる

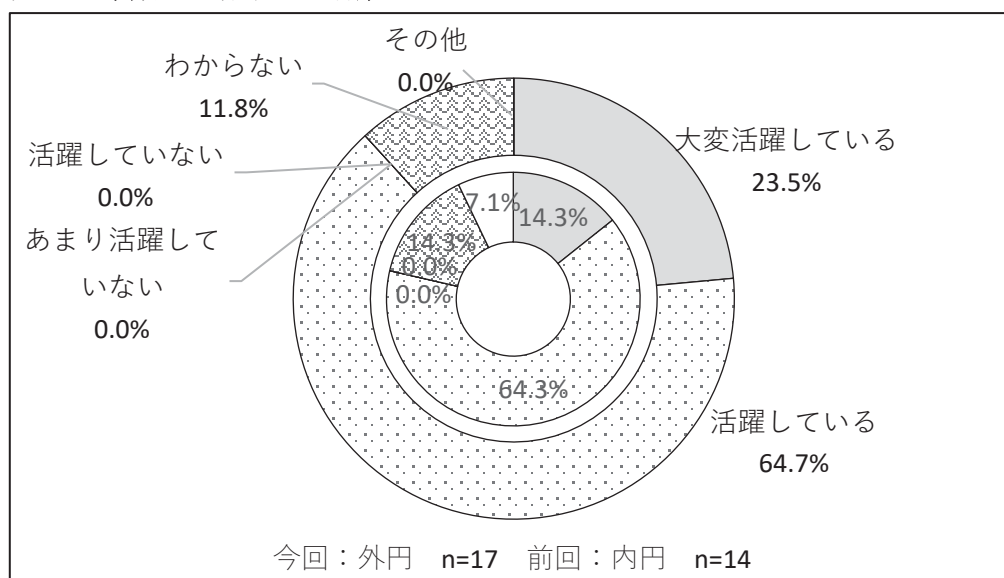
[2] 市町社会福祉協議会からの回答結果

(1) 卒業生の各市町での活躍状況 (図 40)

〔問 1 「レイカディア大学は、地域の担い手を養成することを目的の一つとしていますが、レイカディア大学卒業生は貴市町において活躍されていると思われますか。」〕

図 40 は、市町における卒業生の活躍状況についての回答結果です。回答のあった 17 市町社会福祉協議会（社協）のうち、「大変活躍している」と回答した社協は 4 社協（23.5%）、「活躍している」は 11 社協（64.7%）、「わからない」が 2 社協（11.8%）でした。「活躍している」と「大変活躍している」を合わせると 15 社協（88.2%）となり、多くの社協が卒業生の活躍を把握している様子がうかがえます。

図 40 卒業生が各市町で活躍しているか

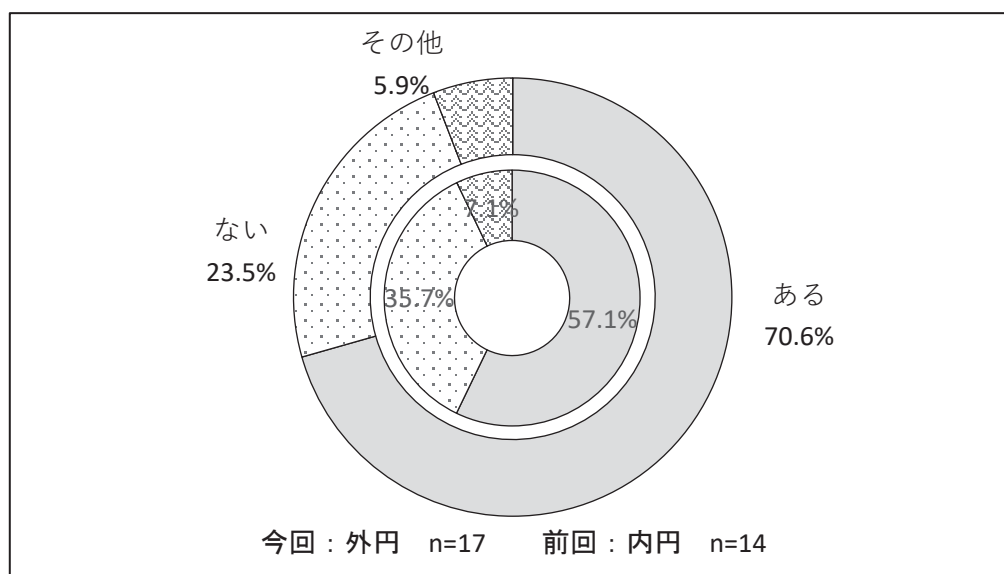


(2) 卒業生の活用状況 (図 41)

〔問 2 「今までに、貴会の事業等において、レイカディア大学卒業生を活用されたことがありますか。」〕

図 41 は、卒業生の活用の有無を示しています。卒業生を活用したことが「ある」と答えたのは 12 社協 (70.6%) であり、一方「ない」は 4 社協 (23.5%)、「その他」は 1 社協 (5.9%) でした。全体の 70% の社協で活用されている実情がうかがえます。

図 41 卒業生を活用したことがあるか



◆ 「その他」の回答内容

- ボランティア講座等案内

(3) 卒業生の具体的な活用状況（自由記述）

〔問2「どのように活用されたか、その内容を記入してください」（前問で「1 ある」と回答した市町社協への設問）〕

前問で「活用したことがある」と答えた 12 社協から、次のような回答を得ました。

- 卒業生で葉刈のグループを立ち上げられておられるので、施設の葉刈をお願いしている。傾聴グループ等（レイカディアの卒業生で構成されたグループではない）に数人加入いただいた。
- 第5次地域福祉活動計画、策定委員への就任やワーキングへの参加。本会が受けたボランティア依頼に対するコーディネート（協力依頼）。ひまわり号来県当日のボランティア、国民体育大会 香川大会だったか（漕艇 瀬田川河畔）の会場遠泳ボランティア、平和堂坂本店・石山店のコミュニティースペースでのボランティア活動発表（作品展・子ども向け紙芝居・手品等 但し、石山店は令和3年1月の予定）、施設からのボランティア依頼（イベントでの手品披露、囲碁将棋の相手）
- 施設の剪定を助けて頂いております。
- 湖南省ホリデースクール事業（長期休暇中の障がい児対象通所事業）にボランティア活動でお越しいただき、レクリエーションの主催をしていただきました。
- ボランティアとして活用
- 地域の行事（敬老会や高齢者サロン等）に、足芸やマジック、紙芝居などの演芸を披露して、参加者の皆さんを大いに楽しませていただきました。いずれの行事においても、大好評でした。ただ、本人からお聞きしない限り卒業生かどうかを把握することが出来ませんので、他にも該当の方がおられたかもしれません。
- ボランティア団体登録をいただき、デイサービスセンター等での傾聴活動、子育てサロンを立ち上げられ、子どもの一時預りを実施されている。
- 託児ボランティア、サマースクール事業(障がい児長期休み居場所)ボランティア
- 当会事業で、園芸学科卒業生に寄せ植え講座の講師として依頼した実績有。他にも、卒業生がボランティアグループの一員として多数活躍中。
- ボランティア依頼で地域へ出張いただいた（よしの風音325、レイカディアえにしの会など）。市社協送迎ボランティアとして活躍されている。レイ大生の地域福祉活動体験の受け入れ先としてレイ大卒業生が所属するボランティアグループへ受入いただいた。（みずの森ガーデニングボランティア、草津塾、草津市公園サポーター、レイカディア大学同窓会草津・栗東支部など）
- サロンへの芸能ボランティアとして参加していただいた。
- レイカディア大学卒業後、結成された演芸ボランティア「レイカ28銭太鼓」、「四つ葉のクローバー」にサロンや介護施設などの演芸ボランティアの依頼。

(4) 今まで貴会の事業等で活用されなかった理由 (図 42)

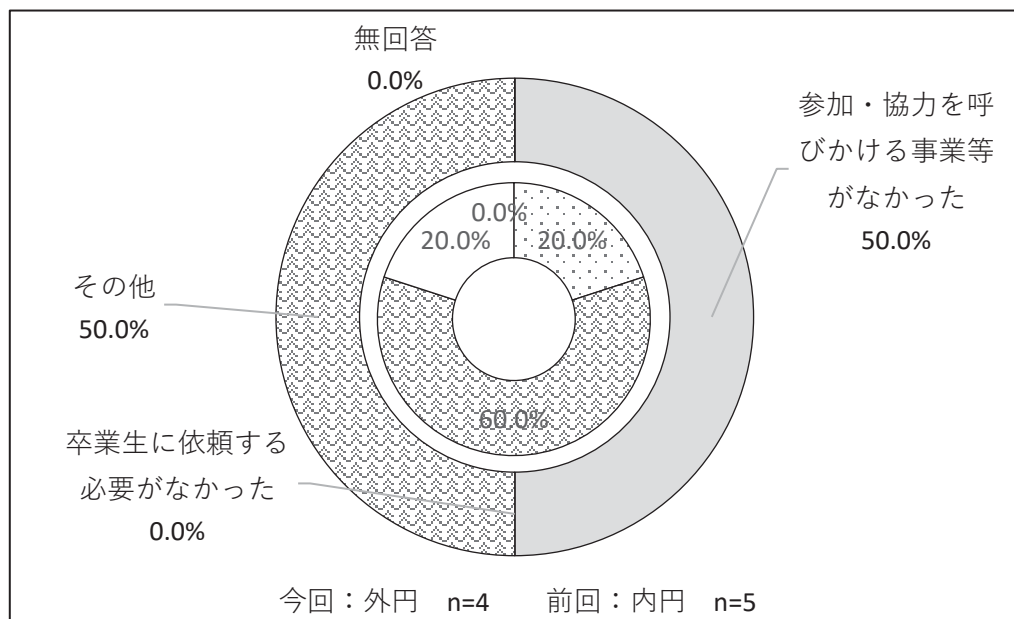
〔問 3 「今まで貴会の事業等で活用されなかった理由はどのようなものですか」

(問 2 で「2 ない」と回答した市町社協への設問)〕

図 42 は、問 2 で、卒業生を活用したことが「ない」と答えた 4 社協に、活用しなかった理由を尋ねた設問の結果です。

「参加・協力を呼びかける事業等がなかった」が 2 社協 (50.0%) で、「その他」の 2 社協、50.0%の回答は、以下のとおりです。

図 42 卒業生を活用しなかった理由



◆ 「その他」の回答内容

- どこにつなげてよいか判断する材料が少ないため
- ボランティア活動を紹介し、参加された経験はありますが、活用はしたことありません。
- ボランティアを活用するという言い方は違うと思います。

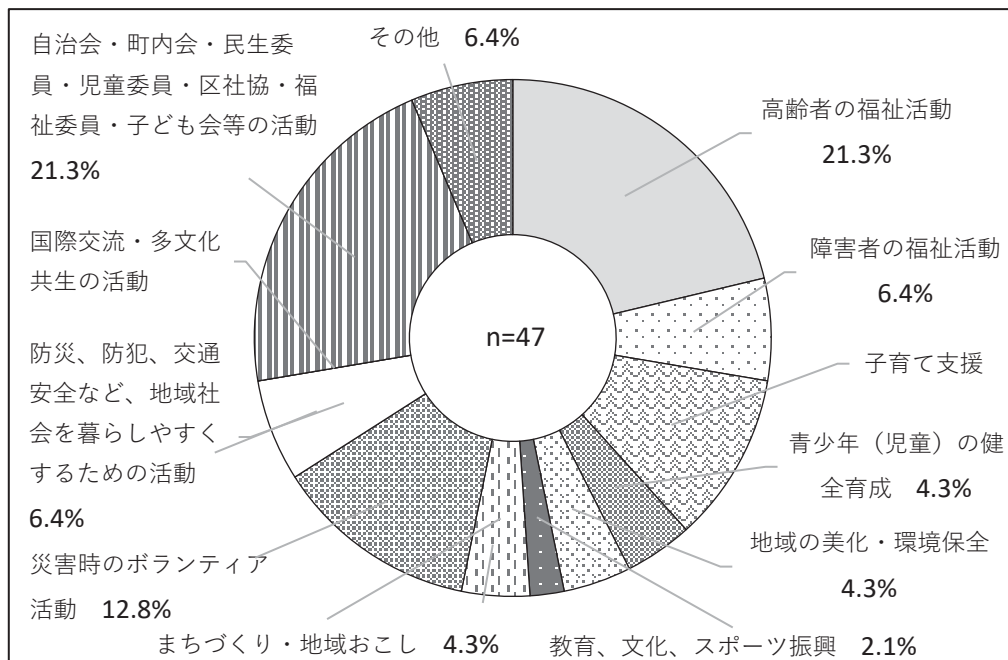
(5) 高齢者に積極的に行ってほしい活動（複数(3つまで)回答）（図 43）

〔問 4「貴市町社協において、一般的に高齢者に積極的に行ってほしい活動はありますか。」（問 2で「1 ある」または「3 その他」と回答した場合の設問）〕

図 43 は、問 2で卒業生を活用したことが「ある」または「その他」と回答した 12 社協に、高齢者に積極的に行ってほしい活動を尋ねた設問の結果です。

「高齢者の福祉活動」と「自治会・町内会・民生委員・児童委員・区社協・福祉委員・子ども会等の活動」がともに 10 社協から、「災害時のボランティア活動」が 6 社協から、「子育て支援」が 5 社協から積極的に取り組んでほしい活動として挙げられました。

図 43 高齢者に積極的に行ってほしい活動（複数(3つまで)回答）



◆ 「その他」の回答内容

- ご本人の生きがい、やりがいにつながるような活動全般
- 地区ボランティアセンターへの参加
- まち協など各種団体の参画、地区ボラセンや身近な地域の中でのボランティア活動に参加してほしい。

(6) 卒業生が地域で活躍しやすくするため大学側で必要な取組みや工夫

(自由記述)

〔問5「レイカディア大学卒業生が地域のさまざまな場面で活躍しやすくするために、大学側ではどのような取組みや工夫が必要だと思われますか。〕

- レイカディア大学卒業生が集える場が、市域に定期的にあり、活動の報告や交流を行うことがあれば展開できると思う。レイカディア大学を卒業することで終わるのではなく、これからが地域デビューのスタートであることの意識づけも大切だと思う。
- 市社協へのボランティア登録を促していただける取組み。卒業後、市社協の取組みやボランティア活動の要請に応じていただけるかの意思の確認や興味の方向性などのアンケート実施。(出来る事の内容の見える化とつながりを太くする工夫)
- 活動状況の把握と実践例の啓発、市町社協との情報共有(強み、可能性)、学生に対してボランティア活動への意識の醸成
- 市町ごとに卒業生が恒常的に取り組むメニューづくり。市町ごとに卒業生が活躍できるフィールドの用意。
- ボランティア活動に限定せず、地域の様々な活動や取組み事例を紹介するために社協との連携があればよいと思います
- 大学側の取組み・・・というより、大学生、卒業生の意識が大事なのでは？大学生は自身の今後のために・・・と受講されるのですが、地域で活躍することも必須であることを周知されるべきかと。
- 実習のためにボランティアセンター(VC)を訪れるようにお伝え頂いていると思いますが、卒業後の地域活動への参画の働きかけはどの程度行われているのでしょうか。本会の課題なのですが、レイ大卒業者とあまりつながれていない状況にあります。
- 卒業生の力を発揮できるような活動の機会を増やすことが大事だと思います。そのために、市町社協のボランティアセンターと顔が見える関係性をつくり、情報交換を行って、いつ、どんな活動があるかを把握しておくことが必要になると思います。
- 「新しい行動」は「新しい知識」から生まれます。指定した本を読んでもらい、その「あらすじ」をまとめて提出してもらう。
- ボランティア登録(ボラセンへの)
- それぞれの市町村との情報交換(ボランティア情報)
- 県内各地域で卒業生が活躍されている、情報の提供等。
- 市社協や地域との連携を密にし、レイ大生への周知、レイ大生から地域等へ発信していくなど積極的に関わりを持つこと
- 卒業生の情報交換会の開催

(7) レイカディア大学への意見・要望等（自由記述）

〔問6「その他、レイカディア大学に関してご意見、ご要望等がありましたら、お聞かせください。〕

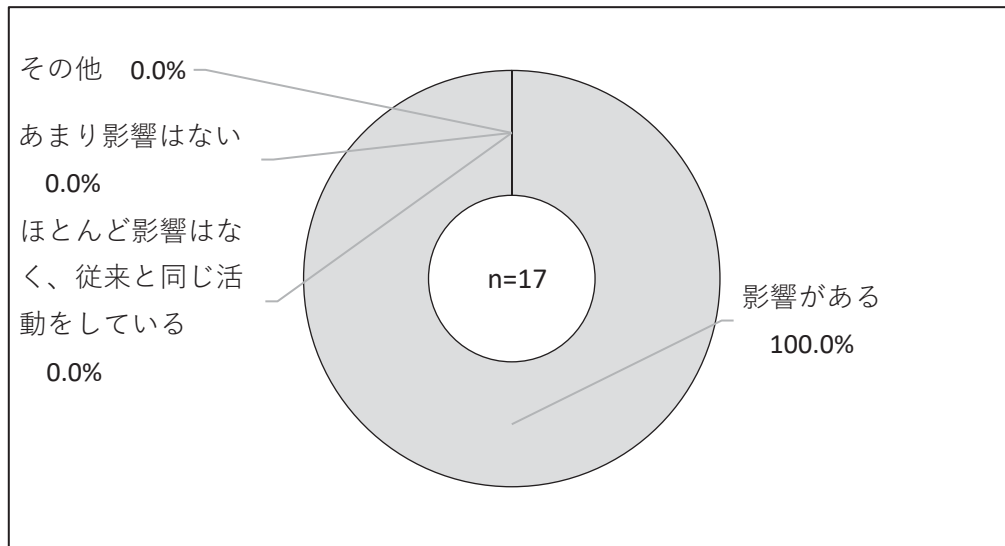
- このアンケート名称や問いの「活用」という言葉は、一般的に人材活用というような使い方をすると思うが、「卒業生を活用」という使い方は、上から目線な使い方であると感じてしまう。「卒業生の参画」を得るとか、事業への参加を「依頼」するなどの言葉遣いの方が、市民協働やボランティア活動に対等な立場での参加を促す社協の立ち位置にふさわしいのではないか。県ボランティアセンターとこのアンケート結果は共有されるのでしょうか？卒業後の活動についてレイ大事務局とボランティアセンターが卒業生の強みや魅力を共有して発信していただきたい
- 地域とつながることの有益さを卒業生に伝えていただきたい
- 特に要望はありませんが、ボランティアについてなどレクチャーを求められますが、これは必要でしょうか。
- 本市在住の卒業生が他市で活動されているとのお話もお聞きしております。実習だけでなく、卒業後もつながれるようになればと考えております。
- 卒業生の方々は「えにしの会」をはじめ、「レイカ湖南剪定会」や他ボランティアグループで活躍されています。地域での支えあいや地域住民のまちづくりが重要視される中で、欠かせない存在だと思いますので、今後ともよろしくお願いします。
- 現在、42期生学生の皆さんに、体験実習で大変お世話になっております。ある老人福祉センターでは、樹木の剪定や草取りを一生懸命してくださったと感謝の言葉をいただいております。せっかくのご縁ができましたので、卒業後もぜひ、継続的に関わっていただけることを期待いたします。
- デイサービスの一日実習を必修にしては？
- レイカディア大学の現状等お聞きさせて頂きながらコーディネートをさせて頂けたらと思います。
- 地域福祉活動体験のためのボランティア講座を毎年開催し、市社協で受入先を調整しているが、報告書期限等学生自身が知っておくべき事を市社協へ聞いてこられる学生がいる。決定した体験受入先にもレイ大事務局から学生がお世話になる旨の文書を学生から体験先へ渡していただくとより丁寧な対応になるのではないかと・・・

(8) ボランティア活動におけるコロナ禍の影響 (図 44)

〔問 7-(1)「ボランティア活動において、コロナ禍の影響はありますか。」〕

図 44 は、各市町のボランティア活動におけるコロナ禍の影響について尋ねた設問の結果です。17 社協すべてから「影響がある」と回答がありました。

図 44 コロナ禍の影響はありますか



(9) コロナ禍の影響の具体的内容 (自由記述)

〔問 7-(2)「具体的にどのような影響がありますか。」(問 7-(1)で「1 影響がある」と回答した市町社協への設問)〕

- ボランティア活動の受け入れの自粛により、活動場所がなくなり、それに伴い活動意識が低下、高齢者が多い団体は解散につながるケースがある。
- 人の集まる場所での活動が困難。ボランティア自身が判断しなければとなると消極的な考え方になりがち。
- 活動拠点である地域の公民館の利用が制限される。(会場の広さによる人数制限、歌や楽器演奏の際にマスクをつけるなど)。福祉施設に於けるボランティアの受け入れ中止。活動ができない、メンバーが集まらないことによるボランティアのモチベーションの低下、閉塞感。高齢者が多いためコロナ感染の不安が強く、欠席者が増えて活動の継続が難しくなり、ボランティアグループの登録を取り下げるところも出てきている。
- 福祉施設、個人宅、地域などでの大半の事業が中止され、ボランティアが活躍できる場が激減している。
- 活動を休止されているグループが多数ある

- 人と接する活動においては、停滞している。外での奉仕活動は、参加者同士の接触をさけるなど気をつけて活動されている。(活動内容による)
- 活動を休止する(していた)グループ、方が多数あります。本会として代替活動の提案も十分ではなく、“コロナ禍だからこそ”という動きが出ておりません。
- 依頼件数がかかなり減少し、ボランティアグループの活動自体も自粛・縮小傾向になっていること。(モチベーションの低下)
- 活動できる場が減っている。
- 傾聴ボランティアについて、利用者が高齢のため自粛したり、施設入所されている場合は外部面会制限により活動が休止されるなどの影響がありました。地域行事が自粛されたため予約キャンセルが続き、ボランティアさんの活躍の場が激減しています。
- 地域や施設からのボランティア依頼の大幅な減少。グループの発表会の中止。年に1度のまつり中止。
- ボランティア活動の受け入れ先の制限やボランティアの活動自粛により、活動が停滞する。
- 高齢者居場所活動は人数が縮小・中止されている。施設(高齢者施設)等についても、利用者対面になるようなものは、停止。
- 地域活動が縮小しているため、ボランティアの需要が減少している。
- 密室・密集・密接を避けられないボランティアは、活動が休止されていることが多い。大きな声を出すことができないため、音楽グループや笑いヨガ、また、飲食を伴う活動などが活動を休止されていることが多い。
- ボランティアを受け入れていただける施設がなく、ボランティアをしたい方の活動の場が少ない。(サロン等も中止されている所が多い)。自治会でのサロンが地域の見守りの役割を担っているところがあったが、サロンの自粛により、気になる方がどうしているのか把握できないという声がある。また、ボランティア活動が生きがいとされている人もおられ、さみしいと言われている方もいる。
- サロンや地域の様々な集いが開催を中止されているため、活動の場がない団体がある。(演芸ボランティアグループ)。メンバーが集う・練習することを中止されている団体がある。サロン活動をしたくても、コロナ感染の不安や責任を問われた時の心配から地域の賛同が得られず開催が難しい。福祉教育に協力下さっていた団体は、学校への出前講座を中止されている団体もある。ただし、出前に行けない代わりに、教材用のDVDを作成して下さった。

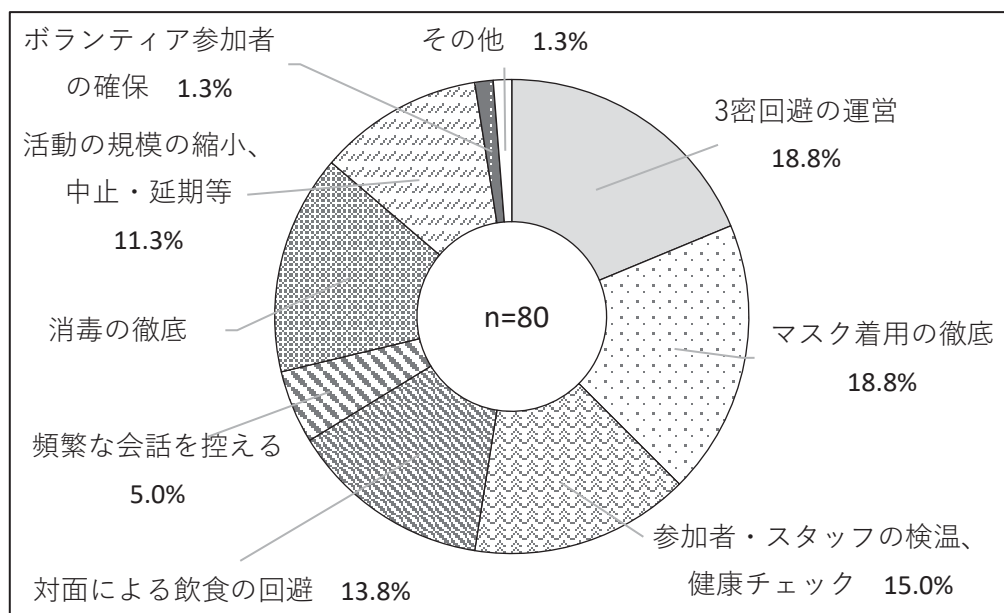
(10) コロナ禍におけるボランティア活動の実施で特に注意を要すること
(複数回答) (図 45)

〔問 7-(3)「コロナ禍におけるボランティア活動の実施にあたって、特に注意を要することはどのようなことですか」〕

図 45 は、17 社協に該当するものすべてに複数回答を求めた結果です。

「3密回避の運営」と「マスク着用の徹底」がともに 15 社協から、「参加者・スタッフの検温、健康チェック」と「消毒の徹底」がともに 12 社協から、「対面による飲食の回避」が 11 社協、「活動の規模の縮小、中止・延期等」が 9 社協から特に注意を要すると回答がありました。

図 45 コロナ禍において注意を要すること (複数回答)



◆ 「その他」の回答内容

➤ 意識、考え方

(11) 前問の選択肢以外に、コロナ禍におけるボランティア活動の実施で工夫していること（自由記述）

〔問 7-(4)「前問の選択肢以外に、コロナ禍におけるボランティア活動の実施にあたって工夫していることがあればご記入ください」〕

- ボランティア活動におけるコロナ対策を、ボランティア情報紙等で発信した。各団体にコロナ禍における活動の不安についてアンケート調査を行った。
- 対面以外の方法。葉書で交流、オンラインを使って打ち合わせなど。
- コロナ禍でもできる活動メニューの提案（手づくりマスクの寄付、絵手紙等）。活動実施状況アンケート（R 2. 11 月アンケート用紙送付取りまとめ中）。交流会または研修会の開催（予定）。仮テーマ「コロナ禍のボランティア活動」「感染症予防についての研修会」など。来会されたときに意識して会話をし、現状の聞き取りなどとして励ます。
- 依頼時、湖南省ボランティアセンターが作成した、「新型コロナウイルス感染予防にかかるボランティア依頼チェックリスト」に記入をお願いし、実施会場において 3 密を避けることやマスク着用、検温等ができない場合（チェックリストが満たせない場合）は、依頼をお断りしています。
- 地域活動や他のグループの状況について情報提供したり、最近の様子や気持ち、今後の計画について聞いたりしながら、ボランティアさんのモチベーションを維持できるよう、配慮しています。コロナ前には対面で行っていた「ボラカフェ」（情報交換、仲間づくりの場）をオンライン開催にしたり、出前イベントをオンラインで行うなど、工夫しています。
- 部屋の加湿（ボランティアの活動場所の環境整備）
- 厚労省発行のコロナ感染拡大防止のためのチラシの配布など情報提供
- アクリル板の使用。手洗い・うがいの促し・徹底
- ボランティアグループの中には、コロナ禍の中での新しいルールを定めながら、実施いただいているグループもある。
- 会議等をリモートで行う、少人数で行う。参加者を減らして回数を増やすなど・・・
- 人と密接に関わらないようなボランティア募集（町内の施設でアンケートをした際草むしりなどのボランティアをしてほしいという意見があり、募集案内をした）。中止ではなく、コロナ禍でもできること（密にならないようなレクリエーションなど）をボランティアカフェでボランティア登録者に伝えたり、リモートでできるボランティア（特技を DVD 収録し、施設に貸出する）などを取り入れている。
- サロンで集まれないが、見守り訪問などをされている団体もあるため、サロン助成に加え、サロンの代替え事業に対しての助成も行っている。休眠預金の助成を受けて、ボランティア活動者が安心して活動が行えるよう、活動の応援として「地域活動応援ボックス」の配布を行っている。市内のボランティア活動やコロナ禍でも工夫しながら活動しているグループを紹介する「ボランティア通信」の発行。

(12) コロナ禍におけるボランティア活動のあり方について、運営上の課題やボランティア参加者への要望、その他意見等（自由記述）

〔問 7-(5)「コロナ禍におけるボランティア活動のあり方について、運営上の課題やボランティア参加者への要望、その他ご意見等があればご記入ください。〕

- 日頃以上にボランティア自身のモチベーションをどう上げていくか、維持していくかが重要で、ボランティアの皆さんを支える側の課題でもある。ボラする側もされる側も高齢者の比率が高く、感染状況を踏まえると更に方法や実施の判断の難しさがある。ボランティア参加者へは、自身の自己管理や関わることの楽しさの意識を高めていく工夫をお願いしたいとともに、大学側や市社協も協同して地域の担い手の養成に取り組んで行きたい。
- 屋外での活動をしているグループには体験を受け入れて貰えたが、屋内で対象者と接する活動（傾聴等）については、コロナ対応でグループ内研修や定例会に活動内容を限定している所が多く、活動していても体験受け入れに繋がらないケースが多々あった。今後も体験の受け入れが困難であると予想されるので、実体験だけでなく、活動の聞き取りや写真を使って紹介するチラシを作るなどのメニューも有っても良いのではないかと。以前、2回体験したらそれきりという生徒を受け入れた団体からは、受け入れ拒否の回答があった。体験を課題としてのみ捉えている学生を受け入れることで、ボランティアグループの見学者受け入れに対する意欲を削がれることもあるので、課題の履修のみを目的とされる方は仲間としてフォローしてもらえればレイ大OB会での体験に限定されてはどうかと考える。
- コロナ禍でボランティア活動が縮小されていく中で、今出来ることや今だから出来ることをどのように伝えていく・実践していくかが課題です。ボランティア活動はコロナ感染のリスクを負ってまでするものなのか、ボランティアさん自身の葛藤があるようで、そこに寄り添う答えがなかなか出来ていないのが現状です。
- 活動自粛のほかに、練習場所としていた公民館などが休館となったり、人数が制限されたりして、活動に支障をきたすグループもありました。運営を安定させるためには活動場所の確保が必要ですが、難しい課題のひとつだと思います。また、ボランティア活動に生きがい、やりがいを感じて頑張ってくれた方の心のケアも大事だと思います。交流会や勉強会を行ったり、これまで以上に丁寧な関わりを心がけていく必要があると思います。
- ご自身の健康が1番大事。まずは「自分ありき」だと思います。
- 高齢者や感染リスクが高い方が対象のボランティアについては、活動者・依頼者共により慎重な対応が求められるため、今までとは違った活動スタイルを考えないといけない。
- ボランティア活動を行うにあたり、自治会や住民みんながコロナに対する差別や偏見をなくす、また、コロナ禍においても地域のつながりや地域活動・ボランティア活動の大切さの理解をどのように広げるかが課題。ボランティア活動に対して

どのような応援をしているか、自治会や地域に対してどのような働きかけを行っているか、他市町の情報を教えてもらえると嬉しい。

Ⅲ. まとめ・考察

〔１〕 卒業生の回答から見えてきたこと

〔２〕 市町社会福祉協議会の回答から見えてきたこと

[1] 卒業生の回答から見えてきたこと

1. 地域活動の状況

① 卒業生の9割近くが何らかの地域活動を行っている

今回、調査の対象となった第38～40期（平成29年～令和元年卒業）の卒業生のうち87.9%が何らかの地域活動を行っており、卒業生の地域活動に対する意識や関心の高さがうかがえます。（図8）

しかしながら、前回の調査結果と比較すると、卒業生が地域活動を行っている割合は2.6ポイント減少しています。

〔前回調査〕 H27年実施（対象者：第33～35期、H24～26年卒業）90.5%

この減少の要因についてはコロナ禍の影響があるとうかがえますが、今後の経年調査の結果も踏まえながら、地域貢献につながる大学づくりに努めたいと考えます。

なお、地域活動を「行っていない」理由としては、「コロナ禍の影響」が最も多く、「家庭の事情（介護、家事、仕事）で時間が取れない」、「健康面や体力に自信が持てない」などの個人的な事情によるものもありますが、これらを除けば「活動するテーマや内容が合わない」、「身近なところでの活動場所がない」、「活動の情報が得られない」など、卒業生を送り出す大学側として検討すべき課題が見えてきます。

（図17）

② 地域活動の個々の内容が地域に根差した活動に変わり始めている

地域活動の具体的な内容については、複数回答を求めると前回調査と異なり、「環境保全」（17.9%）が最も高くなっています。次に「自治会（町内会）」（12.8%）、「趣味のサークル・団体」（12.6%）、レイカディア大学運営支援（12.6%）「福祉」（9.2%）、の順になっています。（図9）

「環境保全」は、前回調査（14.4%）から3.5ポイント増加しており、「福祉」、「趣味のサークル・団体」は、いずれも3～5ポイント前回調査から低下しています。

また、回答した複数の活動のうち「主たる活動内容」を尋ねると「環境保全」が最多の22.6%（前回調査では25.1%）、次いで「福祉」が10.3%（前回調査17.4%）、「自治会（町内会）」が7.5%、「趣味とサークル・団体」と「観光ボランティア」がいずれも4.7%の順になりました。（図12）

今回調査では、回答の選択肢に「観光ボランティア」と「レイカディア大学運営支援」が追加されたため、単純に前回調査との対比はできないかもしれませんが、上記の結果から、前回調査で最も多かった「趣味のサークル・団体」から「環境保全」や「自治活動」に活動の重点を置いている卒業生が増加していることがわかります。

なお、今回調査で追加となった項目の「観光ボランティア」は4.5%、「レイカディア大学運営支援」は3.1%を占めています。項目が追加されたことで、地域活動の詳細が明確になるとともに、地域活動が広範囲になってきている状況が推測されます。

また、主な地域活動の実施地域は、8割以上の卒業生（83.1%）が居住する市町、いわば地元において活動している様子がうかがえます。さらに、「その活動はいつ頃から始めましたか」を尋ねると、全体の37.9%が在学中に活動を始め、28.2%が卒業後に始めています。前回調査と比べると卒業後に活動を始めた割合が、4.8ポイント増加しています。（図13、14）

③ 学科毎に地域活動の内容が変わり、学びの特徴が活かされている

地域活動を学科ごとにみると、その学科で学んだ内容が活動内容に反映されている様子がうかがえます。

園芸学科では、「環境保全」が最多の33.3%を占めています。園芸学科で学習した剪定や樹木の扱い方などが里山保全や森林整備等に活かされています。

陶芸学科では、「福祉」、「環境保全」がいずれも10.3%を占めています。福祉分野で活躍するとともに、福祉施設や地域で陶芸教室を開設しながら地域の方々との交流を深めています。

地域文化学科では、「自治会（町内会）」と「環境保全」がいずれも11.4%と多くなっています。自治会など地域での紙芝居公演や、自然環境の中での校外学習や郷土の歴史学習等を通じた環境への保全活動、地域での史跡探訪のサークル結成等につながっています。

びわこ環境学科では、環境に直結した学習内容であることから「環境保全」が37.8%と最多になっています。卒業生のほぼ三人のうち一人は何らかの環境保全に関わっていると言えます。個人による身近な地域里山づくりの参加から、団体結成での環境保全の取組が進んでいます。

北近江文化学科では、「福祉」、「観光ボランティア」がいずれも20.8%を占めています。地域のサークル活動としての福祉分野での慰問訪問や、地域の観光ボランティア活動でその学びを活かしています。

健康づくり学科では、「福祉」が17.6%、「趣味のサークル・団体」が11.8%となっています。健康増進を学ぶ中で、関心が高まり、卒業後の活動へと結びついたものと考えられます。（図11）

④ 卒業後の地域活動を行うことによって9割以上が充実感を得ている

「現在行っている地域活動を行うことで充実感を感じますか？」との質問に対しては、「充実感がある」と答えた割合が全体の90.6%を占め、10人のうち9人以上が活動に充実感を得ているという高い数値を示しています。（図16）

本学の設置趣旨は、地域の担い手を養成することにあります。担い手となって地域活動を行うこと自体が充実感を伴う「生きがい」にも強くつながっていると言えます。

⑤ 地域活動のきっかけは人と人のつながりで、新たな活動に最も必要なものは「活動・学習情報の提供」「仲間づくりの機会」など

地域活動を始めようになった“主なきっかけ”は、前回調査では、「地域活動体験学習」が最多の44.7%を占め、次いで「行政やNPO等の募集で」が22.2%、「レイカディア大学卒業生に誘われて」と「同窓生と協議して」が11.0%の順でした。

今回調査では、「地域活動体験学習」が最多の22.8%でしたが、続く「友人に誘われて」15.3%、「卒業生に誘われて」11.8%、「同窓生と協議して」6.6%、「在校生に誘われて」4.0%の合計は37.7%と高く、人と人とのつながりが活動を始め“主なきっかけ”になっていることが分かります。(図15)

また、「新たに行いたい活動がある」と答えた131人に対して、地域活動を行っていくために最も重要と思う事を尋ねると、「活動情報の提供」が26.2%、「仲間づくりの機会」が24.5%、「地域活動に関する学習機会の提供」12.4%、「相談窓口の充実」が7.2%の順になっています。(図20)

2. レイカディア大学から受けた影響

① 8割以上が在学中に仲間との交流、信頼関係、協力関係、生きがい感等を得る

2年間の在学中において、「共に学ぶ仲間と交流できたか」、「信頼関係を築けたか」、「協力しながら学習ができたか」、「同じ目標・目的を持つ仲間と出会えたか」、「生きがい感を得られたか」について尋ねると、「とてもそう思う」と「ややそう思う」を合わせた合計は、全体の約9割を占めています。(図21)

本学のカリキュラムは、単なる受動的な「受講」に終始することなく、学科別の小グループである「クラス」(20～30人)を単位とした能動的な「クラス内活動」に大きな重点を置いています。具体的には、選択講座の一部授業や大学祭、地域活動体験学習、ボランティアの日、ニュースポート大会、課題学習などの進め方は、クラスの仲間と共に情報を共有・学習し、話し合いによる企画・立案、そして実施に向けて役割分担しながら力を合せて皆で精一杯に取り組み活動に移すという仲間との協調や協働などが不可欠となります。そして、それらを経て、結果的にクラスの仲間と共に大きな達成感や連帯感、相互信頼感などを味わうことができます。このような2年間にわたって繰り返される「クラス内活動」などを通してはじめて、仲間との交流や信頼関係、協力関係、生きがい感が得られたのではないかと考えられます。

② 在学する2年間で地域活動に対する意欲・関心が高まる

入学前と卒業後の地域活動に対する意欲や関心の変化について尋ねると、全体の69.4%が「意欲・関心が高まった」と回答しています。概ね10人のうち7人が地域活動に対する意欲や関心を高めたことになります。(図27)

本学の設置趣旨である地域の担い手を養成するカリキュラム、そして、その中に内包されている「クラス内活動」などを通して、地域活動に対する意欲や関心が高められたものと考えられます。

③ 在学中の良好な「仲間との交流や信頼関係等」〔上記①〕が「地域活動への意欲・関心」〔上記②〕を高める

在学中において、「本学で仲間と交流することができたか」の設問に対し「とてもそう思う」と答えた271人のうち、「地域活動に対する意欲・関心が高まった」と回答したのは209人、77.1%で高い割合を示しており、本学で仲間と交流できた8割弱の卒業生が、同時に、地域活動に対する意欲・関心を高めたことがわかります。

また、「本学で仲間と信頼関係を築くことができたか」においても「とてもそう思う」と答えた203人のうち、「地域活動に対する意欲・関心が高まった」と回答したのは163人、80.3%であり、本学で仲間と信頼関係を築けた8割の卒業生が、同時に、地域活動に対する意欲・関心を高めたことがわかります。

同じく、「本学で仲間と協力し共に学ぶことができたか」において「とてもそう思う」と答えた233人のうち、「地域活動に対する意欲・関心が高まった」と回答したのは183人、78.5%であり、本学で仲間と協力し共に学ぶことができた8割弱の卒業生が、同時に、地域活動に対する意欲・関心を高めたことがわかります。

さらに、「本学で同じ目標・目的を持つ人と出会えたか」においても、「とてもそう思う」と答えた152人のうち、「地域活動に対する意欲・関心が高まった」と回答したのは123人、80.9%であり、本学で同じ目標・目的を持つ人と出会えた8割の卒業生が、同時に、地域活動に対する意欲・関心を高めたことがわかります。

最後に、「入学して生きがい感を得ることができたか」において「とてもそう思う」と答えた163人のうち、「地域活動に対する意欲・関心が高まった」と回答したのは、136人、83.4%であり、入学して生きがい感を得ることができた8割以上の卒業生が、同時に、地域活動に対する意欲・関心を高めたことがわかります。(図28～32)

これらのことから、在学中に「仲間との交流」や「信頼関係」等を良好に築けた人(全体の8～9割)は、卒業時に「地域活動への意欲・関心」の度合いがより一層高まっていることが分かりました。在学中の仲間との良好な交流や信頼関係等が、卒業時の地域活動に対する意欲・関心、やる気、といったものを強く喚起しているといえます。

④ 必修講座、選択講座、課題学習、地域活動体験学習等が「地域活動への意欲・関心」を高める

レイカディア大学のカリキュラムの中で、地域活動に対する意欲・関心を高めたと思う学習内容については、「選択講座」が 20.0%と最多であり、次いで「課題学習」が 17.4%、「地域活動体験学習」が 15.0%、「必修講座」が 14.5%の順になっています。(図 33)

カリキュラムの分類上からは「必修講座」、「選択講座」、「課題学習」等といった区分になりますが、上記①で述べたように、これらの学習を進める過程にある「クラス内活動」によって、仲間と共に大きな達成感や連帯感、相互信頼感などを得られることが地域活動への意欲・関心を高めていると考えられます。

3. 地域課題の把握・取り組み

① 地域課題を幅広く把握し、卒業生の約6割強がそれを解決しようと取り組んでいる

居住している地域で課題や問題点があると答えた割合は、前回調査より 10.9 ポイント減少し 70.8%となっています。多くの卒業生が地域の課題や問題点を把握していることがわかります。(図 34)

続いて、「それはどのような内容ですか」と、地域に課題や問題点がある」と答えた人を対象として、その具体的な内容を尋ねると、「希薄な地域のつながり」が最も多く 18.2%、次いで「独居老人の見守り」16.3%、「老々介護」12.1%、「地域の魅力・発信力」10.1%、「地域文化の継承」9.0%、「防災」6.2%、「子供の見守り」5.6%の順になります。(図 35)

さらに、「課題や問題点を解決する取り組みをしていますか、あるいはしようと思っていますか」と、同様に地域に課題や問題点がある」と考える人を対象に「地域の課題・問題を解決しようとする取り組みを行っているか」と尋ねると、「はい(行っている)」と回答したのは全体の 65.4%であり、前回調査と比較して 5.5 ポイント増加しています。(図 36) その具体的な取組内容として挙げられたのは、医療福祉の充実、花壇の管理、獣害対策、空家の放置・放棄、高齢者のIT技術、高齢化が進む中でのリーダーシップが発揮できる人材育成、高齢化社会、少子化、自治会のイベントに皆が楽しく参加できることなどでした。

最後に、「お住まいの地域で活動をするために、県社会福祉協議会に対してどのような支援を希望しますか」と尋ねると、「地域ボランティアリーダーと話し合う場を設け、本音(問題や課題)を聴き出し、そこに対策を打ち改善することを望む」や、「リーダーシップを発揮し各事業を展開することが大切と思う」、「達成感、成功感を持たせることが大事」、「with コロナの時、少人数で活動する」、「新たにテレワーク、楽

しませ方交流の様子を広報してほしい」など多数の意見がありました。

4. コロナ禍による影響

① コロナ禍の影響で普段の活動が大幅に制限される

2020 年 3 月以降のコロナ禍においては、卒業生の地域活動にも大きな影響が出たものと思われることから、今回の調査では、「ウイズコロナ、アフターコロナ」時代における地域活動の課題等について質問しました。「普段の地域活動において、コロナ禍の影響がある」と答えたのが 76.0%となっており、コロナ禍により普段の地域活動において活動制限等の影響が大きかったことがうかがえます。(図 37)

また、「地域活動の実施(参加)にあたって、特に注意された点はどのようなことですか」との質問に対しては、コロナ禍のルールである選択肢の中で、上位のものから、マスク着用 29.3%、三密回避 22.7%、自身の健康管理など 15.7%、消毒の徹底 12.1%、不特定多数が集まる場所には参加しない。6.9%、不要な外出を控える 6.1%という結果になりました。高齢者が活動に参加する際には、高い意識を持って行動をしていることが分かりました。(図 38)

さらに、「ウイズコロナ、アフターコロナ」時代における地域活動に対する意識は、「感染対策をしっかりと活動する」が 60.9%で、「コロナ禍が収まるまで活動はあまりしたくない(しない)」が 25.1%と、合計 86.0%の人がコロナ禍を意識した対応をしています。(図 39)

〔２〕市町社会福祉協議会の回答から見てきたこと

１．レイカディア大学の存在の認知

① 約９割の市町社協には卒業生の活動が知られている

「各市町で卒業生が活躍していると思うか」との設問に対して、回答のあった 17 市町社協のうち、15 社協が「(大変) 活躍している」(88.2%) と回答しています。(図 40)

前回調査に比べ、市町社協にレイカディア大学卒業生の活動認知度が向上していることが分かります。(前回調査 78.6%)

② 卒業生を活用したことがある市町社協は約７割となり増加している

回答のあった 17 市町社協のうち「卒業生を活用したことがあるか」との問いに「ある」と答えたのは 12 社協 (70.6%) であり (図 41)、活用しなかった 4 市町社協に理由を問うと「参加・協力を呼びかける事業等がなかった」等の回答がありました (図 42)。

前回調査に比べ、レイカディア大学卒業生の活躍の機会が増加していることがうかがえます。(前回調査 57.1%)

２．高齢者に期待する活動

① さまざまな分野での活動が期待されている

高齢者に積極的に行って欲しい活動がさまざまな分野に広がり、特に「高齢者の福祉活動」と「地域の役員、区社協、福祉委員、子ども会等の活動」が多く、「災害時のボランティア活動」、「子育て支援」等が続いています。(図 43)

市町社協からは、レイカディア大学卒業生をはじめ高齢者にさまざまな分野での活動が期待されていることがうかがえます。

３．コロナ禍のボランティア活動への影響

① 回答のあった全ての市町社協がコロナ禍の影響を受けている

ボランティア活動の受入れ自粛等により、ボランティアの方は活動意識が低下したり、消極的な考え方にとらわれたりしており、また、活動団体の解散や登録取り消し、高齢者居場所活動の停止、休止など、コロナ禍により大きな影響が出ています。

このような中、各市町社協では、コロナ感染予防の「3密回避の運営」、「マスク着用の徹底」などを順守するとともに、これまで以上にボランティアの方に寄り添い、丁寧な関わりを心掛けていくよう、モチベーションの維持など、さまざまな観点からボランティアの方への支援に努めていることが分かります。

要 約

本調査は、本学卒業生の活動状況ならびに活動についての意識等を調査するとともに、市町社協における卒業生の活用状況や活動ニーズを調査することによって、卒業生の地域活動をさらに推進するための支援策検討のための基礎資料とすることなどを目的に実施しました。

その結果、前回調査（平成 27 年度実施）と比較すると 2.6 ポイントの低下が見られるものの、卒業生の約 9 割が何らかの地域活動に取り組み、活動を通して充実感を自覚するなど自身の「生きがい」にもつながっている状況が確認できました。また、活動内容の主流は、以前の「趣味のサークル・団体」から「環境保全」「福祉」へと変化していることも明らかになりました。

さらに、レイカディア大学の学生は、在学期間の 2 年間で取り組む授業やクラス内活動等を通して、「仲間との交流や信頼関係、協力関係、生きがい感等」を培い、それらが卒業後の地域活動に対する意欲や関心を高めているという関連性も明らかになりました。このようにして培われた意欲、関心、充実感等が原動力となって、それぞれの地域で活動が精力的に展開されているものと考えられます。

一方、調査期間中がコロナ禍の最中であったため、活動の実施状況や方法、意欲の面などにおいて、大変大きな影響を及ぼしていることが明らかになりました。しかし、その中でも、このコロナ禍に対応していこうという前向きな意見も数多く確認することができました。

最後に、本報告書を通して、多くのレイカディア大学卒業生がそれぞれの地域でさまざまな活動を実践している姿を各方面に適切に伝えていくこと、そしてその活躍する姿を知りそれらの活動がさらに広がっていくことを期待します。

引用資料

『平成 27 年度滋賀県レイカディア大学卒業生活動状況等調査報告書』〔前回調査〕
社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会

資 料

- 〔問 3-(2)〕 卒業生が行っている地域活動の具体的内容
(居住地別一覧)
- 調査票 (1 卒業生 2 市町社会福祉協議会)

【問3-2】地域活動の具体的内容（居住地別）（複数回答）

居住地	活動地域	団体名等	主な活動場所	回数	活動内容・特色等
大津市	大津市	OB小学校応援活動	東小学校	月1-2回	花壇の手入れ
	大津市	竜が丘西自治会		年4回	自治会内清掃他
	草津市	レイ大サポートの会事業企画部会	レイ大、大津市内、草津市内	年2-3回	大学祭手伝い、学生募集協力
	県域又は市町をまたぐ	グランドゴルフOB会	矢橋・野洲川	月2回	グランドゴルフ練習
	大津市	健康推進協議会	市民センター	月1回	ふれあい弁当作り、みんなの食堂（子ども食堂）、ストレッチ体操等
	大津市	美崎自治会	自治会館	月1-2回	草刈、バトロールなど
	大津市	「龍谷の森」里山保全グループ	龍谷大学瀬田キャンパス里山林	月2回	雑木払い、草刈り、枝整備、薪作り 道普請などの里山保全活動
	大津市	自治会	家の周辺	年2-3回	除草の草刈り
	大津市	レイ大同窓会 大津支部	市内小学校 瀬田東、南郷、青山	月1-2回	清掃作業
	大津市	同窓会大津支部	建部大社、小学校美化、図書整理	月2回	剪定、清掃、整理
	大津市	ハーモニカクラブ	デイサービス	月1回	音楽
	大津市	大津市公園緑地協会	大津市の公共施設、福祉施設	月1回	花壇づくり、樹木の剪定
	大津市	森の同音	瀬田文化公園	月2回	里山作り
	大津市	百町物語	なかまち商店街	月4回	野菜販売
	大津市		瀬田北小学校近く	月3-4回	児童の帰校時見守り
	大津市	（レイ大同窓会）レイカ大津 地域活動部会	大津市全域 市立小学校	月2-3回	校庭美化作業
	大津市	ディサービスセンター「みちくさ」	同所	月2回	現在コロナウイルスの為活動中止中
	大津市	自治会	町内	月5回	自治会活動
	大津市	牛乳パック再成グループ	明日都5F	月2回	牛乳パックで小物作り、売上金は 公共機関に寄附
	大津市	大津市公園緑地協会	J R大津駅前、なぎさ公園	月3回	花壇の植栽・メンテナンス、行事への 参加協力
	大津市	瀬田地域青年学級	瀬田・東公民館、中西家行事 行先等	月1回	行事補助
	大津市	よし笛&ギターデュオ「湖風音」	ディサービス等高齢者施設	休止中	よし笛とギターによる演奏
	京都市、大阪府、大津市	よし笛「湖風音」	病院、高齢者施設 e t c	年100回以上	音楽ボランティア
	大津市	楽陶会	大津市民会館	月1回	作陶
	大津市	石山観光協会	石山寺	要請時	お客さんに石山寺の案内
	草津市	草津校サポートの会	長寿社会福祉センター	月2-3回	
	大津市	牟礼山森林クラブ	牟礼山	月3回	竹・枯木伐採、草刈り
	草津市	園芸クラブ	レイカディア大学（老人長寿福祉センター）	月1回	剪定作業他
	長浜市	山門水源の森	山門水源の森	週1-2回	希少植物の管理（絶滅危惧種など）
	守山市	ENG39A	びわこ地球市民の森	月1回	前定、間ばつ、他
	大津市	レイカ石山区	石山小学校	年1-2回	剪定作業
	大津市	レイカディア大学同窓会大津支部	大津市湖西地区小学校	年15回	剪定作業他
	守山市	森づくりサポーター	びわこ地球市民の森	月1回	森づくり活動（剪定・除草、イベン ト・保全作業など）
	大津市			不定期	園芸作業
	大津市	環境整備グループつくし会	町内多目的広場	都度	花壇の維持
	大津市	森の風音	びわこ文化公園	月2回	間伐、剪定作業、他
	大津市	森クラブ	森町内	月10-15日	春・秋の花植え、水やり（当番制） 役員としての打ち合わせ・事前準備
	大津市	森の風音	文化ゾーン	月2回	森の整備
	大津市	大津楽陶会	大津公民館	月2回	陶芸
	大津市	マンション管理組合	マンション内	月1回	会議等
	大津市	森の風音	びわこ文化公園、西公園	月2回	里山の整備等、草刈り等
	大津市	個人登録	県、障害福祉センター	年5-6回	イベントや大会など障害者サポート 及び準備（今年はほとんど中止）
	草津市	レイカサポートの会		月2回	現在は会合のみ
	大津市	大江東自治会	瀬田学区全体、公民館	月1回	防災士として地域防災活
	草津市	滋賀県立障害者福祉センター	滋賀県立障害者福祉センター	月1回	障害者各種スポーツにおける支援

【問3-2】地域活動の具体的内容（居住地別）（複数回答）

居住地	活動地域	団体名等	主な活動場所	回数	活動内容・特色等
大津市	大津市	自治会	町内 河川、墓地	年4回	河川清掃、草刈り、清掃
	大津市		公民館	月8回	
	草津市	レイ大サポートの会、園芸クラブ	レイ大敷地内	月1回	剪定等作業
	草津市	サポートの会	レイ大	月2-3回	三役会議、役員調整会議
	大津市	レイカ大津支部地域活動図書整理グループ	瀬田南小学校	月3回	図書室の書棚、本の整理
	大津市		近所と山科	毎日	タバコスイガラゴミヒライ
	守山市	森づくり	地球市民の森	月1回	草抜、剪定
	大津市	ふれあいサロン	自治会館	月1回	花壇作り
	守山市	森づくりサポーター	びわこ地球市民の森	月1回	森の間伐、枝落とし他
	大津市	大津市生涯学習センターボランティア連絡協議会チャオ	科学館	月4-5回	科学館受付、案内、定例会
	大津市	陶遊会（レイカディア大卒業生40期）	大津市生涯学習センター	年4回	陶芸
		手話サークルたけのこ	公民館	月4回	手話の勉強
	守山市		地球市民の森	月1回	森の維持
	大津市		知的障害者通所施設	月4回	陶芸指導
	草津市	レイ大サポートの会	レイカディア大学	月1回	剪定作業、他
	大津市	レイカディア大学大津同窓会	瀬田南小学校	月2回	図書室管理
	大津市	青少年育成学区民会議	公民館	週2回	見守り活動、青少年育成に関する啓発活動
	大津市	森の風音	びわ湖文化ゾーン公園	月2回	剪定・植栽
	大津市	レイ大大津支部瀬田	瀬田北幼	月1回	剪定作業
	大津市	竜が丘西自治会	竜が丘保育園	月4回	園児安全誘導
	草津市	NPO法人よりそいネットワーク	多文化子供食堂	年3-4回	子供食堂
	草津市	サポート隊、自主講座、部会	レイカディア学内	月1回	月例会
	大津市	自治会役員	市民センター	年5回	人権生涯推進
	大津市	レイ大同窓会大津支部	小学校	月2回	図書整理
	大津市	YORISOInetwork	びわこ文化公園	月1回	公共施設の樹木の剪定、雑草駆除、清掃など
	大津市	長等陶遊会	長等三橋記念館	月3-4回	陶芸
	草津市	トライアングル	障害者センター	月4回	障害者卓球指導
	大津市	ダンボの会	老人施設	月1回	傾聴
	大津市	レイ大同窓会大津支部	市内小学校	月1-2回	校内美化活動、剪定・除草etc
	守山市	L B K	地球市民の森	月1回	森作り
	大津市	平野学区まちづくり協議会	平野学区内	不定期	広報
	草津市	サポート隊	大学内研修室	月2回程度	コロナの影響で活動中止中
	大津市	古都おおつ 観光ボランティアガイド	大津市全域の観光名所	月2-3回	ツアーガイドがメイン
	守山市	39期園芸A	びわこ地球市民の森	月1回	伐採、草刈
	大津市	レイカディア大津同窓会	平野小学校	月1-2回	図書整理、美化活動
	草津市	レイカディア大学	レイカディア大学	月1回	サポートの会、自主講座部会
	草津市	よしの風音325	草津社会福祉協議会紹介先等	月2回	よし笛演奏
	大津市	レイカディア大学園芸クラブ	レイカディア大学	月1回	草引き、剪定作業
	大津市	びわこ大津観光協会	大津市内の観光地	月2回	お客さんに大津市内の名所案内
	大津市	同窓会大津支部	市内小学校、競技場他	月1回	剪定作業、スポーツボランティア
	大津市	NPO青山まちづくりネットワーク	青山ブロムナード	月2回	草取り、まちづくり役場駐在
	守山市	39期園芸Aのボランティア（地球市民の森）	地球市民の森	月1回	剪定作業、間伐・業事に参加など
	大津市	レイカディア大学同窓会大津支部	琵琶湖湖西地区湖岸	年間2回	ヨシ狩り
	草津市	よしの風音325	草津市社会福祉協議会	月2回	よし笛演奏
	守山市	L B K 39	びわこ地球市民の森	月1回	間伐、剪定作業、他
	大津市	森クラブ	森町会館（内）、神社、公園清掃	月3回	自治会、交流会（会食）、講演会、手芸（料理教室）（納涼祭）清掃
	大津市	防犯	大津東学区	月2回	パトロール
	大津市	陶遊会	三橋記念館	月1回	陶芸
	草津市	園芸クラブ	レイカディア大学	月1回	剪定、草めき作業

【問3-2】地域活動の具体的内容（居住地別）（複数回答）

居住地	活動地域	団体名等	主な活動場所	回数	活動内容・特色等
大津市	大津市	サポートの会	レイカディア大学	年2-3回	野外サポート
	守山市	森の健康40	びわこ地球市民の森	月1回	森の間伐・整備等
		サポートの会	レイ大	月2-4回	陶芸学科42期生選択授業助手
	守山市	森の健康40	びわこ地球市民の森	月1回	森の手入れ、間伐、下枝切り、除草等
	大津市	農業組合	町内の県道、市道	年1-2回	法面の草刈り
	大津市	大津地域OB会	石山、田上地域	年5-6回	剪定等作業他
	大津市	同窓会大津支部	大津市生涯学習センター	月3-4回	執行役員会、役員会イベント
	草津市	レイカディア大学サポートの会	長寿社会福祉センター	月3回	サポートの会活動全般、総務担当
	草津市	園芸クラブ	レイカ大学	月1回	草抜、剪定
	大津市	ちりめん細工	瀬田東公民館	月1回	作品づくり
	草津市	サポートの会 自主講座部会	レイカディア大学	月1回	在学生と卒業生の交流活動
	守山市	びわこ地球市民の森ボランティア	守山びわこ地球市民の森	月2回	間伐など
	大津市	ボランティアチャオ（装飾）	大津市生涯学習センター	年3回定例+α	生涯学習センター内の装飾
	草津市	園芸クラブ	レイカディア大学	月7-8回	学校の樹木の手入れ
	大津市	レイ大同窓会	小学校、他	年数回	剪定作業、他
	大津市	レイカディア大学大津同窓会	瀬田学区、幼稚園、小学校	月3回	剪定作業
	守山市	江州吟詩会	守山会館	月3回	レイ大淡海詩吟クラブOB、OG構成20名程度
	大津市	レイ大大津支部瀬田	瀬田南小	月1回	剪定作業
	大津市	おやじのたまり場		年4回	大津市観光ボランティア
	草津市	NPO法人よりそいネットワーク	県立文化公園	年3-4回	剪定作業、竹林整備
	大津市	おやじのたまり場	サロン	月2回	月例会+その他
	大津市	レイ大同窓会大津支部	晴嵐小学校	月10回	コロナ感染防止対策教室の机椅子窓等の消毒を行う
	大津市	おやじのたまり場、英会話サークル等	明日都など	月5回	英会話、パソコン、ウォーキング
	草津市	にぎやか塾	社会福祉法人「にぎやか塾」	月2回	野菜作り、草刈、剪定、花壇作りなど環境整備と塾生との交流
	草津市	アットマーク	障害者センター	月4回	障害者テニス指導
	県域又は市町をまたぐ	県立博物館はしかけ活動「水とくらし」研究会	県下全域	月2回	水とくらし実態調査
	大津市	NPO法人いいね大津	大津市全域	月1回	大津の案内
	大津市	衣川台 自主防災部	衣川台 自治会内	月2-3回	情報班、パトロール、防災訓練計画と実施
	大津市	レイ大同窓会大津支部	小学校等	月2回	剪定
	守山市	39期園芸	地域市民の森	月1回	草引き、剪定作業
	大津市	牧八幡神社	牧八幡神社	月3-4回	牧八幡神社の清掃と行事執行
	大津市	鐘華会滋賀支部	工場、近隣の山々	月1回	会員の親睦・山歩き
	彦根市	海浜植物守りたい	新海浜	月2回	絶滅危惧種の保護、外来植物の駆除
	大津市	個人	大津赤十字病医院	年2-3回	朝顔苗の提供、七夕の笹かざり提供
	草津市	レイカディア大学サポート隊	レイカディア大学	月1回	月例定例会（自主講座、只今休止中）
	大津市	同窓会（レイ大）	淡海ネットワークセンター	月2-3回	広報活動
	大津市	レイカ同窓会大津支部	おごと湖畔	年1回	ヨシ刈り
	大津市	陶遊40期会	生涯学習センター（膳所）	年3回定例+α	陶芸活動
	大津市	レイ大同窓会大津支部	幼稚園、小学校	年4-5回	美化活動
	大津市	大津地域OB会	瀬田地域、瀬田東小学校	年6-7回	5、6年生家庭科授業応援
	県域又は市町をまたぐ	滋賀骨髓献血の和を広げる会	献血会場	月5-6回	骨髓バンクの説明員としてドナー登録会
	草津市	レイカディアサポートの会	レイカディア大学	月1回	会議
	草津市	レイカディア大学サポートの会	草津レイカディア大学	月1-2回	シニアの学び舎発行
	大津市	びわこ文化公園サポーター	びわこ文化公園	週1-2回	落ち葉の掃除
	大津市	淡浜会	浜街道	月1回	スクールガード
	大津市	レイ大同窓会大津支部	大津市生涯学習センター	月1-2回	
	大津市	レイ大大津支部瀬田	建部大社	月1回	剪定作業
	草津市	レイカディア大		月2回	

【問3-2】地域活動の具体的内容（居住地別）（複数回答）

居住地	活動地域	団体名等	主な活動場所	回数	活動内容・特色等
大津市	大津市	レイ大同窓会大津支部	大津市内小学校幼稚園	年5回	小学校応援活動、同窓会役員
	草津市	コスモス	南笠東まちづくり	月5回	テニスでのまちづくり
	大津市	NPOおおつ環境フォーラム	明日都	不定期	地球温暖化防止運動、脱炭素社会の構築
	守山市	L B K 3 9	びわこ地球市民の森	月1回	間伐作業
	草津市	レイ大サポートの会 園芸クラブ	レイ大	月1回	剪定、草刈
	守山市	L B K 3 9	地球市民の森	月1回	間伐作業
	大津市	個人	大津赤十字看護学校	年3-4回	花苗の提供、寄せ植え作成など
	大津市	子供食堂	田上市民センター	休止中	休止中
	大津市	大津地域OB会	石山、田上地域	年1回	伝承遊び等の応援
	大津市	大津市生涯学習センターボランティア協議会（チャオ）	大津市生涯学習センター	月3-4回	環境部会に所属、花だんなどの植栽水やり、イベントの開催
	大津市	大津市介護家族要介護者を支える会	大津市社協平野市民センター	月2回	定例会、サロン
	大津市	淡浜会	貴船神社前公園他	月1回	除草
	草津市	サポートの会	レイ大草津校	月1-2回	
	大津市	レイカ大津	瀬田南小	月2回	図書整理
	大津市	ふれあいクラブ	自治会館	月1回	老人会集
	大津市	田上保育園サポート	田上保育園	休止中	休止中
	大津市	大津祭長柄衆	大津祭曳山展示館	月1-4回	大津祭の運営支援、まちなか大学の運営支援、長柄衆の集い
	大津市	グリーンボランティアグループ（GVG）	自治会館	月3-4回	ふれあいサロン喫茶オアシスの開催見守り、お手伝い活動、世話役会

草津市	大津市	ちくちく	大津公会堂	月1回	手芸
	草津市	社会福祉協議会	町内	月2回	高齢者福祉
	草津市	草津おはなし研究会	図書館、保・幼、小学校他	週1回程度	おはなし会を開く
	守山市	はなの38クラブ	地球市民の森	月1回	木の伐採、さくらの根本の手入れ
	草津市	公園サポーター	ロクハ公園	月1回	花壇の整備
	草津市	地域サロンを応援する会 一心たすけ	草津市内の地域サロン	不定期	サロンに出向き、ゲーム、工作、歌他を提供
	草津市	岡本町老人クラブ	神社及びGG場	月1回	除草作業及び剪定作業
	草津市	ひのきクラブ	小学生登下校通路	月4回	下校時見守り
	草津市	自主防災会	団地内	年2回	防災訓練
	草津市	野村南町地域サロンアピオ	野村南町集会所	月4-5回	100歳体操・お口の体操
	草津市	桜プロジェクト	町内	月1回	環境保全 e t c
	守山市	花の38園芸	地球市民の森	月1回	
	大津市	医大ボランティア	院内図書室	月3回	入院 P t、家族・つきそいの方々への貸出し返却の取り扱い
	草津市	こすもす	夢本陣	月1回	若竹作業所の束の作り
	県域又は市町をまたぐ	老人クラブ	新宮神社	月1回	清掃
	草津市	片岡町老人クラブ	学童見送り	週1回	交差点で学童見守り
	県域又は市町をまたぐ	骨髓バンク	市役所、立命館 B K C、イオンモール草津献血ルーム	月4回	献血会場で骨髓バンクドナー登録者を呼びかけ
	大津市	牟礼山森林クラブ	牟礼山周辺	月3回	伐採、除草作業
	草津市	シルバー人材センター	個人住宅等	月10-15回	剪定作業
	草津市	草津市駒井沢町町内会	公民館	月1回程度	代議員
	草津市	第二町内会 新屋敷	大路公民館	年7-8回	清掃、草引き、町内の行事運営、子供達への支援、地域の防災 e t c
	草津市	まちづくり協議会	草津市志津地区	月1-2回	地区行事の手つだい
	草津市	草津学区社会福祉協議会「ゆかい家」	「ゆかい家」	月7回	ランチ提供補助、パソコンによる資料作成
	守山市	L B K 3 9（レイ大39期びわ湖環境学科OB）	守山市びわこ地球市民の森	月1回	「市民の森」の保全、間伐、枝打ち雑草刈他
	草津市	自治会、小学校	通学路	登校日	小学生の下校見守り
	大津市	牟礼山森林クラブ	牟礼山	月2回	整備作業

【問3-2】地域活動の具体的内容（居住地別）（複数回答）

居住地	活動地域	団体名等	主な活動場所	回数	活動内容・特色等
草津市	草津市	グラッシー関連	d e 愛ひろば、南草津駅西口	月2回	花壇の手入
	大津市		文化ゾーン	月3-4回	公園美化作業
	守山市	L B K 3 9 森づくりサポーター	びわ湖地球市民の森	月1回	びわこ地球市民の森の整備
	大津市	森の風音	ビワコ文化公園	月2回	草刈他
	大津市	森の風音	びわこ文化公園	月2回	環境保全
	草津市	草津塾	葉山川、笠縫東小他	月2回	川河清掃、校外授業
	草津市	キャンデー	南笠公民館	月1回	パン、菓子作り
	草津市	環境美化ボランティア	志津南若草 各公園・緑道他	月1回	下草刈、剪定作業、花壇整備作業
	草津市	ふるさと〇川 民具を照らす会	自治会館他	月1回	民具の勉強、老人会等での回想録等
	草津市	草津市観光ボランティアガイド協会	市内	随時	観光案内、街かど当番（ごみ拾い
	草津市	観光ボランティアガイド	草津市内	随時	ツアーガイド、観光地清掃
	草津市	草津塾	笠縫東小学校	年10回	校外学習支援
	草津市	楽々サークル	青地第2町会議所	月4回	百才体操、梅干しの歌体操 コーヒー茶話
	草津市	レイ大サポートの会	レイ大	月2回	自主活動部会
	草津市	公園サポーター	ロクハ公園	月1回	花だん整備
	東近江市	ちくちく	図書館	月1回	手芸
	草津市	民生委員	町内	月2回	高齢者訪問、子育て支援
	草津市	障害者福祉センター	センター	年4回	生け花等アシスタント
	草津市	レイカディア大学運営支援	レイカディア大学	月1回	自主講座部会
	草津市	α工房くさつ	草津市社会福祉協議会内の活動室	月4回	身体障害者向けの自助具の作成
	草津市	岡本町いきいきサロン	自治会館	月1回	高齢者主体のサロン、百才体操 及び喫茶
	草津市	小供食堂	多文化共生支援センター	月1回	小供達の交流支援
	草津市	自主防災会	団地内	年4回	会合
	草津市	草津社会福祉（協）	社会福祉協議会	月2-3回	送迎ボランティア
	草津市		水ノ森	月2回	
	草津市	おたまじゃくし手話サークル	矢倉まちづくりセンター	月2回	聴覚障害者と一緒に小・中学校手話 教室、地域交流など手話の勉強
	栗東市	レイ大同窓会地域福祉	デイサービス所6ヶ所	月1回	傾聴、コロナで休止中
	草津市	片岡町老人クラブ	町内会議所	月1回	役員会議
	彦根市	海浜植物守りたい	新海浜、他	月2回	希少植物の保護（除草）
	草津市	園芸サポート	レイカディア大学	月1回	清掃剪定作業
	草津市	花壇チーム ロクハ公園	ロクハ公園	月1回	花壇の年間運営管理
	草津市	町内会	岡本町内	月10回	町内の雑用、市・まちづくりの下請
	草津市	サポートの会、広報情報部会	長寿社会福祉センター内	月1回	編集会議及び取材
	草津市	桜プロジェクト	桜ヶ丘地区	月1回	樹木の剪定、メイン道路・公園 ・他清掃
	草津市	あさひこども園	あさひ保育園	年5回	理事会、監査
	彦根市	海浜植物守りたい	新海浜	月2回	整備作業
	守山市	L B K 3 9	びわこ地球市民の森	月1回	代採、剪定
	草津市		ロクハ公園	月1回	公園緑化
	大津市	公園サポーター	ビワコ文化公園	月2回	薪割他
	大津市		滋賀医大図書室	週1回	図書の貸出等
	草津市	個人	南笠町周辺		ゴミひろい
	草津市	ロクハ花ボランティア	ロクハ公園	月2回	花植込、除草、他花壇整備
	草津市	草津観光ボランティア協会	草津市内	月1回	観光ボランティア
	草津市	レイカ事業部会	レイカディア大学	随時	
	大津市	布絵本「さえずり」	県立長寿社会福祉センター	月2回	布絵本製作、貸出し、講演
	草津市	草津塾	葉山川	月1回	河川清掃
	草津市	楽々サークル	青地第2町会議所	年2-3回	滋賀県長寿について講演、地域歴史 紙芝居
	大津市	滋賀医大病院図書ボランティア	滋賀医大病院	月2回	図書ボランティア
	草津市	老人会	マンション集会室	毎週1回	100歳体操他
	草津市	町内会	町内	月2回	地域行事の参加、防犯パトロール
	草津市	YORISOInetwork	文化公園	月1回	剪定作業

【問3-2】地域活動の具体的内容（居住地別）（複数回答）

居住地	活動地域	団体名等	主な活動場所	回数	活動内容・特色等
草津市	栗東市	茶道教室	栗東市内の学童	夏休み	夏休み中、学童の茶道教室の指導
	守山市	花の38会	びわこ地球市民の森	月1回	森づくりサポーター活動
	草津市	にぎやかPJ	にぎやか塾	月2回	耕作放棄地の保全
	草津市	観光ボランティア			コロナ禍で活動自粛（退会した）
	草津市	福祉管理委員	野村南町集会所	月10-12回	各種5サークル管理
	草津市		スクールガード	月2回	
	草津市	サポート隊	レイ大		自主講座部（コロナで活動中止中
	草津市	NPO YORISOI	子ども食堂	月数回	子ども食堂（子ども達と遊びものの作り 作品作り）、畑、コロナで休止中
	草津市	草津市サポート隊 地域活動 部学生会プロジェクト	長寿センター	月2回	
	守山市	LBK39	びわこ地球市民の森	月1回	森づくりサポーター活動、伐採、他
	守山市	地球市民の森39EGA	地球市民の森	月1回	清掃剪定作業
	草津市	レイカ大園芸クラブ	レイカ大構内	月1回	清掃、草引き、樹木の剪定
	大津市	公園サポーター	県立琵琶湖文化公園	週1-2回	植物の世話全般、枯葉清掃
	長浜市	チーム一滴	長浜市掛掛県有林	月2回	県有林保全、間伐、枝打ち、 獣害防止、雑草刈
	草津市	ののみちこども園	ののみち保	年5回	理事会
	守山市		地球市民の森	月1回	剪定作業
	草津市	福祉委員	南笠町	年2回	ほのぼの会
	草津市	草津市観光ボランティア協会	主に草津宿	月1-2回	市内史跡等の案内、清掃（主に草津 宿）
	草津市	サポートの会 地域活動部会	レイ大	月1回	引率
	草津市	レイカPJ学生募集	レイカディア大学	随時	
	大津市	リバーサイド南郷	南郷公民館	月3回	社交ダンス
	草津市	ロクハ公園サポーター	ロクハ公園	月1回	公園内の花壇の手入及び里山の整備
	草津市	ワイガヤ会	広場整備	月1回	草津川河敷の整備グランドゴルフ場 コスモス畑
	守山市	レイカディア38期園芸B	地球市民の森	月1回	剪定・森林作業
	草津市		社会福祉協議会	要請時	（役員で活動）フードバンクの仕分け お昼の食事作りの手伝い
	草津市	片岡町の自然と環境を守る会	片岡町内・周辺	月1回	水路点検、自然観察会e t c
	県域又は 市町をまたぐ	レイカ大サポートの会	レイカ大構内	月1回	後輩の支援、レイカ大課題解決に向 けた支援、講師の助手
	大津市	レイカディア大学OB園芸クラブ	草刈り、セン定	月1回	草刈り、剪定
	彦根市	海浜植物守りたい	彦根市新海浜	月3回	海浜植物の保護活動、雑草刈他
	草津市	教善寺	理事会	年5回	総大
	草津市	レイ大園芸クラブ	レイカディア大学	月1回	構内美化作業
	草津市	若草植物談議	公民館	月1回	草・木について、談話
	草津市	草津市ソフトボール協会	野村グランド他	月1-2回	ソフトボール大会運営、各種大会 審判員
	草津市	町内GGクラブ	町内	週1-2回	
	県域又は 市町をまたぐ	草津・栗東支部同窓会	西一会館	年6回	年間行事の推進、会員への会報配布 年1回琵琶湖の清掃、
	守山市	森づくりサポーター	地球市民の森	月1回	剪定作業

【問3-2】地域活動の具体的内容（居住地別）（複数回答）

居住地	活動地域	団体名等	主な活動場所	回数	活動内容・特色等
栗東市	栗東市	ファザーズくらぶ	栗東市やすらぎ	月1回	当施設内にある喫茶コーナーにおけるコーヒー等の接待
	栗東市	傾聴老人介護支援	シルバーハウス大宝	月2回	傾聴老人介護支援
	栗東市又は市町をまたぐ	自助具製作ボランティアα工房	守山市今市町α工房	月4回	自助具製作、販売、福祉出前活動等
	栗東市	十里自治会	神社、道路	年6回	
	草津市	レイカディア大学サポートの会	大学内	月2-4回	サポートの会の会議、会議関連業務
	栗東市	栗東ファザーズクラブ	やすらぎの家（デイサービス）	月1回	喫茶コーナー手伝い、庭剪定
	栗東市	森林友の会	金勝山林道	年6回	林道整備（枝うち、清掃）
	守山市	レイカリア39期園芸	地球の森	月1回	剪定・しいたけの菌打ち他
	大津市	びわこ文化公園サポート隊	びわこ文化公園	週2回	枯葉清掃、剪定作業
	栗東市	滝南出わくわく健康クラブ	シルバーハウス大宝	週1回	百才体操支援
	栗東市	民生委員	市内	随時	独居高齢者などへの対応他
		滋養骨髓献血の和を広げる会	献血バスの横、大学・市役所等	月2-5回	骨髓バンクへの説明
	栗東市	花園ふれあい花壇	花園交差点附近	月2回	花の水やり、雑草とり
	栗東市	栗東ふぁざーず倶楽部	やすらぎの家、金勝寺、 治田東コミセン	月3回	喫茶サービス、遊歩道整備、例会
	守山市	はなの40	びわこ地球市民の森	月1回	森づくり
	栗東市	栗東市社会福祉協議会	個人宅（ゴミ出し（見守り））	月6回	ゴミ出し（独居老人宅）（見守り）
	栗東市	葉山小学校スクールガード	栗東市内	年6回	地域内における公共施設やその他 子供たちの安全パトロール
	栗東市	S L 同好会	手原S L 公園	月1回	S L の清掃、公園の剪定、清掃
	栗東市又は市町をまたぐ	NPOよりそいネットワーク	守山市（農園）、 文化公園（大津市）	月2-3回	野菜の栽培。子供食堂への提供。 公園、学校等の樹木管理、草刈など
	草津市	印岐志呂神社	印岐志呂神社	年20回	会議、清掃、神事、相談
	栗東市	同窓会、草津・栗東支部	福祉施設等	月1回	傾聴ボランティア
	栗東市	栗東ファザーズクラブ	治田東コミセン	年5-6回	研修会
	栗東市	老人サロン	上砥山公民館	月1回	運営、準備、企画等
	草津市	レイ大園芸クラブ	レイカリアの中庭など剪定作業	月1回	剪定作業
	栗東市	南出自治会	自治会館	月1回	自治活動
	栗東市	ひまわりクラブ	ユミセン治田東	週1回	ノルディックウォーク支援
	栗東市		済生会病院	月4回	院内の案内等
	草津市	レイ大サポートの会	レイ大	月1回	活動打合せ
	栗東市	J A 栗東市旅行サークル	J A 栗東市桃季館	月1回	旅行を自ら企画、計画、実施の幹事
	栗東市	個人	「医療生協にじの家」 栗東市小平井古民家	月1回	子ども食堂、地域の子どもの寺子屋、 勉強、遊び、食事
	草津市	にぎやか塾野菜づくり	社会福祉法人にぎやか塾	月2回	
	栗東市	ボランティア観光ガイド協会	市役所、観光案内所、栗東 市内各所	年20回	定例会ギ、研修会、観光ガイド、 案内所当番
	栗東市	栗東ファザーズクラブ	県内各地	年4回	ウォーキング
	栗東市	子育て支援、小学校スクールガード	金勝小学校通学路	登校日	交通安全見守り
	草津市	レイカディア大学	サポートの会	月1回	合同役員会議
	栗東市	寺の壇下会計	西方寺	年10回	寺の役員
	栗東市	小柿一区自治会	自治会内	月数回	多種
	草津市	レイカディア大学サポートの会	長寿社会福祉センター	月2回	園芸クラブの活動、サポートの会 学科副代表
	守山市	森の健康40	びわこ地球市民の森	月1回	剪定作業他
	守山市	聖山会	守山市民交流館	月2回	日本民謡、三味線の練習
	栗東市	花園シニアクラブ	花園集会所	年5-6回	川で鯉を飼っているメンバーの懇親
	草津市	レイカディア園芸クラブ	レイ大	月1回	剪定、草刈等
	草津市	レイカディア大学	サポートの会地域文化活動部会	休止中	アンケートの取りまとめ他
	栗東市	レイ大同窓会	治田東小美化活動	年1回	校庭美化活動
	草津市	NPO法人 草津健・交クラブ	草津市内	月9回	クラブ運営サポート、会議出席
	栗東市	大宝村絵図の会	笠川公民館	年40回	旧大宝村の昭和30年ごろの生活 風景を絵図に表す。
	栗東市		大宝小学校区内	月1-2回	地域の防犯パトロール
	守山市	守山ホタル会	守山ホタル資料館	年4-5回	河川清掃、ホタル祭応援

【問3-2】地域活動の具体的内容（居住地別）（複数回答）

居住地	活動地域	団体名等	主な活動場所	回数	活動内容・特色等
栗東市	草津市	はしかけグループ	琵琶湖博物館	月2回	課題学習の延長で県内の水と暮らしについて調査中
	栗東市	レイ大同窓会	栗東市介護事業所	月1回	傾聴ボランティア
	草津市	サポートの会	レ大	月2回	地域活動部会、役員会
	栗東市	スクールガード	大宝東小通学路	週3回	通学路の交通安全通学補助
	守山市	L B K 3 9	地球市民の森	月1回	市民の森の緑化管理
	草津市	草津健康クラブ	草津市内	週1回	ノルデックウォーク運営支援
	大津市	びわこ文化公園	びわこ文化公園	週1回	公園環境整備活動
	大津市	レイ大サポートの会	レイ大玄関前	月1回	剪定や除草
	大津市	レイ大同窓会	レイ大授業助手	年5回	授業助手

湖南省	守山市	野球	野洲	月4回	野球の試合、経営
	湖南省	ちょいスポ	総合体育館	月8回	卓球
	湖南省	点訳サークル「昂」	ボランティアセンター	年3回定例 +α	広報こなんと議会だよりを点字に訳す
	湖南省	湖南省介護相談員 高齢福祉課介護係	湖南省介護保険事業者 医療 法人美松会、社福法人八起会 社福法人近江ちよろば会、他	月1-2回	聞き取り等により、利用者の権利 擁護とサービス向上を目的に活動
	守山市	守山観光ボランティア協会		不定	観光案内
	湖南省	野洲川に親しむ会	市内、野洲川	月1回	堤防草刈、ウォーク、川遊び （子ども）支援他
	大津市	個人	社会福祉法人しが夢翔会 ステップ広場「ガル」	随時	草刈り・清掃・整備・植栽手入れ ・管理
	湖南省	下田北区区長	下田北区	月10回	下田区（北区）運営全般
	湖南省	環境保全協議会	市内公園等	不定期	清掃活動・啓発活動
	栗東市	書道	栗東	月3回	書道クラブ
	湖南省	ちょいスポ	野洲川親水公園	年1回	花壇の整備
	湖南省	ふれあい給食	湖南省内	月2回	ひとりぐらしの老人に弁当を届けて 安否確認
	湖南省	やきもの倶楽部 え	じゅらくの里 土の館	月4-5回	やきものを創作
	県域又は 市町をまたぐ			要請時	エンターティメント、歌、朗読、 ボランティア
	湖南省	出前マジック	高齢者施設、サロン、 子ども会他	年4-5回	マジックで笑いと楽しさを届けて います。
	草津市	レイ大サポート園芸クラブ	長寿福祉センター外周り	月1回	草刈り・清掃・植栽手入れ
	湖南省	下田連合区会計	湖南省下田全区	月10回	下田全区運営及び会計
	湖南省	ボーイスカウト	野外全般	月2-3回	活動全般の監理調整
	湖南省	社交ダンス	湖南	月3回	社交ダンスクラブで経営
	湖南省	シルバー人材センター	湖南省菩提寺	月1回	仕事、班長として連絡資料配布
	湖南省	バルーンアートサークル 「こなんっこ」	湖南省内	月2回	市内で行なわれるおまつりの飾りつ けとバルーンアート配布
	湖南省	石小CS	石小内（外）	年3-4回	石小運営理事、石小生に体験活動他 （モチつき、うどん作り体験）
	湖南省	森守会 旧湖南交流会	森北公園（甲西図書館・湖南省市役所前	月1回	植栽手入れ・清掃
	湖南省	下田墓地管理組合理事兼会計	湖南省下田全区	月1回	約500基の墓地 清掃及び会計、 総務全般
	湖南省	災害ボランティアセンター 運営隊	社会福祉センター	月1回	災害時ボランティア統括運営 （マッチング班）
	草津市	レスポ	草津	月4回	ソフトバレークラブ
	甲賀市	里山元気会	甲賀市松尾	月2回	里山保全と保育園児などの里山遊び のスタッフ
	守山市	39期園芸クラス会	地球市民の森（森作りセンターと周辺	月1回	植林の間伐等保全作業・椎茸栽培・
	草津市				広報情報部
	県域又は 市町をまたぐ	災害ボランティア運営	湖南	月2回	災害時のボランティア参加者の取り まとめから運営のグループ活動
	湖南省	北山台グリーンクラブ	北山台区域周辺	月2回	地域周辺の草刈り・清掃、自治会 草刈り機の整備等

【問3-2】地域活動の具体的内容（居住地別）（複数回答）

居住地	活動地域	団体名等	主な活動場所	回数	活動内容・特色等
甲賀市	甲賀市	老人クラブゆうゆう	字内、町内	月1回	ゴミひろい
	甲賀市	夢の学習	生涯学習館	月2-3回	子どもの学習
	甲賀市	自治区ふれあいサロン	公民館	月1回	高齢者とのかわり
	甲賀市	水口町郷土史会	水口中央公民館	毎月2回	歴史研修会、広報誌の発行（年3回）
	甲賀市		水口こどもの森	月1回	ササユリ再生、保全
	甲賀市	写真クラブ	貴生川公民館	月1回	写真の鑑賞・評価
	甲賀市	区長			
	甲賀市	K B C	鹿深台	月2回	除草作業、防犯パトロール、植栽の管理、他
	甲賀市	友遊クラブ	甲南杣川河川敷	月1回	グランドゴルフ
	甲賀市	ニコニコサロン	公民館（自治区）	月1回	区民の交流
	甲賀市	みなくち観光ボランティアガイド部	甲賀市ひとまち街道交流館	不定期	観光案内
	甲賀市	里山元気会	甲賀市水口町松尾		里山保全
	日野町	よりそいクラブ	公民館	月1回	食事
	県域又は市町をまたぐ	近江美知普請	県道沿	年5-6回	草刈り
	甲賀市	個人	遊歩道、草刈り	年3-4回	環境整備
	甲賀市	（有）和野営農組合	甲賀市水口町和野地域	年間160時間	水稲、小麦、大豆の栽培、組合運営
	草津市	公報・情報	レイ大	月1回	公報紙の発行
	甲賀市	自主防災・防犯会	区内全体	年6回	防犯だより
	甲賀市	みのり会	貴生川公民館	月1回	絵画
	甲賀市	つくしんぼ	土山小学校	月1回	クラスの読みきかせ
	甲賀市	日赤奉仕団	公民館	年2回	清掃
	甲賀市	個人	遊歩道	年5-6回	草刈り、道路整備
	甲賀市	市夢の学習	生涯学習館	年2-3回	子どもの学習
	甲賀市	子育て広場 すくすく広場	岩上公民館 o r 岩上保育園	年間12回	毎月第3火曜日に未就園児の交流
	甲賀市	西光寺壇信徒会	西光寺	月1回	方針決定・実行
	甲賀市	人形づくり教室	シルバープラザ水口	月1回	人形づくり
	甲賀市	つくしんぼ	自主練習	月2回	クラスの読みきかせ
	甲賀市	更生婦人女性の会	子供の通り道	月1回	あいさつ運動
	甲賀市	レイカディア大学 湖南甲賀支部同窓会	水口中央公民館活動センター まるーむ	年12回	公共施設ボランティア
	栗東市	優遊クラブ	栗東ボーリングジム	月4回	ボーリング
		レイカディアサポートの会	県社協	月1回	会議

守山市	守山市	自治会	自治会館	年5-6回	子育てサロン、すこやかサロン
	草津市	天井窯	草津市	月8回	陶芸サークル
	守山市	守山市ボランティア観光ガイド協会	さんさん守山及び市内	月1回	研修会運営、ガイド案内
	守山市	自治会	会館	月4回	役員会議
	県域又は市町をまたぐ	レイカディア大学 城郭探訪 OB会	全県	月1回	城郭探訪
	守山市	三宅町誌 編さん委員会	三宅町内	年10回	編さん委員長として主に執筆活動
	守山市	真老会	神社	月2回	神社の清掃
	守山市	守山市ボランティア 観光ガイド協会	守山市内	月2回	観光ガイド
	守山市	見守り隊	小津小学校	月4回	小学1年生の下校に付きそい
	守山市	チューリップ23	福祉施設	不定期	活動サポート
	守山市	川中スクールガード	通学道	月4回	立ち番
	草津市	園芸クラブ レイ大サポートの会	県社協	月1回	役員会参加、剪定作業他
	守山市	少年補導委員		月1回	
	守山市	老人クラブ	地元地域	月2回	お宮様境内清掃
	守山市		地球市民の森	月1回	剪定作業等
	県域又は市町をまたぐ	滋賀大学環境支援士会	小学校	月数回	びわ湖環境森林活動
	守山市	杉江自治会	杉江自治会館	月4-5回	自治会活動、自治会長

【問3-2】地域活動の具体的内容（居住地別）（複数回答）

居住地	活動地域	団体名等	主な活動場所	回数	活動内容・特色等
守山市	守山市	地域新聞	公民館	月2回	記事集め
	守山市	花の40	地球市民の森	月1回	除草作業、剪定作業
	守山市	手話サークルえがお	すこやかセンター	週1回	手話の学習。ろうあ者に対する啓発活動補助。
	守山市	民生委員	公民館	月20回	老人見まもりなど
	守山市	古高みわり隊	古高町公民館	月1回	町内巡回パトロール
	守山市	女性会	自治会館	年6回	自治会行事、親睦
	守山市	ワイワイクラブ	小児医療センター療育部	月1回	ダウン児子守
	大津市	楽陶会	大津市	月4回	陶芸サークル
	守山市	自治会（防犯、防災）	公民館&自治会館	年4回	訓練&会議
	県域又は市町をまたぐ	守山古道研究会	市生涯学習センター	月1回	古道・歴史の調査・研究
	県域又は市町をまたぐ	古道研究会	市内及、古道に関連する市	月1回	道標及古道、筋、現地踏査
	守山市	国際交流協会	公民館	月1回	国際交流の取り組み
	守山市	紙しばい 文化友の会	守山市内	月1回	紙芝居の読み聞かせ
	守山市	環境	公園清掃	月1回	
	守山市	チューリップ23	図書館	月1回	本手直し
	守山市	図書館サポート隊	守山市立図書館	年1回	図書祭り手伝い
	守山市	おとな衆	地元地域	月1回	お宮様大日堂維持清掃
	守山市	木浜営農組合	木浜町自治会館	月4回	運営事務等
	守山市	ボランティアの会“GAG”	守山市内福祉施設etc	月2回	剪定、環境保全
	草津市	レイカディア園芸クラブ	長寿社会福祉センター内	月1回	清掃作業、除草作業、剪定作業
	守山市	図書館サポート隊	市立図書館	月1回	本の修復。
	守山市	子供安全リーダー	小学校付近の交差点	登校日	子供見まもりなど
	守山市	ボランティア部会	各施設	都度	掃除、補助
	守山市	赤十字奉仕団	樹下神社	月1回	神社清掃奉仕
	守山市	同窓会	守山市	月1-2回	理事
	守山市	自治会（まちづくり）	公民館	年4回	会議
	守山市	紙芝居文化の会	市立図書館	月1回	紙芝居文化の探究実演など
	草津市	星目会	草津市 なごみの郷	月4回	囲碁サークル レイ大囲碁部O. B
	守山市	さんさんパソコン同好会	交流センター	月2回	パソコン勉強会
	県域又は市町をまたぐ	地球温暖化防止	公共施設、公共団体	月2回	出前講座、イベントサポート
	守山市	図書館サポート隊	守山市立図書館	月1回	本の修理
	守山市	おとな衆	地元地域	月1回	伝統行事（正月、祭り、勧請吊り佐儀長etc）
	守山市	スクールガード 杉江町	小津小学校通学路	登校日	登校、下校見守り
		王津まるごと活性化プロジェクト	王津学区地域の公民館	月1回	調査中
	守山市	老人クラブ	小学校付近の交差点 自治会館	登校日	子供見まもりなど
	守山市	ホットステーション	会館	月1回	未就園児の親との交流
	草津市	サポート隊	草津市	年数回	自主講座部会
	県域又は市町をまたぐ	レイカディア大学 同窓会 守山野洲支部	コミュニティセンターなど	月1回	理事会
	守山市	GAG	守山市交流センター	月2回	パソコン相談室
	県域又は市町をまたぐ	はしかけ	野洲、公共施設他	月2-3回	里山活動、里山体験サポート、旧写真整理他
	守山市	特定非営利活動法人「スペースウィン」	守山市内	年5-6回	就学支援B型利用者の保護者の会活動（イベント等手伝い
	守山市	老人クラブ	小学校通学路	年4回	スクールガード
	草津市	サポートの会	レイカディア草津校	月2回	地域活動部会。学生募集P. J.
		サロンボランティア	王津学区地域の公民館	年3回程度	食事作り
	守山市	日本野鳥の会滋賀支部	琵琶湖博物館周辺	月1回	探鳥会
	守山市	個人	道路	登校日	交差点での見守り（朝）
	守山市	GAG	ほたるの里	月1回	清掃
	守山市	町内「おやじ会」	町内集会所他	不定期	本年はコロナで自粛中だが例年はイベント等支援

【問3-2】地域活動の具体的内容（居住地別）（複数回答）

居住地	活動地域	団体名等	主な活動場所	回数	活動内容・特色等
守山市	守山市	びわこ豊穰の郷	目田川河川敷、赤野井湾	年4回	スクールガード
	守山市	森の健康40	地球の森	月1回	セミナー 木々の伐採と剪定等
	守山市	G A G	社協	年4回	社協だより配布
	守山市	地域活動部	地球の森	不定期	木々の伐採、剪定竹林の整備
	守山市	花の〇	地球市民の森	月1回	清掃関係
	守山市	日本赤十字	市内	不定期	いろいろ
	守山市	更生保護女性会	市内	不定期	いろいろ
		そばそら	色々の場所	月1回	子供食堂

野洲市	野洲市	レイカ野洲	野洲図書館、びわこ学園	月1回	掃除、除草、剪定、車イス整備
	野洲市	やす緑のひろば	野洲川自然の森	月1回	竹伐採
	野洲市	桜の会	地域の公園	月1回	剪定、除草、防虫作業
	野洲市	レイカ野洲	野洲市図書館	月1回	ビオトープの手入れ、樹木の手入れ
	米原市	米原校サポートの会	米原校（公民館）	年6回	会議（打合せ）他
	彦根市	県営都市公園ボランティア	新海浜	月2回	外来種除去（アメリカナシカズラ） 海浜植物の保護、除草
	野洲市	レイカ野洲	野洲図書館	月1回	除草、剪定作業
	野洲市	レイカ野洲	野洲図書館	月1回	剪定作業
	野洲市	レイカ野洲	野洲市図書館	月1回	前庭の整備
	草津市	レイカディア大学サポートの会 地域活動部会	レイ大草津校	月1回	会議
	野洲市	小学校応援団	小学校	不定期	読みきかせ、ミシン等授業支援、 校内草ひき、落葉清掃 e t c
	守山市	「びわこ地球市民の森」森づくりセンター	「びわこ地球市民の森」森づくりセンター	月1回	剪定作業
	野洲市	老人クラブ	市内	月1回	清掃奉仕作業、登下校時の見守り
	野洲市	レイカ野洲	野洲図書館	月1回	前庭やビオトープの草刈、美化
	草津市	レイ大サポートの会	レイ大	月1回	事業企画部会、サポートの会の打合せ
	野洲市	レイカ野洲	図書館	月1回	剪定作業
	野洲市	みどりの広場	野洲川北流廃川跡	月3回	自然の森の造成・維持
	野洲市	自治会	自治会内	年3回	夜間の夜廻り
	草津市	レイカディア大学草津校サポートの会	県立長寿社会福祉センター	月1回	校内（センター内）の植栽の手入れ 庭園整備
	県域又は市町をまたぐ	同窓会支部	2市の公民館他	月1回	会議（打合せ）他
	草津市	サポート会	レイカディア大学	月1回	サポート会、自主活動部会
	守山市	E G A 3 9	びわこ地球市民の森	月1回	間伐作業
	草津市	サポートの会	レイカディア大学	月1回	会議、行事手伝
	県域又は市町をまたぐ	レイ大守山・野洲同窓会	野洲・守山市内	月1回	会議及び活動
	守山市	森の健康40	守山市地球市民の森	月1回	剪定作業等
	守山市	花の40	地球市民の森	月1回	植栽管理作業
	野洲市	野洲市ほほえみクラブ	野洲河川公園なかよし交流館	月5回	テニス指導、障害者テニス指導
	野洲市	自治会	自治会館	ほぼ毎日	自治会運営
	野洲市	レイカ野洲	びわこ学園、野洲	月1回	車いすの点検
	県域又は市町をまたぐ	レイ大サポートの会	滋賀県内	年2回	校外学習の引率
	野洲市	40期園芸A	レイカ大学	月1回	剪定作業
	近江八幡市	有志	介護施設水茎の里	月1回	竹伐採、除草、剪定
	草津市	サポート隊	レイ大内	月1回	サポート隊として行事開催 （今年は未だ無し）
	県域又は市町をまたぐ	滋賀県無線赤十字奉仕団	日赤支部内、県内	年5-6回	災害救護訓練研修に参加、日赤が行う救護活動に出勤。
	野洲市	銅鐸博物館友の会	銅鐸博物館	年6回	会議（理事会）他、季節催事
	野洲市	エコッチ山クラブ	野洲市里山	月4回	里山登山道整美他
	草津市	園芸クラブ	レイカディア大学草津校	月1回	除草作業
	県域又は市町をまたぐ	びわこ博物館はしかけ活動水と暮らし研究会	滋賀県下	月2回	湧水の調査、水と暮らしの調査

【問3-2】地域活動の具体的内容（居住地別）（複数回答）

居住地	活動地域	団体名等	主な活動場所	回数	活動内容・特色等
野洲市	野洲市	レイカ野洲	野洲市野洲図書館	月1回	ピオトープの整理
	京都市	なからぎの会	植物園	月4回	イベント監視、パトロール、清掃、除草、案内 e t c
	草津市	サポートの会	レイカディア大学	月2回	学生等のサポート
	守山市	森の健康40	県立地球の森	月1回	公園保全
	野洲市	シルバー人材センター	野洲シルバー人材センター	月2回	スマホ講座（有料ですが小額のためボランティアに近い）
	野洲市	野洲朗読グループさえずり	野洲市健康福祉センター	月2回	勉強会、広報等の音読、自宅で録音
	野洲市	お助け隊	久野部東自治会館地	年4回	除草、剪定
	野洲市	野洲緑の広場	野洲川	月3回	広場の草刈り、外来種除去、他イベント
	野洲市	ル・プレソワール	コミュニティーセンター野洲	月2回	コーラス
	近江八幡市	詩吟クラブ	県内湖東地方	週1回	趣味を通じて会員との親睦と健康保持
	草津市	レイカディア大学、サポートの会	レイ大草津校	月2回	定例会議
	野洲市	レイカ野洲	野洲市立図書館、びわ湖学園	月1回	植木、雑草の整備、車イスの点検（今年はコロナであまり参加できず）
	野洲市	野草草の会	野洲市	月2回	車椅子レクダンスを通じて
	草津市	レイカディア大学、サポートの会	彦根、伊吹	年2回	校外学習の引率
	県域又は市町をまたぐ	近江里山歩こう会	県内里山	月1回	ウォーキング里山登山
	安山市	L13K39	地球市民の森	月1回	林の剪定・草刈り
	県域又は市町をまたぐ	L13K39	中山道ウォーク	月1回	

竜王町	竜王町	交通安全推進協議会	町内	年6回	街頭啓発
	竜王町	弓削弓つくりの郷	自治会内農地	年3回	用排水路の環境整備、植栽（花）
	竜王町	小日吉神社社守	小日吉神社（氏神）	年20回	神社清掃、行事準備
	竜王町	NPOスマイル	町内及び町外	月1-2回	医療機関等への移動支援
	草津市	レイ大サポートの会	レイカディアセンター	月2回	サポートの会役員
	草津市	NPO YORISOI	草津市、野洲市、湖南市	月1回	公共施設の環境整備、子ども食堂の野づくり

東近江市	東近江市	民生委員	市施設	月1回	定例会等
	東近江市		能登川園	月1回	花ダンの管理（花の植替、草取等）
		老人クラブ	自治会内神社・公園	年4回	草取り・清掃
	東近江市	グランベル	愛東支所じゅびあ	月1回	ボランティアに行く、ベル練習
	東近江市	みや美	東近江市社会福祉協ギ会 なごみディーサービス	月1回	お話し相手（コロナで中止）
	東近江市	老人クラブ	公民館（草ノ根ハウス）	年4回	春は花見会、夏は流しそうめん会 秋は運動会冬はニュースポーツ大会
	東近江市	みや美	デイサービスセンターなごみ	月1回	おはなし相手、おたのしみ会
	東近江市	老人クラブ	神社そうじ	年4回	草とり、カンひらい
	東近江市	ほのかな会	中野コミュニティセンター	月1-2回	子ども食堂
	東近江市	晩晴苑ボランティアの会	晩晴苑	月3回	会館の運営及庭園の管理
	東近江市	里山に親しむ会	繖山登山道	月1回	登山道の整備清掃
	東近江市		能登川園	月1回	花だん管理、内松づくり
	東近江市	自治会	自治会	月1回	剪定作業他
	東近江市	蒲生赤十字	運動公園他	年2回	環境保全
	東近江市	老人クラブ	花だん、公園等	月1回	清掃、草むしり
	近江八幡市	六林坊	教林坊	不定期	剪定、竹垣整備
	東近江市	瓜生川桜の花路を楽しむ会	現地	月3回	除草、防虫、剪定、水やり、肥料
	東近江市	八幡社社社守	八幡神社境内	月5-6回	境内の掃除、各祭典の準備及び運営の補助
	東近江市	五個荘地区まちづくり協議会	五個荘地区	月4回	まちづくり全体
	東近江市	山上町老人クラブ	清掃	年2回	
	東近江市	サポートの会	レイカディア	年2-3回	園芸学科、部長剪定サポート

【問3-2】地域活動の具体的内容（居住地別）（複数回答）

居住地	活動地域	団体名等	主な活動場所	回数	活動内容・特色等
東近江市	県域又は市町をまたぐ	おしゃべり喫茶わ茶わ茶	公民館	週1回	高齢者サロン運営
	東近江市	対面朗読ふくみみ	市内	不定期	視覚障害者に対面して文章を読む
	近江八幡市	レイ大同期生	教林坊	年6回	剪定と竹垣作業
	東近江市	白寿会	古墳公園、神社／寺、運動場	年3-6回	草刈り、掃除、グランドゴルフ実施
	東近江市		真寿会能登川園	月1回	花壇の整備、花の植替、草取り、門松作り、後始末
	東近江市	能登川地区健康推進員	能登川保健センターなごみ	例会月1回	東近江市スクエアステップリーダー養成講座
	東近江市	浄土真宗本願寺派神崎組総代会（会長）	寺院等	年数回	研修会、総会
	東近江市	平和祈念館	公民館		演劇
	東近江市	能登川東小学校	通学路	登校時	学校子供見守り隊（スクールガード
	東近江市	林老人クラブ	林中央公園	月3回	グランドゴルフ他スポーツ
	東近江市	38期の地域活動	能登川園	月1回	花だんの整備
	東近江市	能登川西小学校	能登川西小学校	随時	授業のお手伝い
	東近江市	伊庭内湖の自然を守る会	伊庭内湖	月1回	内湖の外来植物駆除。よし刈り。
	東近江市	山貴会	箕作山	月1回	公園と登山道の整備
	東近江市	永源寺高野町老人クラブ	永源寺高野町内	月1回	事務局
	東近江市	結の会	やまびこの家	週5日	子育て支援活動他
	東近江市		南小学校	年3回	剪定作業
		自治会		年3回	まち協とのパイプ役
	東近江市	銭だいこ	湖東コミセン	月4回	銭だいこ練習
	東近江市	みや美	東近江市社会福祉協議会 なごみディーサービス	月1回	おたのしみ会（コロナで中止）
	東近江市	老人クラブ	公民館（草ノ根ハウス）	月8回	グランドゴルフ
	東近江市	みや美	奥農村改善センター		おたのしみ会
	東近江市	みずぐるま	能登川園	月1回	草とり、花うえ
	東近江市	社会福祉協議会	中野コミュニティセンター	月1-2回	チラシ配布準備、市開催スタッフ
	東近江市	学校ボランティア	能登川西小学校	年2回	剪定作業
	野洲市	三上水青窯	野洲市	月3回	陶芸
	東近江市		能登川西小学校	毎日	剪定、花だん管理
	東近江市	喜楽会	公民館	月1回	花だん世話、花だん花植
	東近江市		能登川園	月2回	門松づくり、花壇整備草取り
	甲良町	課題学習の続きせせらぎ会	桜並木	年4回	剪定、除草
	東近江市	老人クラブ	地域内	月1回	環境保全
	東近江市	東近江市トレイル実行委員会	東近江市織山、箕作山	月3回	東近江トレイルツアーの実施、 環境活動
	東近江市	39期地域活動	教林坊、他	年10回	教林坊の保全
	県域又は市町をまたぐ	むらさき草	公民館他	要請時	どじょうすくいおどり、ハワイアン ダンス、紙芝居
	近江八幡市	文芸セナリヨ オルガン教室25期生	文芸セナリヨ	月2回	パイプオルガンの演奏
	甲良町	レイ大同期生	犬上川疎水桜並木路	年2回	草取作業
	東近江市	里やまをよくなる会	古墳	年20回	花木植栽、水やり、除草、景観維持 （土留め修復他）
	東近江市	神崎組門徒推進員協議会	真寿会能登川園	年2回	年末餅つき、剪定作業
	東近江市	能登川地区健康推進員	八日市市パピネス	随時	東近江市スクエアステップリーダー 養成講座
	東近江市	老ク連能登川（副会長）	旧能登川町	月1回	機関紙発行、交通立番、GG大会、 映画会、老ク大会、清掃奉仕
	東近江市	9月に誘われた為不明	小中学校	月1回	草刈、剪定作業
	米原市	レイカディア大学米原校 サポートの会	米原公民館、米原文産会館	月3回	サポート業務全般（サポートの会 総務部に所属）
	東近江市	地域活動	もみじ	不定期	剪定
	東近江市	里山に親しむ会	きぬがさ山	月1回	山道の整備（道標の制作、山道の 草刈）
	米原市	米原校サポートの会	米原校活動エリア	月2回	学生募集PLサブリーダー 園芸学科サポート

【問3-2】地域活動の具体的内容（居住地別）（複数回答）

居住地	活動地域	団体名等	主な活動場所	回数	活動内容・特色等
東近江市	東近江市	自治会	自治会館	月1回	サロン活動
		環境保全	憩いの家・寺・神社	年4回	みどりの会剪定
	彦根市	ボランティアサークルみやび	ディサービスハビネス	月1回	歌、体そう、大正琴演奏
	東近江市	みや美	奥農村構造改善センター	休止中	おたのしみ会
	彦根市	38期	4番町スクウェア	月1回	草とり、花植え
	東近江市	聖徳中学校地域	聖徳中グラウンド等	月2回	清掃草処理
	東近江市		福祉施設「能登川園」	月1回	庭園等の除草及正月の門松作り
	東近江市	グループ土塊	東近江市	月4回	陶芸
	東近江市	若葉会	市内福祉施設	不定期	琴の演奏
	甲良町	課題学習の続きせせらぎ会	グループホーム	年4回	剪定
	東近江市	中山道にぎわい事業委員会	五個荘コシヤン	月1回	中山道を中心とした町づくり計画の策定
	東近江市	長営農組合	長町内	年中	農作業、組合役員
	県域又は市町をまたぐ	里山をよくする会	古墳	年数回	草刈、剪定作業
	東近江市	レイ大同窓生	能登川園	月1回	花だん作業
	東近江市	まち協	東近江市湖東地区	月1-2回	歴史・文化の勉強会、歴史の調査年1回の文化展出展
	東近江市	神崎組門徒推進協議会	真寿会能登川園	随時	草刈り、除草剤散布
	東近江市	ボランティアグループ「もえぎ」	能登川図書館	月1回	廃棄本のシール消し他
	草津市	H P	自宅	年数回	支部同窓会、H Pの更新他
	東近江市	日赤	こども園、公園、児童館	年4回	草とり、掃除
	多賀町	高取山チェーンソークラブ	高取山ふれあい公園	不定期	チェーンソーアート、ログハウス造り
	東近江市	レイカディア大学同窓会中部支部	東近江市内	月1回	永源寺地区代表
	東近江市	押花サークル	個人宅	月1回	押花レッスン
		環境保全	伊庭内湖を守る会	年5回	外来藻駆除
	東近江市	ボランティアサークルみやび	奥町サロン、朝日ヶ丘サロン	月各1回	歌、体そう、大正琴演奏
	彦根市	みや美	彦根市馬場1丁目	要請時	おたのしみ会
	東近江市	更正保護	町内	夏休み	見まわり
	東近江市	社会福祉協議会	自宅カフェ	年6回	コロナで12月以後開催できていない
	東近江市	スクールガード	能登川西小学校通学路	登校日	子供と一緒に通学6年以上続けている
	近江八幡市	課題学習の続六林坊	教林坊（寺）	年6回	垣根作り
	東近江市	農業委員会	市内	年間	農業委員活動
	県域又は市町をまたぐ	自治会	小学生通学路	月1回	見守り活動
	東近江市	自治会（町内会）老人クラブ	自治会内	年6回	公民館、会議所清掃、草取
	東近江市	農村下山道記念館	自地会内	毎月1回	記念館の運営月1回の開館（当番制）
	県域又は市町をまたぐ	滋賀骨髓献血の和を広げる会	県内献血会場（移動献血会場）	月3-5回	骨髓バンクドナー登録勧誘説明員
	東近江市	門推協力	市内公共施設、前庭等	年1-2回	剪定作業
		七緑の会	東近江市内	月1回	シニア世代仲間15人親睦サークル
	東近江市	まち協	コミセン他	月1回	健全児童育成事業
		環境保全		年2回	小・中学校の剪定
	東近江市	みや美	朝日ヶ丘草根ハウス（サロン）	要請時	おたのしみ会
	東近江市	愛知川河畔林	愛知川河畔林	月1回	竹藪整備
	東近江市	シルバー人材センター	市内	月2-3回	剪定作業
	東近江市	個人	東近江市新宮町愛知川堤防	年4回	法面および堤上の草刈り
	東近江市	門推協力	市内公共施設前庭等	年1-2回	剪定作業
	東近江市	永源寺地区キャラバンメイト	（東近江市内）永源寺地区	月1回	認知症について正しい知識の普及活動
		青少年の育成・防犯	信号	毎日	交通立哨指導
	東近江市	みずぐるま	能登川園	月1回	花壇作りくさとり、門松作りなど
	東近江市	まちづくりプロジェクト まるごと保全活動	町内	月-2回	まちづくり活動
	県域又は市町をまたぐ	レイ大米原39期健康づくり学科八朔会	県内の老人ホームデイサービスセンター	休止中	演芸など
	東近江市		中学校	年1回	剪定作業

【問3-2】地域活動の具体的内容（居住地別）（複数回答）

居住地	活動地域	団体名等	主な活動場所	回数	活動内容・特色等
東近江市	東近江市	おいでえ高野	永源寺高野町内	月2回	シニア世代が楽しく元気で過ごせ、生きがいを持って生活できるよう、環境づくり
		まちづくり協議会	コミセン・市内	年2-3回	ダンボールコンポスト支援、廃食油回収
		趣味のサークル	コミセン	年8回	盆栽同好会世話役
		日赤	やわらぎの郷公園	年2回	除草

日野町	日野町	長寿会	公園、寺、会議所	年数回	草引、清掃
	日野町	民生委員	自治会内	随時	自治会内
	日野町	日野分室レイ大	桜谷公民館、桜谷小学校、日野中学校	年1回	庭木剪定、松剪定、サツキ植栽 サツキ剪定
	日野町	内池東自治会長	内池東区	月4-5回	剪定作業
	県域又は市町をまたぐ	子供見守り	自治会搬入路交差点	登校日	下校時の小学生の見守り
	日野町	レイ大日野分室	日野駅喫茶営業	年11回	喫茶店ボランティア
	日野町	日野観光ボランティアガイド協会	日野観光協会、日野駅	月2-3回	観光ガイド、観光案内所
		NPO YORISOI	野洲・守山農園	月1回	子供食堂食材提供の野菜作り
	日野町	大字西大路	自治会内神社（3社）	月1回	清掃・神事活動
	日野町	日野町文化協会	日野	月2-3回	文化活動
		net work	文化公園整備、草津	月1回	子供食堂サポート
		史談会、俳句、カラオケ、ダンス	八日市、水口、日野	月1-10回	サークル活動
	日野町	蒲生氏郷公顕彰会	日野	月5-6回	顕彰活動
	日野町	レイ大日野地区 同窓生	日野駅	月1回	
	草津市	レイカディア	学校内	年10回以上	自主講座活動のボランティア

近江八幡市	近江八幡市	水茎の里整備クラブ	特養施設外	月1-2回	除草、剪定
	野洲市	レイ大OB有志	びわこ学園	月1回	花だん整備
	近江八幡市	ひまわり工房	工房内&依頼先	不定期	木工等で福祉援助品作成
	東近江市	なごみ	社会福祉協議会	月	傾聴レクリエーション
	近江八幡市	子供見守り隊	通学道路	1回	帰り通学道路の交通安全
	近江八幡市	少年補導員	小・中学校区	随時	啓発パトロール等
	近江八幡市	安八	八幡公園	月1回	剪定作業
	近江八幡市	傾聴活動「うさぎの耳」	社協（利用者の自宅、施設）	月2回	1人暮らし等の高齢者の話を聴く
	近江八幡市	病院ボランティア	近江八幡市総合医療センター3F	月1回	除草、剪定、花植、展示
	草津市	レイカ園芸クラブ	レイ大敷地内	月1回	除草、剪定
	近江八幡市	金田学区まちづくり協議会	金田学区コミュニティセンター	月2回	防災関係事業
	近江八幡市	安八いちまる会	八幡公園	月1回	ツツジの剪定、草取り
	彦根市	39期同窓生	老人施設	月1回	車イスの点検、清掃、演芸
	近江八幡市	八幡山の景観を良くする会	八幡山	月2回	竹林整備、遊歩道整備
	米原市	レイカディア大学サポートの会	レイカディア大学米原校		学生へのサポート、教務事務・業務のサポート
	近江八幡市	民生委員児童委員	八幡学区及び市内	月5回	民児委員活動
	近江八幡市	近江八幡竜王少年補導委員会	市内全域	月2-3回	青パトによる安全パトロール 街頭補導
	近江八幡市	近江八幡自治連合会	近江八幡市	月2回	会議
	近江八幡市	安八いちまる会	八幡公園	月1回	ツツジ整備、剪定作業
	近江八幡市	安八いちまる会	八幡公園	月1-2回	つつじ&紫陽花の整備
	近江八幡市	農業組合法人	町内	150日/年	営農作業
	近江八幡市	民生児童委員	町内	不定期	高令者見守り
	近江八幡市	安八いちまる会	八幡山公園	月1回	つつじ整備
	彦根市	ハビネス	ディサービス	年1回	レクリエーション
	近江八幡市	市立図書館ボランティア	近江八幡市立図書館	月2回	本の修理、他に催し時の手伝い
	近江八幡市	レイ大同窓会	さざなみ街道	月1回	剪定作業
	近江八幡市	ナイスレターズ	安土社協	年4回	古切手を収集し発展途上国の女性の命を守る活動（ジョイセフ）

【問3-2】地域活動の具体的内容（居住地別）（複数回答）

居住地	活動地域	団体名等	主な活動場所	回数	活動内容・特色等
近江八幡市	近江八幡市	うさぎの耳	近江八幡市内	月2回	ひとりくらしや、お話をしたい方の傾聴
	守山市	レイカ園芸クラブ	地球市民の森敷地内	月1回	伐採、菌打ち等
	近江八幡市	長田町自治会		月2回	まちづくり
	近江八幡市	レイ大同窓会近江八幡支部	白鳥川河川敷、湖岸道路脇	月2回	草花の植栽、桜の剪定、ゴミ拾い
	近江八幡市	秀次家臣団屋敷跡竹林を守る会	八幡山	月1回	竹林整備
	近江八幡市	八幡学区社会福祉協議会	八幡学区	月2回	事務局長
	近江八幡市		池田町	月1回	防災パトロール
	近江八幡市	はなの会	白鳥川沿いの花の植栽	月1回	花の植栽、草取整備
	近江八幡市	生活支援グループ	学区内	月2回	生活支援
	近江八幡市	スクールガード	学区（町内小学生）	登校日	町内→学校、スクールガード見守り
	日野町	Y O R I S O I	日野公民館	月1回	子ども食堂支援
	東近江市	サロン	草の根ハウス	年1回	レクリエーション
	近江八幡市	みどりの病院ボランティア	近江八幡市総合医療センター	月1回	屋上庭園のガーデニング
	近江八幡市	八幡学区まち協	防災防犯交通安全まとめ	随時	安全安心部会会長
	近江八幡市	放課後学習	岡山小学校	月3回	6年希望者対象、教職経験者による学習指導（30分）
	彦根市	海浜植物見守りたい	彦根市新海浜	月2回	はまエンドウの保護、除草、外来植物の除去。海浜植物の観察・保護。
	近江八幡市	みどりの森	病院	月1回	除草、花壇づくり（植え替え）剪定
	近江八幡市	みどりの病院	市立総合医療センター	月1回	花壇の手入れ
	近江八幡市	うさぎのみみ	ひまわり館、訪問宅	月1回	定例会。傾聴、活動（休止中）
	近江八幡市	左義長保存会	八幡学区	月5回	展示館の開閉及び保存活動
	大津市	陶遊40期会	大津市生涯学習センター	年9回	陶芸
	近江八幡市	放課後学習	地元小学校	週1回	小6希望者に算数指導
	草津市	Y O R I S O I	多文化共生支援センター	月1回	子ども食堂支援
	東近江市	ふれあいサロン	奥構造改善センター	年1回	レクリエーション
	近江八幡市	レイ大同窓会 近江八幡支部 「はなの会」	白鳥川沿い	月1回	サンロード～官庁街通り、白鳥川沿いに花の植栽
	県域又は市町をまたぐ	よりそいネットワーク	多文化、ひまわりカフェ、Y O R I S O I 農園	随時	野菜提供、子供食堂支援
	近江八幡市	サムエル会（シニアの会）	自治会館、その他	月1回	グランドゴルフ、清掃活動、定例会町歩き、健康体操
	近江八幡市	近江八幡市日赤	近江八幡市	月2-4回	市内、学区施設の清掃、訪問活動
	大津市	よりそいネットワーク	びわこ文化公園、近江学園	月1回	樹木の剪定
		レイカディア大学サポート会	レイカディア大学草津校	月1回	定例会
	近江八幡市	秀次家臣団跡の竹林整備	八幡学区	月1回	竹林整備
	草津市	Y O R I S O I	多文化共生支援センター	月1回	子ども食堂支援
	近江八幡市	安土 社会福祉協議会	ナイスレターズ	年4回	切手収集
	近江八幡市	レイ大同窓会、近江八幡支部		月1-2回	GG大会、町歩き、作品展、寄せ植え
	草津市	レイ大サポートの会	長寿福祉センター	月1回	例会
	大津市	Y O R I S O I	県営びわこ文化公園	月1回	環境整備支援事業
	草津市	レイ大園芸クラブ	長寿福祉センター	月1回	剪定・除草作業
	県域又は市町をまたぐ	Y O R I S O I	小津地区・三上地区	月2-3回	農園作業
	守山市	はなの40の会	地球市民の森	月1回	サポーター活動
	近江八幡市	おやじ連活動	市内一円	月1回	現在定例化に向け活動中
	近江八幡市	2区自治会外	地区役員及び寺総代	月2回	例会及び寺事務全般
甲良町	甲良町	せせらぎ三九良会	犬上川沿岸桜並木、けんじいの家	年5-10回	除草、てんぐす病除去、剪定作業
	甲良町	あまごFC	区内	月1年	区内の花壇の栽培、播種から。
	甲良町	絵手紙ボランティアほほえみ	保健福祉センター	月1回	独居者へ絵手紙を届ける
	甲良町	工房心	自助具工房、依頼者宅、自宅	月1回	話し合い、展示、自助具作成
	甲良町	せせらぎ39良会	犬上川沿岸疎水並木道	年6回	桜並木道の草刈り整備
	多賀町	高源寺PJ	高源寺	年4-6回	環境（竹穂垣）作製、剪定作業等
	近江八幡市	教林坊六人衆とその仲間	教林坊、愛知川河畔林	月1-2回	剪定作業、竹垣撤去と作成

【問3-2】地域活動の具体的内容（居住地別）（複数回答）

居住地	活動地域	団体名等	主な活動場所	回数	活動内容・特色等
甲良町	甲良町	ほほえみ会	社協	月1-2回	絵手紙作成し独居老人へ配布、年賀状、暑中見舞
	多賀町	レイ大サポートの会	校外学習	月1回	園芸、校外学習のサポート
	米原市	サポートの会	米原県立文化交流産業会館、米原市公民館	月2-3回	大学祭プロジェクト、調整会議役員会等
	近江八幡市	39良会	教林坊	不定期	竹垣の整備

愛荘町	愛荘町	栗田ボランティア	栗田公民館	月2回	高齢者サロン
	愛荘町	愛荘さくらを守る会	町内	月1回	さくらの剪定、植樹など
	愛荘町	さくら会	ハーティーセンター秦荘	月2回	挿し花
	愛荘町	子ども安全パトロール	愛知川小学校区	月2-3回	小学生下校時に安全パトロール実施
	愛荘町	愛荘町青少年育成町民会議 総務委員	愛荘町	年3回定例 +α	青少年の育成
	彦根市	バラボランティア	庄堺公園	月2回	バラの四季の管理

豊郷町	豊郷町	「スズムシバナ」懇話会	スズムシバナ自生地（字内）	月1回	保全、記録・広報
	豊郷町	日赤奉仕団			
	豊郷町	民生児童委員	町役場、公民館	月2回	高齢者部会に所属、独居高齢者を主に家庭訪問等
	県域又は市町をまたぐ	「十人十色の会」	県内、介護施設、保育園、自治会等	年3-5回	自作紙芝居、自作「近江街道双六」「近江街道カルタ」、手遊び・歌遊び、ゲーム・昔の遊び等
	豊郷町	営農ファーム		月1回	
	県域又は市町をまたぐ	レイカディア大会サポートの会	米原公民館、米原伝産会館、取材先各地	月2-3回	サポートの会通信編集、大学祭計画サポート等

多賀町	多賀町	ふれあいサロン	公民館	月2回	福祉活動
	多賀町	敏満寺史跡文化保存会	胡宮神社	年4-5回	境内紅葉時ボランティアガイド
	多賀町	町社協		月1-2回	福祉活動
	甲良町	せせらぎさくら会	犬上川沿岸	年2-3回	剪定作業

彦根市	彦根市	原町西団地自治会	自治会内	年6回	自警団
	彦根市	サロンコスモス	地域の会館	月2回	健康体操、ゲーム等
	彦根市	四番町応援隊	四番町スクエア	月1回	剪定、除草、ポット花植え他
	彦根市	社会福祉施設かいぜ寮	かいぜ寮敷地内	年2回	剪定作業
	彦根市	個人	グループホーム	月1回	認知症カフェ
	彦根市	宮世話会	お宮さん	月2回	宮さんの護持、境内清掃
	彦根市	福寿会	町内、公民館	年4回	清掃、冠句、発表
	彦根市		学校	年1回	剪定作業
	彦根市	彦根5人の会	かいぜ寮	年4回	樹木果樹の剪定、雑草刈り
	米原市	レイカディア大学、米原校サポートの会	米原市内	月1回	学生への支援他
	彦根市	健康体操	公民館	月2回	健康体操、ゲーム等
	近江八幡市	六林坊	教林坊	年10回	剪定、竹垣整備
	県域又は市町をまたぐ	レイカディア大サポートの会 サポートの会広報情報委員	県内	年5-6回	サポートの会通信、取材、編集
	彦根市	老人クラブ	湖岸緑地公園	月2回	清掃作業
	彦根市	お寺、門徒会	願い寺、お寺	年8回	寺の護持、総務
	彦根市	ボランティア	彦根市社協内	月1回	会議
	県域又は市町をまたぐ	サポート隊	公共施設	月数回	剪定
	彦根市	レイカの同僚3人で	保育園	月1回	剪定作業
	彦根市	歩こう会	各地	月1回	ウォーキング
	甲良町	せせらぎ三九良会	犬上川河川	年2回	除草
		県退職会彦根支部	湖東	年10回	彦根支部活動サポート
	彦根市	環境委員会	自治会	月1回	防災、福祉

【問3-2】地域活動の具体的内容（居住地別）（複数回答）

居住地	活動地域	団体名等	主な活動場所	回数	活動内容・特色等
彦根市	彦根市	老人クラブ	町内	年4回	行事への参加（ボランティア含む）
	彦根市	おれんじ会	個人宅	月1回	傾聴ボランティア
	彦根市	グラウンドゴルフ愛好会	各地	月8-10回	グラウンドゴルフ
	甲良町	せせらぎ三九良会	けんじいの家	年2回	剪定
	彦根市	アカシヤ	湖岸道路	年6回	清掃
	愛荘町	愛荘町陶芸クラブ	愛荘町福祉センター愛の郷	月4回	作陶

米原市	米原市	個人	デイサービス	月1回	お話相手
	米原市	保全会	農地	年3回	農地保全
	米原市	ほゝえみサロン	西町公民館	月1回	自分も高齢になりながらも（土）の午前中利用者（年80才迄）を招き楽しい一時を送る工夫、昼食は手づくり
	米原市	みどりの会	やすらぎハウス	月1回	剪定作業
	米原市	みどりの会	福祉施設やすらぎハウス	月1回	環境整備
	米原市		老人保健施設デイサービス	月1回	介護相談（今はコロナで中止）
	米原市	米原観光VG協会	米原市内全域	月1-2回	施設、神社仏閣等の照会案内等
	米原市	環境保全会	対象区域	月1-2回	共同作業、定期会合
	米原市	NPO法人いきいきおうみ	学校校門	年6回	挨拶運動
	米原市	みどりの会	やすらぎホール	月1回	剪定作業
	米原市	ほっこりカフェ	西町公民館	月3回	それぞれの趣味を生かしマージャン、トランプと11：30分までコーヒーとおかし（¥100）集会
	米原市		夢ホール	年1回	剪定作業
	米原市	区福祉会	顔戸区	随時	サロン運営等
	米原市	ボランティアガイド協会	米原市内	年3回定例 +α	観光ガイド定期会合等
	米原市	社会福祉協議会	個人のお宅、自宅	月1-2回	子供の見守り
	長浜市	彩の会	長浜公民館	月2回	絵画教室
	米原市	絵てがみ教室	西町公民館	月1回	いづれも参加する立場
	米原市	近江老ク連	やすらぎハウス	年数回	広報活動
	県域又は市町をまたぐ	同窓会湖北支部		随時	支部運営
	米原市	個人	デイサービス、サロン	要請時	手品
	米原市	レインボークラブ	双葉体育館	月4回	卓球教室
	米原市	レクダンス	西町公民館	月2回	リーダーのもと有意義な一時
	米原市	レイカディア大学	文産会館	年数回	サポート隊
	米原市	絵手紙教室	西町公民館	月1回	いづれも参加する意向
	米原市	レクダンス	西町公民館	月2回	リーダーのもと有意義な一時
	米原市	○きん	西町公民館	月2-3回	

長浜市	長浜市	市委嘱の交通安全指導員	幼稚園、小学校、中学校	年10回	警察官の交通安全教育の補助
	長浜市	大道芸てるちゃん会	神照公民館	月1回	地域貢献
	長浜市	原っぱ倶楽部	横山	月3回	剪定始末 べ縄作り（公民館）
	長浜市	レイカ大学同窓会		随時	地区幹事
	長浜市	長浜観光ボランティア	市内	月2回	観光ガイドボランティア
	長浜市	川道道友会	旧びわ町内	月1回	清掃作業
	長浜市	老人クラブ 健康づくり	自治会館	月2回	健康体操、サロン、その他
	長浜市	小堀遠州四酔会	近江孤蓬庵	年数回	草刈り、秋の落葉収集・除去、もみじの植伐
	長浜市	明生会	公民館	年1回	文化祭
	長浜市	老人クラブ	公会堂	月2-3回	健康づくりの体操やウォーキング
	長浜市	総合型スポーツクラブ	長浜市運動ひろば（高月体育館）	随時	NEWSスポーツ指導（障がい者）
	長浜市	お話会ボランティア12の月	長浜市立図書館	月2回	絵本・紙芝居等の読み聞かせ、手遊び、例会（計画、練習等）
	長浜市	長浜地区地域づくり連合会	長浜市まちづくりセンター	月2-3回	米川かわづくり事業、子供食堂
	長浜市	六荘地域づくり協議会	六荘きちづくりセンター	年4-5回	夜間防犯パトロール、啓発活動

【問3-2】地域活動の具体的内容（居住地別）（複数回答）

居住地	活動地域	団体名等	主な活動場所	回数	活動内容・特色等
長浜市	長浜市	老人クラブ	町内	月1回	公園、神社の清掃
	長浜市	観光ボランティアガイド協会	四ツ居家観光案内所、長浜市内	月2回	観光史跡案内ガイド
	長浜市	神照地区社会福祉協議会	神照まちづくりセンター	月1回	講演会・イベント手伝
	米原市	観光ボランティアガイド協会	米原市内各所	随時	案内（観光等）
	県域又は市町をまたぐ	高齢者サロン	町内会館	月2回	
	長浜市	湖北庭園迷人の会	国際文化交流ハウスGEO	年6回	剪定作業
	長浜市	老人クラブ（百年会）	休会中（テレワークのみ）	月1回	事業の有方
	長浜市	40期レイカ園芸科迷人の会	長浜国際交流センターGEO	年3-4回	剪定、花（プランター）植
	米原市	伊吹果樹組合	伊吹柿畑	年3回	柿（平核無柿）の年間管理
	長浜市	お市マラソン	草野川沿岸	年1回	AED看護
	米原市	米原校サポート隊			
	長浜市	自治会	マンション花だん	毎日	季節の花プランター
	長浜市	びわまちづくり協ギ会	旧びわ町内	年6回	まちづくり団体との交流
	長浜市	自治会自警団	町内	毎夜年2回	夜廻り、消火訓練
	長浜市	浅井福祉の会	市内	年数回	旧自治会のイベント活動
	彦根市	山草会	自宅	随時	年2回展示会
	長浜市	地元の寺	宗元寺	月1-4回	生花たてや植木の剪定、除草
	長浜市	冷水寺胎内仏資料館		随時	観光客の案内
	長浜市	長浜市スポーツ推進委員	長浜地区1～9連合	月2回	地域1～9連合のスポーツイベント 体力測定
	長浜市	長浜市交通指導員	長浜市内	年4-5回	交通安全啓発活動、交通安全教室
	長浜市	高畑田園の里を守る会	町内	月1回	道路のゴミひろい
	長浜市	長浜城博物館友の会	長浜城内の博物館	月2回	博物館内展示の案内及びガイド
	長浜市	町、福祉委員会	町内地区	月1回	高齢者見回り活動
	県域又は市町をまたぐ		米民館等	年2回	防犯・防災
	長浜市	個人	平方天満宮	年4回	剪定作業
	長浜市	内保自治会	顧問	月1回	自治会運営の相談
	県域又は市町をまたぐ	古里保全	地元自治会内	年3-4回	環境保全（水まわり掃除）
	米原市	平核無柿	伊吹大清水	年3回	剪定 摘果収穫
	長浜市	自治会	地域		防災
	長浜市	板前さん	市内	年数回	料理の手伝い、イベントへの参加
	長浜市	自治会	花壇	随時	花壇整備
	長浜市	個人参加	集落内生活道路の除雪	年30-50回	積雪時はすべて
	長浜市		国際文化交流ハウスGEO	月11回	日本庭園の剪定
	長浜市	警友会長浜支部	長浜市内	年4-5回	啓発活動
	長浜市	老人サロン	会館	月1回	体操、ゲーム、会話、食事等
	長浜市	サークルキラリびわ	旧びわ町地区	月2回	イベントの応援、まち作りセンター 清掃、広報配布、竹生島植林活動
	長浜市	楽友会	町内地区	随時	地区、老人クラブ運営
	県域又は市町をまたぐ	自警団	地元自治会内	年6回	巡回、ポンプ操作、啓発
	長浜市	田根まちづくり協議会	旧町内	年数回	お酒づくり、古民家運営等
	米原市	サポートの会	レイ大米原校	月4-10回	サポートの会役員
	長浜市	遠州流浅井支部+（四酔会）	五先賢の館、上野近江孤鐘庵	不定期	伝統文化（お茶体験）の伝承（小・中・高・幼稚園児）、清掃
	米原市	レイカディア大学米原校サポートの会	米原市レイカディア大学米原校	月2回	大学授業のフォロー、校外学習のサポート、在校生とOBの交流活動

【問3-2】地域活動の具体的内容（居住地別）（複数回答）

居住地	活動地域	団体名等	主な活動場所	回数	活動内容・特色等
高島市	高島市	上古賀区	上古賀地域	週5回	上古賀区長職
	草津市	広報部員募集P	レイカディア大学	月2回	会議
	高島市	ナルク	市内	月2回	会員の助合い（買い物、通院等支援）
	高島市	グラウンドゴルフ同好会	マキノ高原G G場	月3~4回	健康づくり、人々との交流
	高島市	上田中農地整備事業実行委員会	地区草の根ハウス	月5~6回	ほ場整備（田）に伴う作業。会議。
	高島市	西区ホットルーム	西区会館	月1回	サロン活動
	米原市	伊吹山もりびとの会	伊吹山山頂周辺	月1~3回程度	登山道整備、外来植物除去、花のガイド（夏期）
	高島市	高島スポーツ少年団	公民館	月4回	定期活動
	高島市	シルバー人材センター	ほうじろ荘、市役所	月2回	剪定作業
	高島市	ほろん	ほろん、自宅	年5回	市の広報点訳、議会だより点訳
	高島市	トンボとその仲間たち	びわ湖岸	月1回	桜守の活動（枝打、除草、施肥、殺虫）
	高島市	区自治会	ゴミ拾い、川掃除、草刈り	月6回	
	高島市	レイカディア同窓会高島支部	高島市内	年6回	同窓会支部の活動、剪定作業、HPの管理

居住先無記名		長寿会		月2回	
	大津市	びわこ文化公園ボランティア	びわこ文化公園	週2回	植物管理、環境保全（清掃美化）
	竜王町	外出支援ボランティアスマイル	滋賀県	月10日	送迎
	長浜市	環境保全サークルキラリびわ	環境保全と地域づくりセンター運営支援	随時	剪定作業、除草作業、センター行事に支援
	東近江市	協あいあいサロン	協自治会館	月1回	70才以上の老人が集まり生きがいを見つけてます
	長浜市	「ふれあいの会」	町内	月1~2回	様々
	甲賀市	甲賀駅を育てる会	甲賀駅周辺	月20回	花壇の管理
		寺	光明院	月1回	寺総代
	竜王町	民生委員	竜王町	月5日	民生委員活動
	長浜市	レイカディア大学同窓会湖北支部		年1回	剪定作業、除草作業、センター行事に支援
	東近江市	中野地区	中野ビレッジ	年6回	気節の「お漬け物教室」
	長浜市	個人	子ども園	月1回	読み聞かせ
	甲賀市	愛林クラブ	公民館、サクラ公園	月1回	草刈り、剪定作業
		寺	欣誓庵	月1回	
	東近江市	障害者あんしんネット	東近江圏域	月1回	障害者相談員
	県域又は市町をまたぐ	レイカディア大学同窓会湖北支部	湖岸	年1回	ゴミ回収
	東近江市	みつくり山	みつくり君広場太郎坊山ハイキングコース整備	年2回	広場草むしり、その他
	県域又は市町をまたぐ	民児委員	町内	不定期	様々
	甲賀市	甲賀駅を育てる会	甲賀町内	年1回	JRふれあいウォーキング
		寺	金剛宝寺	月2回	寺総代
	竜王町	歴史クラブ	竜王町	月2回	観光ボランティア
	長浜市	浅井歴史の会	浅井歴史民族資料館	年中	小学3年生の社会科での昔の暮らし体験ボランティア、資料館での行事に対し
	東近江市	中野地区「たすけあい中野」	各家庭か送迎	月2回	一人暮らしのおしゃべり相手、病院送迎など
	甲賀市	甲賀町老人クラブ	町役員	年6回	体育部

◆ 居住地別活動団体数

居住地	活動団体数
大津市	160
草津市	113
栗東市	57
湖南市	31
甲賀市	31
守山市	73
野洲市	55

居住地	活動団体数
竜王町	6
東近江市	119
日野町	15
近江八幡市	68
甲良町	11
愛荘町	6
豊郷町	6

居住地	活動団体数
多賀町	4
彦根市	28
米原市	26
長浜市	56
高島市	13
無記名	24
合計	520

各地域における活動状況等調査のお願い

「人生100年時代の到来」や「地域活動の担い手不足」など、高齢者や地域を取り巻く社会情勢が変化してきている現在、元気な高齢者の方々にはボランティアや地域活動の担い手として以前にも増して期待が寄せられているところです。一方で、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、様々な活動が大きな影響を受けており、「ウイズコロナ」、「アフターコロナ」の時代には、地域活動においても従来とは違ったスタイルでの対応や新たな工夫が求められています。

レイカディア大学の運営を担う滋賀県社会福祉協議会は、このような状況を踏まえ、高齢者の皆さんがその豊かな経験や知識・技術を生かし積極的に活動を展開できるよう、取り組みの推進や新たな支援方策の検討などに取り組む必要があると考えています。

つきましては、レイカディア大学の直近3年間の卒業生の皆さまに、標記のアンケート調査へのご協力をお願いしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

この調査は、レイカディア大学の卒業生を対象に、数年ごとに定期的に調査しているもので、卒業生の各地域での活動実態を把握するとともに、地域活動に対する皆さまの意識等を調査し、今後の各種支援方策等の検討に役立てることとしています。

本調査の趣旨をご賢察いただき、お忙しい中お手数をおかけしますが、ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

ご記入にあたってのお願い

- 1 回答は質問に応じ、該当の番号を○で囲んでください。また、質問によっては、具体的事項をご記入ください。
- 2 12月18日(金)までに 返信用封筒にてご返送ください。
お忙しい時期ではありますが、よろしくお願いいたします。
- 3 本調査は、無記名としています。
- 4 この調査についてのお問い合わせは、下記にご連絡ください。

社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会 レイカディア振興グループ

〒525-0072 滋賀県草津市笠山7丁目 8-138

県立長寿社会福祉センター内

TEL : (077) 567-3901 FAX : (077) 567-3906

E-mail : leidai-kusa@shigashakyo.jp

問 1 あなた自身のことについてお尋ねします。

(1) レイカディア大学第何期生ですか。

- 1 第38期生（平成29年9月卒業）
- 2 第39期生（平成30年9月卒業）
- 3 第40期生（令和元年9月卒業）

(2) 選択講座は、次のどの学科ですか。

- 1 園芸学科
- 2 陶芸学科
- 3 地域文化学科
- 4 びわこ環境学科
- 5 北近江文化学科
- 6 健康づくり学科

(3) （現在の）年齢をお聞かせください。

- 1 60歳～65歳
- 2 66歳～70歳
- 3 71歳～75歳
- 4 76歳～80歳
- 5 81歳以上

(4) 性別をお聞かせください。

- 1 男性
- 2 女性

(5) お住まいの市・町名をお聞かせください。

(市・町)

(6) 現在の健康状態はいかがですか。

- 1 健康
- 2 まあ健康
- 3 病気がち
- 4 病気療養中

問2 あなたは現在、何か地域での活動をしていますか。

- 1 している
2 していない →問5へ

問3 問2で1（している）と答えた方にお尋ねします。

（1）それはどのような活動ですか。

次のうちから該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

- | | | |
|--------------------------------|-----------------|---------------|
| 1 老人クラブ | 2 自治会（町内会） | 3 環境保全 |
| 4 福祉 | 5 子育て支援 | 6 青少年の育成 |
| 7 まちづくり | 8 国際交流 | 9 防災 |
| 10 防犯 | 11 伝統文化の継承 | 12 趣味のサークル・団体 |
| 13 観光ボランティア | 14 レイカディア大学運営支援 | |
| 15 その他（ ） | | |

（2）その活動の内容を具体的にお教えてください。（複数記入できます）

活動地域	団体名等	主な活動場所	回数	活動内容・特色等
＜記入例＞ 〇〇市・町	〇〇園芸クラブ	〇〇公園・公民館	月2回	剪定作業

※ 可能な範囲でご記入ください

問 4 問 2 で 1 (活動している) と答えた方にお尋ねします。

(1) 主たる地域活動を1つあげていただき、それについてお答えください。

主たる地域活動（ ）※問3の（1）の番号をご記入ください

(2) その活動地域はお住まいの市・町ですか。

- 1 はい 2 いいえ

(3) その活動はいつ頃から始めましたか。

- 1 レイカディア大学入学以前から
- 2 レイカディア大学在学中から
- 3 レイカディア大学卒業後

(4) その活動をする主なきっかけはどのようなことですか。

- [illegible]

(5) 現在行っている地域活動を行うことで、充実感を感じますか。

- 1 充実感を感じる
- 2 充実感を感じない

問5 問2で2（活動していない）と答えた方にお尋ねします。

現在活動していない理由は、どのようなものですか。

該当するものすべてに○をつけてください。(複数回答)

- 1 健康面や体力に自信が持てない
- 2 家庭の事情（介護、家事、仕事）で時間がとれない
- 3 一緒に活動する仲間がいない
- 4 経費がかかりすぎる
- 5 活動するテーマや内容が合わない（ない）
- 6 身近なところでの活動場所がない
- 7 活動の情報が得られない
- 8 興味・関心がない
- 9 コロナ禍の影響
- 10 その他（ ）

問 6 今後、新たに行いたいボランティア活動や地域活動はありますか。

次のうちから 1つ選んで○をつけてください。

- 1 新たに行いたい活動がある
- 2 新たに行いたい活動はない → **問 8**へ

問 7 問 6で 1（新たに行いたい活動がある）と答えた方にお尋ねします。

それはどのような活動ですか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

- 1 高齢者の福祉活動
- 2 障害者の福祉活動
- 3 子育て支援
- 4 青少年（児童）の健全育成
- 5 地域の美化・環境保全
- 6 教育、文化、スポーツ振興
- 7 まちづくり・地域おこし
- 8 災害時のボランティア活動
- 9 防災、防犯、交通安全など、地域社会を暮らしやすくするための活動
- 10 国際交流・多文化共生の活動
- 11 自治会・町内会・民生委員・児童委員・区社協・福祉委員・子ども会等の活動
- 12 観光ボランティア活動
- 13 その他（ ）

問 8 地域活動を実践していく上で、何が最も重要だと思いますか。

次のうちから 1つ選んで○をつけてください。

- 1 活動情報の提供
- 2 地域活動に関する学習機会の提供
- 3 相談窓口（ボランティアコーディネーター）の充実
- 4 仲間づくりの機会
- 5 グループ団体の活動拠点
- 6 リーダーや指導・助言者による支援
- 7 その他（ ）

問 9 レイカディア大学での学生生活を振り返って、以下に挙げたことはそれぞれの程度あてはまりますか。1つ選んで○をつけてください。

(1) レイカディア大学で、仲間と交流することができた。

- 1 とてもそう思う 2 ややそう思う 3 あまりそう思わない
4 全く思わない 5 どちらともいえない

(2) レイカディア大学で、仲間と信頼関係を築くことができた。

- 1 とてもそう思う 2 ややそう思う 3 あまりそう思わない
4 全く思わない 5 どちらともいえない

(3) レイカディア大学で、仲間と協力し共に学ぶことができた。

- 1 とてもそう思う 2 ややそう思う 3 あまりそう思わない
4 全く思わない 5 どちらともいえない

(4) レイカディア大学で、同じ目標・目的を持つ人と出会えた。

- 1 とてもそう思う 2 ややそう思う 3 あまりそう思わない
4 全く思わない 5 どちらともいえない

(5) レイカディア大学に入学して、生きがい感を得ることができた。

- 1 とてもそう思う 2 ややそう思う 3 あまりそう思わない
4 全く思わない 5 どちらともいえない

問 10 レイカディア大学入学前と卒業後では、地域活動に対するあなたの意欲や関心に変化はありましたか。次のうちから1つ選んで○をつけてください。

- 1 意欲・関心が高まった
2 意欲・関心が低下した
3 どちらともいえない
4 その他 ()

問 1 1 レイカディア大学での学びの中で、あなたの地域活動に対する意欲・関心を高めることができたと思う内容はどれですか。

次のうちからあてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答)

- | | |
|---------------|----------|
| 1 必修講座 | 2 選択講座 |
| 3 地域活動体験学習 | 4 課題学習 |
| 5 ボランティアの日の活動 | 6 大学祭 |
| 7 ニューススポーツ大会 | 8 クラス活動 |
| 9 委員会活動 | 10 クラブ活動 |
| 11 その他 () | |
| 12 ない | |

問 1 2 現在、ご自分が住んでいる地域では、地域課題(問題点)があると思われますか。

- | | |
|---------|---------|
| 1 ある | |
| 2 ない | →問 1 4へ |
| 3 わからない | →問 1 4へ |

問 1 3 問 1 2で1(ある)と答えた方にお尋ねします。

(1) それはどのようなことですか。

次のうちから該当するものすべてに○をつけてください。(複数回答)

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1 独居老人の見守り | 2 老々介護 | 3 希薄な地域のつながり |
| 4 ごみ等地域環境の問題 | 5 自然保護 | 6 子どもの見守り |
| 7 青少年の育成 | 8 外国籍住民との共生 | 9 防災 |
| 10 防犯 | 11 地域文化の継承 | |
| 12 地域の魅力・発信力 | | |
| 13 その他 () | | |

(2) あなたは上記の地域課題(問題点)に関する何かの取り組みをしていますか、あるいはしようと思われますか。

- | |
|-------|
| 1 はい |
| 2 いいえ |

(3) 上記質問で1（はい）と答えた方にお尋ねします。

それはどんな取り組みですか。よろしければお聞かせください。

問 1 4 お住まいの地域で活動するために、県社会福祉協議会に対してどのような支援等を希望しますか。

問 1 5 次の説明を読んで、質問にお答えください。

コロナ禍により、卒業生の皆様の地域活動にも影響が出ているのではないかと考えられますが、「ウイズコロナ」、「アフターコロナ」時代における今後の地域活動について、ご意見をお聞かせください。

(1) 普段の地域活動において、コロナ禍の影響はありますか。

- 1 影響がある
- 2 あまり影響はない
- 3 ほとんど影響はなく、従来と同じ活動をしている
- 4 その他()

(2) 地域活動の実施(参加)にあたって、特に注意されている点はどのようなことですか。(特に注意する3つまでに○をつけてください)

- 1 3密回避
- 2 マスク着用
- 3 自身の健康管理(検温、健康チェックなど)
- 4 大きな声を出さない
- 5 対面による飲食は回避する
- 6 消毒の徹底(外出先・家庭)
- 7 不特定多数が集まる場所には参加しない
- 8 不要な外出を控える
- 9 その他()

(3) 「ウイズコロナ」、「アフターコロナ」時代における地域活動に対する意識については、どのようにお考えですか。

- 1 従来と意識の変化はない
- 2 感染対策等をしっかりして活動する
- 3 コロナ禍が収まるまで、活動はあまりしたくない(しない)
- 4 その他()

- (4) 「ウイズコロナ」、「アフターコロナ」時代において、地域活動を行うにあたって、最も問題となることはどのようなことだとお考えですか。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

レイカディア大学卒業生の活用状況等調査票 (市町社会福祉協議会用)

市町社協名 _____

担当課名 _____

担当職・氏名 _____

T E L _____

問1 レイカディア大学は、地域の担い手を養成することを目的の一つとしていますが、レイカディア大学卒業生は貴市町において活躍されていると思われますか。
次のうちから1つ選んで○をつけてください。

- 1 大変活躍している
- 2 活躍している
- 3 あまり活躍していない
- 4 活躍していない
- 5 わからない
- 6 その他 ()

問2 今までに、貴会の事業等において、レイカディア大学卒業生を活用されたことがありますか。 次のうちから1つ選んで○をつけてください。

- 1 ある
どのように活用されたか、その内容をご記入ください。

→ **問4**へ

- 2 ない → **問3**へ

- 3 その他 () → **問4**へ

問7 各市町社協のボランティアセンターにお伺いします。

コロナ禍における各市町のボランティア活動について、次の設問にお答えください。

(1) ボランティア活動において、コロナ禍の影響はありますか。

- 1 影響がある
- 2 あまり影響はない
- 3 ほとんど影響はなく、従来と同じ活動をしている
- 4 その他()

→ (2)へ

} (3)へ

(2) 上記(1)で1(影響がある)とお答えになった市町社協にお聞きします。

具体的にどのような影響がありますか。

(3) コロナ禍におけるボランティア活動の実施にあたって、特に注意を要することはどのようなことですか。(該当するものすべてに○)

- 1 3密回避の運営
- 2 マスク着用の徹底
- 3 参加者・スタッフの検温、健康チェック
- 4 対面による飲食の回避
- 5 頻繁な会話を控える
- 6 消毒の徹底
- 7 活動の規模の縮小、中止・延期等
- 8 ボランティア参加者の確保
- 9 その他()

(4) 上記(3)の選択肢以外に、コロナ禍におけるボランティア活動の実施にあたって工夫していることがあればご記入ください。

- (5) コロナ禍におけるボランティア活動のあり方について、運営上の課題やボランティア参加者への要望、その他ご意見等があればご記入ください。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。